

2019年度（令和元年度）

学生による授業評価アンケート
実施報告書

福山大学大学教育センター
教育開発部門

目次

はじめに	- 1 -
1. アンケート調査の目的	- 2 -
2. アンケート調査の概要	- 2 -
3. 全学、学部・センターのアンケート調査結果	- 5 -
(1) 全学、学部・センターの集計結果一覧	- 5 -
(2) アンケート回答率について	- 11 -
(3) 調査結果の内容（学生による授業評価結果について）	- 12 -
① 【質問 1】 授業準備について	- 12 -
② 【質問 2】 話し方について	- 13 -
③ 【質問 3】 授業の計画性について	- 14 -
④ 【質問 4】 授業時間について	- 16 -
⑤ 【質問 5】 講義の工夫について	- 17 -
⑥ 【質問 6】 質問への誠意について	- 18 -
⑦ 【質問 7】 講義の満足度について	- 20 -
(4) 調査結果の内容（学生の自己点検について）	- 21 -
① 【質問 8】 関連学習について	- 21 -
② 【質問 9】 集中力について	- 22 -
③ 【質問 10】 出席状況について	- 23 -
④ 【質問 11】 知識の深まりについて	- 25 -
⑤ 【質問 12】 質問への積極性について	- 26 -
⑥ 【質問 13】 意欲の高まりについて	- 28 -
⑦ 【質問 14】 学修の成果について	- 29 -
4. 全学、学部・センターの全体総括	- 30 -
5. 学科の授業評価アンケート結果	- 31 -
(1) 学科の集計結果一覧	- 31 -
6. 学科、センターの個別総括	- 35 -
① 経済学部経済学科	- 36 -
② 経済学部国際経済学科	- 39 -
③ 経済学部税務会計学科	- 41 -
④ 人間文化学部心理学科	- 45 -
⑤ 人間文化学部人間文化学科	- 47 -
⑥ 人間文化学部メディア・映像学科	- 50 -

⑦	工学部スマートシステム学科	- 53 -
⑧	工学部建築学科	- 56 -
⑨	工学部情報工学科	- 59 -
⑩	工学部機械システム工学科	- 62 -
⑪	生命工学部生物工学科	- 64 -
⑫	生命工学部生命栄養科学科	- 66 -
⑬	生命工学部海洋生物科学科	- 69 -
⑭	薬学部薬学科	- 72 -
⑮	大学教育センター	- 74 -
⑯	共同利用センター	- 81 -
7.	令和元年度（前期）授業評価アンケート実施科目一覧	- 85 -
8.	令和元年度（後期）授業評価アンケート実施科目一覧	- 93 -

はじめに

福山大学は、次の6つを教育目標として掲げ、この目標を達成するべく、日々、教育の改革と改善に取り組んでいる。

福山大学教育目標

- (1) 真理の探究と道理の実践
- (2) 豊かな品性と強い意志の涵養
- (3) 生命と自然の尊重
- (4) 個性の発揮と信頼に基づく人間関係の構築
- (5) 可能性への挑戦
- (6) 地域社会の発展への貢献

教育とは、学修者の行動に価値ある変化をもたらすプロセスであり、「何を教えたか？」ではなく、「学修者が、何ができるようになったか？」が問われる。通常、教育者は、教育の効果を試験の結果、すなわち学修成果として認識し把握している。

しかしながら、真に教育を改善するためには、学修者からの忌憚のないフィードバックを得ることは必要不可欠である。このため福山大学では、自己評価委員会が平成16年度に実施して以来、本学のすべての教員が毎年、学生による授業評価を受けている。平成23年度より大学教育センターが担当することになり、学生による授業評価だけでなく学生自身の学修の点検も加えたアンケート調査を実施している。

令和元年度も、大学教育センター教育開発部門が「学生による授業評価アンケート」を実施した。このアンケート調査結果が、教員と学生がそれぞれの目標とする教育と学修の成果向上の機会となることを願っている。

令和2年3月31日

大学教育センター センター長 大塚 豊
同 教育開発部門長 佐藤英治
同 運営委員会委員 満谷 淳

1. アンケート調査の目的

学生が主体的に学ぶ授業の展開を目指して、学生が授業をどのように受講しているのか、授業の何を期待しているのかを教員が理解し、各教員の授業改善に資するために本アンケートを実施する。また、全学的な教育改革の成果を検討する貴重な資料とする。さらに、学生が自己評価し、自身の学習姿勢を点検して改善に役立てるために本アンケートを実施する。

2. アンケート調査の概要

(1) 実施期間

前期：令和元年 6 月 21 日（金）～ 令和元年 7 月 13 日（土）

後期：令和元年 12 月 16 日（月）～ 令和 2 年 1 月 11 日（土）

(2) 調査科目の選定

本学に勤務する教員（非常勤講師を含む）を対象に、前期 2 科目、後期 2 科目（原則、演習・実習を除く）について、アンケート調査を行った。また、必要に応じて、演習・実習についてもアンケート調査を実施した。全学で前期 455 科目（受講者数延べ 30,786 人）、後期 425 科目（受講者数延べ 26,547 人）について実施した。調査科目は p. 86～101 に示す。

(3) アンケート調査内容

アンケートの調査項目は、教員の授業評価に関する 7 項目、学生自身の学修点検に関する 7 項目、合計 14 項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの 5 つの選択肢より選択することとした。各設問を以下に示す。

【質問 1】 授業準備：授業の準備が適切になされていると思いますか？

【質問 2】 話し方：教員の話し方は明瞭ですか？

【質問 3】 計画性：授業はシラバス通りに行われていますか？

【質問 4】 授業時間：授業をあまりに遅く始めたり、早く終わったりしないで、90 分間の授業時間を守っていますか？

【質問 5】 講義の工夫：教員は、科目内容を理解しやすくするように工夫していると思いますか？

【質問 6】 質問への誠意：教員は、あなたの質問に誠意をもって答えていますか？

【質問 7】 講義の満足度：この科目に対する総合的なあなたの満足度を 5 段階で示してください。

【質問 8】 関連学習：この授業に関して、1 回の講義あたり平均してどのくらい予習・復習、あるいは関連の学習をしましたか？

【質問 9】 集中力：授業中に私語、居眠り、携帯電話の操作、あるいは別のことを考えることなどはありますか？

【質問 10】 出席状況：授業には特別な事情（公認欠席、忌引きなど）を除き、出席していますか？

【質問 11】 知識の深まり：この科目を受講して、あなたの知識は深まっていますか？

【質問 12】 質問への積極性：授業内容について、質問したいと思うことはありますか？また、実際に質問しますか？

【質問 13】 意欲の高まり：この科目を受講して、講義内容を更に詳しく学びたいと思いますか？

【質問 14】 学修の成果：この科目であなたが得た成果を 5 段階で自己評価してください。

(4) 調査結果の集計

アンケート調査及び結果の集計は学修支援システム Cerezo（セレッソ）の機能を利用して行った。集計後、各回答数に係数（強く肯定する回答には 5、強く否定する回答には 1）を乗じ全回答数で除することで、平均点を算出した。強く否定する回答にも係数 1 を与えているため、最高点は 5.0、最低点は 1.0、標準点は 3.0 となる。なお、質問 3 では「シラバスを読んでいない」、質問 12 は「質問したことがない」という選択肢を増やし、6 段階評価とした。なお、これらの選択肢については、その回答を平均点の算出には用いていない。

集計は、全学、学部・センター、学科、科目単位で行った。本報告書では、全学、学部・センター、学科単位での集計結果を掲載した。各種集計結果は少数第二位以下を四捨五入して表示している。なお、所属教員が 1 名の国際センター、社会連携センター、および IR 室については本集計表から除外した。集計結果で表示している全学の各種値は、上記の 2 センターと IR 室の数値も含めて計算しているため学部・センターの合計値とは一致しないことに留意してほしい（表 3-(1)-1～表 3-(1)-4 など）。

(5) 学生へのフィードバック方法

アンケート調査の結果のフィードバックは、授業担当教員がアンケート調査終了後の授業時や定期試験時に口頭で行ったか、あるいは Cerezo の機能を利用して文章で行った。

(6) アンケート実施後の教員による報告書提出

授業担当教員に集計結果返却後、各教員は 1 ヶ月以内に報告書（p. 4 の報告書書式を参照）を学科長に提出し、学科長は学科教員の報告書を取りまとめて大学教育センター長に提出した。

(7) アンケート実施後の学科による総括

年度末に前期および後期の調査結果を踏まえて学科単位で授業評価アンケートを総括し、学科長から大学教育センター長に提出した。

令和元年度前後期 授業評価アンケート結果に対する報告書

担当教員	氏 名	所属学部・学科	
		学部	学科
講義名		科目分類 (不要な方を消去する)	受講者数
		共通教育科目 専門科目	名

お手数ですがこの科目のアンケート集計結果を各質問毎に記載してください

質問1 授業準備	質問2 話し方	質問3 計画性	質問4 授業時間	質問5 講義の工夫	質問6 質問への誠意	質問7 満足度
質問8 関連学習	質問9 集中力	質問10 出席状況	質問11 知識の深まり	質問12 質問への積極性	質問13 意欲の高まり	質問14 学修の成果

◆アンケート結果の学生へのフィードバック方法

--

◆この講義に対する学生の評価結果について (アンケートの質問1～質問7が該当します)

○高く評価された事項
○改善を求められている事項
○今後の授業改善の計画

◆この講義を受講した学生の自己点検結果について (アンケートの質問8～質問14が該当します)

○学修成果という点でこの結果をどのように考えますか
○学生の学修成果を望ましい方向に進展させる方策はありますか

3. 全学、学部・センターのアンケート調査結果

(1) 全学、学部・センターの集計結果一覧

全学、学部・センター単位の前期の集計結果を表 3-(1)-1、表 3-(1)-2 に、後期の集計結果を表 3-(1)-3、表 3-(1)-4 に示す。

表3 —(1)— 1 令和元年度前期【学部・センター】授業評価アンケート集計結果 質問1)～7)

講義番号		係数	全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
学部										
学科										
曜限										
主担当教員										
実施教員										
科目名										
受講者数			30786	5552	3465	3389	3561	9715	4436	582
回答者数			18326	2394	2187	2216	2487	5385	3129	447
回答率			59.5%	43.1%	63.1%	65.4%	69.8%	55.4%	70.5%	76.8%
【質問1】 授業準備 授業の準備が適切になされている と思いますか？	適切である	5	13036	1639	1544	1536	1783	3933	2226	319
	ほぼ適切である	4	4024	510	508	533	570	1112	671	96
	どちらとも言えない	3	993	188	105	119	121	251	186	22
	やや不適切である	2	182	43	24	16	7	58	28	6
	不適切である	1	91	14	6	12	6	31	18	4
	平均点			4.62	4.55	4.63	4.61	4.66	4.64	4.62
【質問2】 話し方 教員の話し方は明瞭ですか？	聞き取りやすい	5	11154	1484	1362	1301	1488	3315	1895	254
	ほぼ聞き取りやすい	4	4696	544	562	624	677	1345	791	129
	どちらとも言えない	3	1481	224	176	187	195	360	297	40
	やや聞き取りにくい	2	766	110	79	76	98	278	108	17
	大変聞き取りにくい	1	229	32	8	28	29	87	38	7
	平均点			4.41	4.39	4.46	4.40	4.41	4.40	4.41
【質問3】 計画性 授業はシラバス通りに行われていま すか？	行われている	5	10738	1437	1298	1398	1437	2969	1873	277
	ほぼ行われている	4	3372	491	439	512	559	677	603	72
	どちらとも言えない	3	905	178	136	115	135	138	174	27
	やや異なっている	2	168	36	32	14	23	28	31	4
	全く異なっている	1	56	13	7	5	5	12	11	3
	シラバスを読んでいない	-	3087	239	275	172	328	1561	437	64
平均点			4.61	4.53	4.56	4.61	4.57	4.72	4.60	4.61
【質問4】 授業時間 授業をあまりに遅く始めたり、早く終 わったりしないで、90分間の授業時 間を守っていますか？	守っている	5	13720	1727	1502	1570	1891	4337	2279	355
	ほぼ守っている	4	3629	504	541	528	504	823	643	65
	どちらとも言えない	3	721	126	113	94	79	148	138	22
	やや守っていない	2	157	25	24	16	8	36	45	3
	守っていない	1	99	12	7	8	5	41	24	2
	平均点			4.68	4.63	4.60	4.64	4.72	4.74	4.63
【質問5】 講義の工夫 教員は、科目内容を理解しやすくす るように工夫していると思います か？	思う	5	10906	1439	1329	1209	1482	3249	1898	249
	やや思う	4	4894	571	585	691	698	1397	800	129
	どちらとも言えない	3	1680	255	196	215	227	429	308	44
	あまり思わない	2	638	95	66	80	64	230	87	15
	全く思わない	1	208	34	11	21	16	80	36	10
	平均点			4.40	4.37	4.44	4.35	4.43	4.39	4.42
【質問6】 質問への誠意 教員は、あなたの質問に誠意をもっ て答えていますか？	誠意をもって答える	5	7139	1178	979	915	974	1434	1452	167
	ほぼ誠意をもって答える	4	2029	325	282	305	330	300	404	65
	どちらとも言えない	3	951	178	130	131	160	159	158	33
	やや誠意が感じられない	2	123	23	15	25	7	21	24	7
	誠意が感じられない	1	93	18	3	12	9	29	16	6
	質問したことがない	-	7991	672	778	828	1007	3442	1075	169
平均点			4.55	4.52	4.57	4.50	4.52	4.59	4.58	4.37
【質問7】 講義の満足度 この科目はやりがいや手応え、また 将来に役立つと感じるもので すか？	大いに感じる	5	8889	1261	1084	1036	1204	2551	1538	179
	やや感じる	4	6199	658	718	789	912	1894	1015	173
	どちらとも言えない	3	2427	351	300	297	307	664	437	67
	あまり感じない	2	562	92	68	67	45	189	82	18
	全く感じない	1	249	32	17	27	19	87	57	10
	平均点			4.25	4.26	4.27	4.24	4.30	4.23	4.24
【質問1】～【質問7】の平均			4.50	4.47	4.51	4.48	4.52	4.53	4.50	4.44

表3 —(1)— 2 令和元年度前期【学部・センター】授業評価アンケート集計結果 質問8)～14)

講義番号	学部	学科	曜限	主担当教員	実施教員	科目名	受講者数	回答者数	回答率	係数	全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
											30786	5552	3465	3389	3561	9715	4436	582
											18326	2394	2187	2216	2487	5385	3129	447
											59.5%	43.1%	63.1%	65.4%	69.8%	55.4%	70.5%	76.8%
【質問8】 関連学習	3時間以上		5	813	184	102	86	74	247	109	8							
	2～3時間未満		4	912	126	115	106	81	365	103	10							
	1～2時間未満		3	3092	415	403	343	427	1012	420	60							
	30分～1時間未満		2	5634	733	634	724	866	1465	1026	148							
	30分未満		1	7875	936	933	957	1039	2296	1471	221							
	平均点			1.97	2.12	2.00	1.94	1.91	2.03	1.83	1.74							
【質問9】 集中力	全くない		5	6997	870	498	616	817	2843	1226	106							
	ほとんどない		4	6571	780	788	858	1005	1848	1078	176							
	どちらとも言えない		3	2897	496	489	457	441	416	485	102							
	しばしばある		2	1523	197	353	249	194	191	273	56							
	毎回ある		1	338	51	59	36	30	87	67	7							
	平均点			4.00	3.93	3.60	3.80	3.96	4.33	4.00	3.71							
【質問10】 出席状況	全出席		5	12891	1364	1500	1218	1606	4761	2049	335							
	ほぼ出席		4	4023	765	513	670	638	537	801	81							
	ときどき欠席する		3	1017	185	126	237	181	64	200	20							
	やや欠席が多い		2	268	51	28	66	43	14	57	8							
	欠席が大変多い		1	127	29	20	25	19	9	22	3							
	平均点			4.60	4.41	4.58	4.35	4.52	4.86	4.53	4.65							
【質問11】 知識の深まり	大いに深まっている		5	7580	1001	904	890	1074	2261	1256	166							
	やや深まっている		4	7721	916	923	954	1107	2314	1260	206							
	どちらとも言えない		3	2307	364	269	285	245	607	470	60							
	あまり深まっていない		2	520	77	66	70	46	152	97	8							
	全く深まっていない		1	198	36	25	17	15	51	46	7							
	平均点			4.20	4.16	4.20	4.19	4.28	4.22	4.15	4.15							
【質問12】 質問への積極性	学修が十分進んでおり、質問の必要がない		5	6455	997	803	752	880	1522	1288	174							
	しばしば質問する		4	1898	305	274	255	264	401	343	43							
	ときどき質問する		3	2849	414	379	391	409	628	534	77							
	質問はあるが、ほとんど質問していない		2	5634	580	619	718	800	1974	799	134							
	学修に取り組んでいないため、質問すべきことがみつからない		1	1490	98	112	100	134	860	165	19							
	平均点			3.34	3.64	3.47	3.38	3.38	2.95	3.57	3.49							
【質問13】 意欲の高まり	大いに思う		5	6608	887	815	808	912	1966	1074	119							
	やや思う		4	6924	798	795	847	1017	2174	1074	181							
	どちらとも言えない		3	3361	517	407	426	439	814	657	93							
	あまり思わない		2	1034	134	130	93	91	315	230	34							
	全く思わない		1	399	58	40	42	28	116	94	20							
	平均点			4.00	3.97	4.01	4.03	4.08	4.03	3.90	3.77							
【質問14】 学修の成果	十分に成果はあがっている		5	6488	931	733	778	888	1890	1115	129							
	少し成果はあがっている		4	8073	917	989	1010	1205	2365	1306	235							
	どちらとも言えない		3	2993	426	367	342	337	890	557	65							
	あまり成果はあがっていない		2	587	86	79	70	43	184	108	15							
	全く成果はあがっていない		1	185	34	19	16	14	56	43	3							
	平均点			4.10	4.10	4.07	4.11	4.17	4.09	4.07	4.06							
【質問8】～【質問14】の平均			3.74	3.76	3.70	3.68	3.76	3.79	3.72	3.65								

表3 —(1)— 3 令和元年度後期【学部・センター】授業評価アンケート集計結果 質問1)～7)

講義番号		係数	全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
学部										
学科										
曜限										
主担当教員										
実施教員										
科目名										
受講者数			26547	5162	3081	3456	3707	6608	3696	475
回答者数			13306	1925	1641	1653	2490	3170	2034	237
回答率			50.1%	37.3%	53.3%	47.8%	67.2%	48.0%	55.0%	49.9%
【質問1】 授業準備 授業の準備が適切になされている と思いますか？	適切である	5	9576	1306	1145	1141	1695	2507	1496	175
	ほぼ適切である	4	2881	456	391	392	641	525	393	48
	どちらとも言えない	3	655	133	74	93	130	104	107	9
	やや不適切である	2	139	23	19	21	19	26	23	5
	不適切である	1	55	7	12	6	5	8	15	0
	平均点			4.64	4.57	4.61	4.60	4.61	4.73	4.64
【質問2】 話し方 教員の話し方は明瞭ですか？	聞き取りやすい	5	8389	1135	1027	1003	1407	2192	1371	161
	ほぼ聞き取りやすい	4	3368	471	433	464	777	684	438	57
	どちらとも言えない	3	916	197	88	120	177	173	135	13
	やや聞き取りにくい	2	505	98	68	48	116	100	66	6
	大変聞き取りにくい	1	128	24	25	18	13	21	24	0
	平均点			4.46	4.35	4.44	4.44	4.39	4.55	4.51
【質問3】 計画性 授業はシラバス通りに行われていま すか？	行われている	5	8054	1191	946	1107	1378	1879	1327	143
	ほぼ行われている	4	2433	362	369	337	631	311	341	43
	どちらとも言えない	3	641	141	104	92	108	66	110	12
	やや異なっている	2	123	29	20	20	20	8	17	2
	全く異なっている	1	49	7	8	6	9	7	11	0
	シラバスを読んでいない	-	2006	195	194	91	344	899	228	37
平均点			4.62	4.56	4.54	4.61	4.56	4.78	4.64	4.64
【質問4】 授業時間 授業をあまりに遅く始めたり、早く終 わったりしないで、90分間の授業時 間を守っていますか？	守っている	5	10142	1399	1186	1226	1765	2742	1518	195
	ほぼ守っている	4	2523	399	371	333	608	348	399	34
	どちらとも言えない	3	473	104	58	63	90	57	85	7
	やや守っていない	2	109	19	13	21	20	12	21	1
	守っていない	1	59	4	13	10	7	11	11	0
	平均点			4.70	4.65	4.65	4.66	4.65	4.83	4.67
【質問5】 講義の工夫 教員は、科目内容を理解しやすくす るように工夫していると思います か？	思う	5	8184	1128	954	960	1412	2122	1351	155
	やや思う	4	3562	475	481	495	798	764	461	59
	どちらとも言えない	3	1111	243	130	145	194	203	159	17
	あまり思わない	2	326	61	48	31	73	59	47	4
	全く思わない	1	123	18	28	22	13	22	16	2
	平均点			4.45	4.37	4.39	4.42	4.41	4.55	4.52
【質問6】 質問への誠意 教員は、あなたの質問に誠意をもっ て答えていますか？	誠意をもって答える	5	5342	990	805	701	888	758	1037	103
	ほぼ誠意をもって答える	4	1633	298	253	236	373	155	263	29
	どちらとも言えない	3	660	164	84	102	123	60	105	15
	やや誠意が感じられない	2	99	21	17	16	9	9	24	3
	誠意が感じられない	1	63	6	18	13	7	10	7	1
	質問したことがない	-	5509	446	464	585	1090	2178	598	86
平均点			4.55	4.52	4.54	4.49	4.52	4.66	4.60	4.52
【質問7】 講義の満足度 この科目はやりがいや手応え、また 将来に役立つと感じるもので すか？	大いに感じる	5	6851	1008	841	810	1207	1673	1109	119
	やや感じる	4	4405	551	548	562	930	1083	612	72
	どちらとも言えない	3	1593	284	175	225	279	342	229	37
	あまり感じない	2	322	67	46	33	61	48	60	6
	全く感じない	1	135	15	31	23	13	24	24	3
	平均点			4.32	4.28	4.29	4.27	4.31	4.37	4.34
【質問1】～【質問7】の平均			4.53	4.47	4.49	4.50	4.49	4.64	4.56	4.57

表3 —(1)— 4 令和元年度後期【学部・センター】授業評価アンケート集計結果 質問8)～14)

講義番号		係数	全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
学部										
学科										
曜限										
主担当教員										
実施教員										
科目名										
受講者数			26547	5162	3081	3456	3707	6608	3696	475
回答者数			13306	1925	1641	1653	2490	3170	2034	237
回答率			50.1%	37.3%	53.3%	47.8%	67.2%	48.0%	55.0%	49.9%
【質問8】 関連学習 この授業に関して、1回の講義あたり平均してどのくらい予習・復習、あるいは関連の学習をしましたか？	3時間以上	5	644	150	99	71	68	147	92	10
	2～3時間未満	4	713	148	107	89	102	151	99	9
	1～2時間未満	3	2301	391	336	276	391	513	344	33
	30分～1時間未満	2	3855	542	475	533	780	819	617	61
	30分未満	1	5793	694	624	684	1149	1540	882	124
	平均点		1.99	2.23	2.14	1.99	1.86	1.91	1.97	1.82
【質問9】 集中力 授業中に私語、居眠り、携帯電話の操作、あるいは別のことを考えることなどはありますか？	全くない	5	4750	614	360	486	738	1628	787	87
	ほとんどない	4	4988	706	637	646	1053	1137	670	83
	どちらとも言えない	3	2235	417	333	318	490	237	377	41
	しばしばある	2	1077	156	253	162	176	132	157	19
	毎回ある	1	256	32	58	41	33	36	43	7
	平均点		3.97	3.89	3.60	3.83	3.92	4.32	3.98	3.95
【質問10】 出席状況 授業には特別な事情(公認欠席、忌引きなど)を除き、出席していますか？	全出席	5	8408	950	950	803	1399	2836	1228	144
	ほぼ出席	4	3583	688	523	590	790	277	593	76
	ときどき欠席する	3	897	200	116	171	205	30	157	11
	やや欠席が多い	2	301	65	39	58	70	21	40	4
	欠席が大変多い	1	117	22	13	31	26	6	16	2
	平均点		4.49	4.29	4.44	4.26	4.39	4.87	4.46	4.50
【質問11】 知識の深まり この科目を受講して、あなたの知識は深まっていますか？	大いに深まっている	5	5734	832	679	689	1014	1442	919	90
	やや深まっている	4	5517	742	696	690	1155	1319	757	98
	どちらとも言えない	3	1590	272	188	210	257	344	259	40
	あまり深まっていない	2	348	64	45	49	53	52	72	8
	全く深まっていない	1	117	15	33	15	11	13	27	1
	平均点		4.23	4.20	4.18	4.20	4.25	4.30	4.21	4.13
【質問12】 質問への積極性 授業内容について、質問したいと思うことはありますか？また、実際に質問しますか？	学修が十分進んでおり、質問の必要がない	5	4973	804	627	583	899	1043	847	96
	しばしば質問する	4	1408	258	249	230	211	182	239	25
	ときどき質問する	3	1998	349	288	244	373	300	377	43
	質問はあるが、ほとんど質問していない	2	3698	441	378	526	821	996	465	42
	学修に取り組んでいないため、質問すべきことがみつからない	1	1229	73	99	70	186	649	106	31
	平均点		3.39	3.66	3.56	3.44	3.33	2.99	3.62	3.48
【質問13】 意欲の高まり この科目を受講して、講義内容を更に詳しく学びたいと思いますか？	大いに思う	5	5017	744	616	639	867	1241	776	70
	やや思う	4	5045	629	638	604	1086	1268	680	80
	どちらとも言えない	3	2377	410	271	316	405	494	394	66
	あまり思わない	2	605	108	68	64	105	127	115	11
	全く思わない	1	262	34	48	30	27	40	69	10
	平均点		4.05	4.01	4.04	4.06	4.07	4.12	3.97	3.80
【質問14】 学修の成果 この科目であなたが得た成果を5段階で自己評価してください。	十分に成果はあがっている	5	5072	810	584	620	878	1221	816	74
	少し成果はあがっている	4	5671	718	733	683	1213	1368	806	103
	どちらとも言えない	3	2091	323	242	289	338	500	314	51
	あまり成果はあがっていない	2	341	58	46	48	48	59	71	7
	全く成果はあがっていない	1	131	16	36	13	13	22	27	2
	平均点		4.14	4.17	4.09	4.12	4.16	4.17	4.14	4.01
【質問8】～【質問14】の平均			3.75	3.78	3.72	3.70	3.71	3.81	3.77	3.67

表3 —(1)— 4 令和元年度後期【学科】授業評価アンケート集計結果 質問8)～14)

講義番号		係数	全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
学部										
学科										
曜限										
主担当教員										
実施教員										
科目名										
受講者数			26547	5162	3081	3456	3707	6608	3696	475
回答者数			13306	1925	1641	1653	2490	3170	2034	237
回答率			50.1%	37.3%	53.3%	47.8%	67.2%	48.0%	55.0%	49.9%
【質問8】 関連学習 この授業に関して、1回の講義あたり平均してどのくらい予習・復習、あるいは関連の学習をしましたか？	3時間以上	5	644	150	99	71	68	147	92	10
	2～3時間未満	4	713	148	107	89	102	151	99	9
	1～2時間未満	3	2301	391	336	276	391	513	344	33
	30分～1時間未満	2	3855	542	475	533	780	819	617	61
	30分未満	1	5793	694	624	684	1149	1540	882	124
	平均点		1.99	2.23	2.14	1.99	1.86	1.91	1.97	1.82
【質問9】 集中力 授業中に私語、居眠り、携帯電話の操作、あるいは別のことを考えることなどはありますか？	全くない	5	4750	614	360	486	738	1628	787	87
	ほとんどない	4	4988	706	637	646	1053	1137	670	83
	どちらとも言えない	3	2235	417	333	318	490	237	377	41
	しばしばある	2	1077	156	253	162	176	132	157	19
	毎回ある	1	256	32	58	41	33	36	43	7
	平均点		3.97	3.89	3.60	3.83	3.92	4.32	3.98	3.95
【質問10】 出席状況 授業には特別な事情(公認欠席、忌引きなど)を除き、出席していますか？	全出席	5	8408	950	950	803	1399	2836	1228	144
	ほぼ出席	4	3583	688	523	590	790	277	593	76
	ときどき欠席する	3	897	200	116	171	205	30	157	11
	やや欠席が多い	2	301	65	39	58	70	21	40	4
	欠席が大変多い	1	117	22	13	31	26	6	16	2
	平均点		4.49	4.29	4.44	4.26	4.39	4.87	4.46	4.50
【質問11】 知識の深まり この科目を受講して、あなたの知識は深まっていますか？	大いに深まっている	5	5734	832	679	689	1014	1442	919	90
	やや深まっている	4	5517	742	696	690	1155	1319	757	98
	どちらとも言えない	3	1590	272	188	210	257	344	259	40
	あまり深まっていない	2	348	64	45	49	53	52	72	8
	全く深まっていない	1	117	15	33	15	11	13	27	1
	平均点		4.23	4.20	4.18	4.20	4.25	4.30	4.21	4.13
【質問12】 質問への積極性 授業内容について、質問したいと思うことはありますか？また、実際に質問しますか？	学修が十分進んでおり、質問の必要がない	5	4973	804	627	583	899	1043	847	96
	しばしば質問する	4	1408	258	249	230	211	182	239	25
	ときどき質問する	3	1998	349	288	244	373	300	377	43
	質問はあるが、ほとんど質問していない	2	3698	441	378	526	821	996	465	42
	学修に取り組んでいないため、質問すべきことがみつからない	1	1229	73	99	70	186	649	106	31
	平均点		3.39	3.66	3.56	3.44	3.33	2.99	3.62	3.48
【質問13】 意欲の高まり この科目を受講して、講義内容を更に詳しく学びたいと思いますか？	大いに思う	5	5017	744	616	639	867	1241	776	70
	やや思う	4	5045	629	638	604	1086	1268	680	80
	どちらとも言えない	3	2377	410	271	316	405	494	394	66
	あまり思わない	2	605	108	68	64	105	127	115	11
	全く思わない	1	262	34	48	30	27	40	69	10
	平均点		4.05	4.01	4.04	4.06	4.07	4.12	3.97	3.80
【質問14】 学修の成果 この科目であなたが得た成果を5段階で自己評価してください。	十分に成果はあがっている	5	5072	810	584	620	878	1221	816	74
	少し成果はあがっている	4	5671	718	733	683	1213	1368	806	103
	どちらとも言えない	3	2091	323	242	289	338	500	314	51
	あまり成果はあがっていない	2	341	58	46	48	48	59	71	7
	全く成果はあがっていない	1	131	16	36	13	13	22	27	2
	平均点		4.14	4.17	4.09	4.12	4.16	4.17	4.14	4.01
【質問8】～【質問14】の平均			3.75	3.78	3.72	3.70	3.71	3.81	3.77	3.67

(2) アンケート回答率について

回答率をグラフに、実数を表3-(2)-1、表3-(2)-2に示した。全学平均では、前期が59.5%、後期が50.1%であった(平成30年度の全学平均:前期57.9%、後期51.2%、平成29年度の全学平均:前期69.0%、後期56.8%)。なお、平成30年度は今年と同様に前後期それぞれ各教員2科目を対象とし、平成29年度は全授業科目を対象としてアンケートを実施した。回答率は年々ゆるやかに低下してきており、また毎年前期と比べて後期には回答率が低くなっている。この結果は、アンケートを重ねるごとに学生が回答に飽きてくる可能性を示唆している。また学部・センター間で回答率にかなり差がみられ(30%台~70%台)、データをここに示してはいないが科目間でもアンケートの回答率は大きく異なっていた。今後は学生へのアンケートの依頼方法についても再検討を行い、より多くの学生に協力してもらえよう改善を図っていきたい。

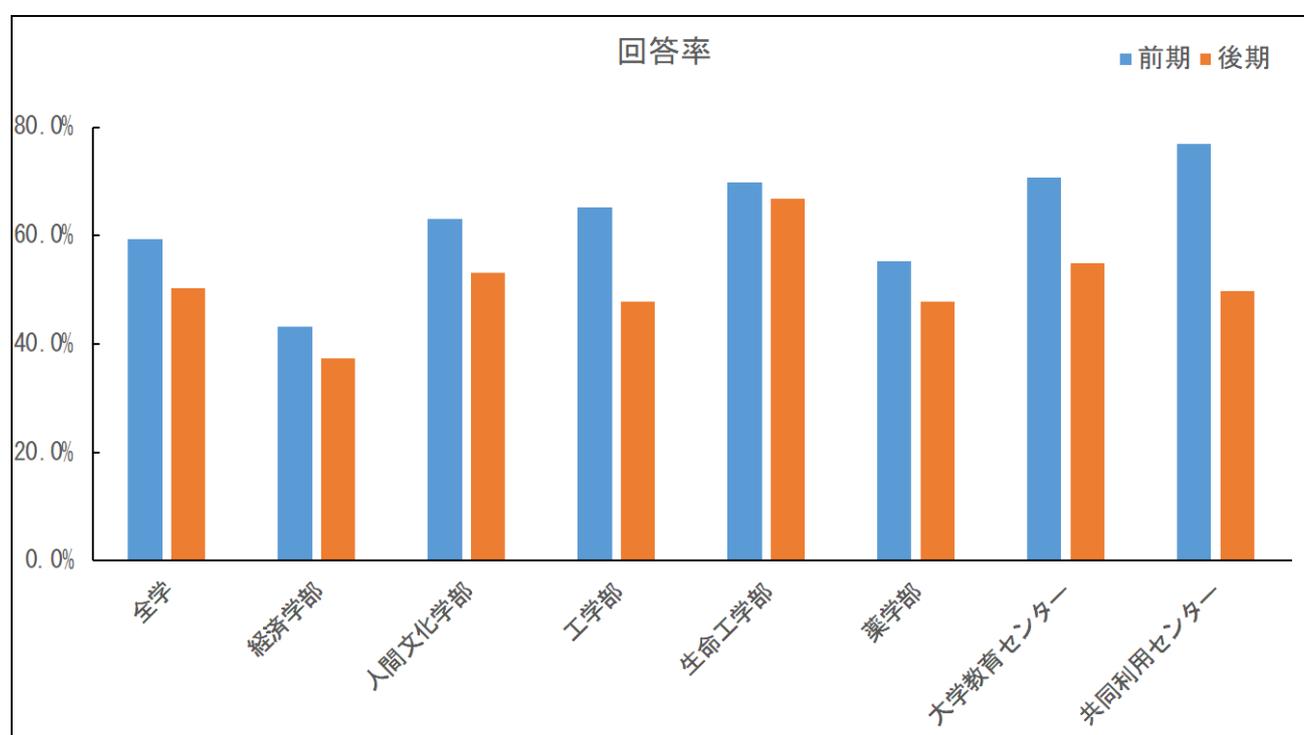


表3—(2)—1 令和元年度前期 授業評価アンケート(回答率)

	全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
受講者数	30786	5552	3465	3389	3561	9715	4436	582
回答者数	18326	2394	2187	2216	2487	5385	3129	447
回答率	59.5%	43.1%	63.1%	65.4%	69.8%	55.4%	70.5%	76.8%

表3—(2)—2 令和元年度後期 授業評価アンケート(回答率)

	全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
受講者数	26547	5162	3081	3456	3707	6608	3696	475
回答者数	13306	1925	1641	1653	2490	3170	2034	237
回答率	50.1%	37.3%	53.3%	47.8%	67.2%	48.0%	55.0%	49.9%

(3) 調査結果の内容（学生による授業評価結果について）

① 【質問 1】 授業準備について

教員の「授業準備」は、すべての学部・センターにおいて前後期とも 4.5 以上と高く評価されており、適切に実施されていると考えられた。

最高評価（回答の 5）の割合は薬学部でやや高く（前期 73.0%、後期 79.1%）、経済学部でやや低かった（前期 68.5%、後期 67.8%）が、その他の学部・センターでもおおむね 70%程度で大きな差はみられなかった（表 3-(3)-①-1、表 3-(3)-①-2）。

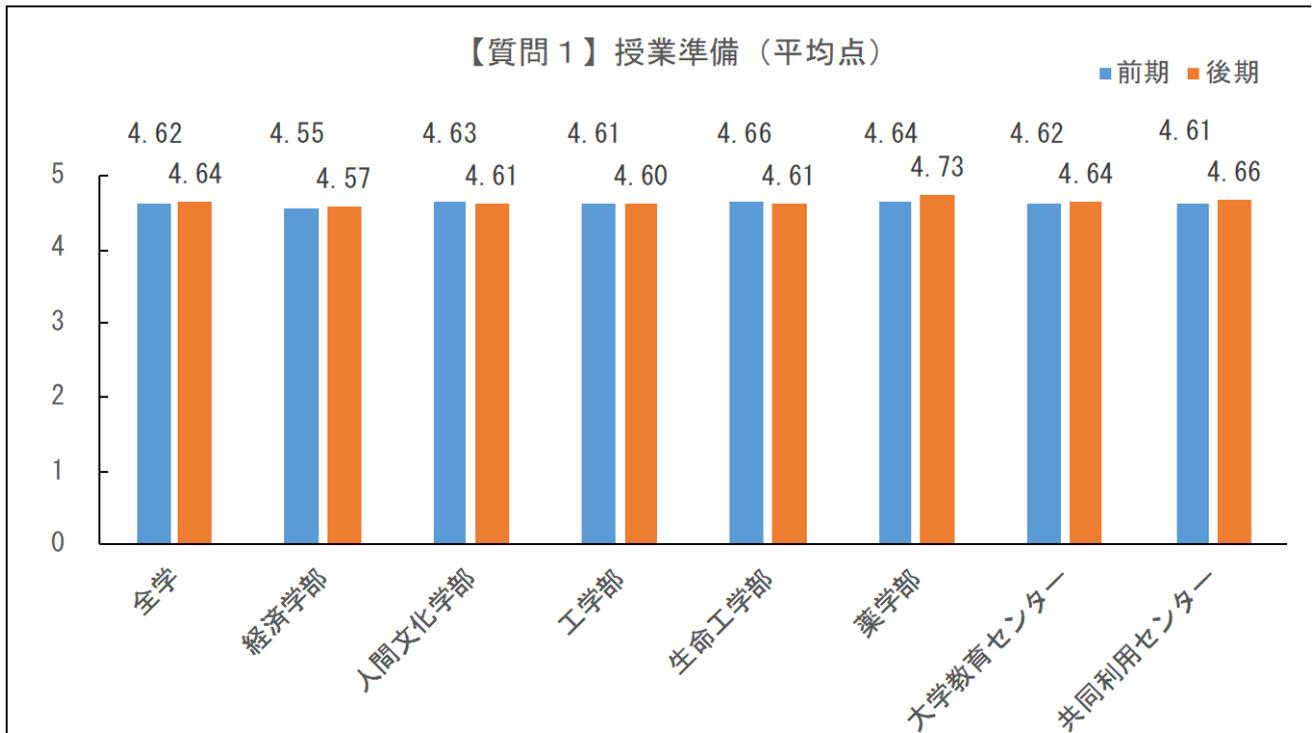


表3 —(3)— ① — 1 令和元年度前期 授業評価アンケート〈授業準備〉回答の割合

	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
			【質問 1】 授業準備	適切である	5	71.1%	68.5%	70.6%	69.3%	71.7%
授業の準備が 適切になされて いると思いま すか？	ほぼ適切である	4	22.0%	21.3%	23.2%	24.1%	22.9%	20.6%	21.4%	21.5%
	どちらとも言えない	3	5.4%	7.9%	4.8%	5.4%	4.9%	4.7%	5.9%	4.9%
	やや不適切である	2	1.0%	1.8%	1.1%	0.7%	0.3%	1.1%	0.9%	1.3%
	不適切である	1	0.5%	0.6%	0.3%	0.5%	0.2%	0.6%	0.6%	0.9%
	計			100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表3—(3)—①—2 令和元年度後期 授業評価アンケート〈授業準備〉回答の割合

回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問1】 授業準備 授業の準備が適切になされていると思いますか？	適切である	5 72.0%	67.8%	69.8%	69.0%	68.1%	79.1%	73.5%	73.8%
	ほぼ適切である	4 21.7%	23.7%	23.8%	23.7%	25.7%	16.6%	19.3%	20.3%
	どちらとも言えない	3 4.9%	6.9%	4.5%	5.6%	5.2%	3.3%	5.3%	3.8%
	やや不適切である	2 1.0%	1.2%	1.2%	1.3%	0.8%	0.8%	1.1%	2.1%
	不適切である	1 0.4%	0.4%	0.7%	0.4%	0.2%	0.3%	0.7%	0.0%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

② 【質問2】話し方について

教員の「話し方」は、すべての学部・センターにおいて前後期とも4.3以上と高く評価されており、適切に実施されていると考えられた。

最高評価（回答の5）の割合は56.5%（生命工学部 後期）から69.1%（薬学部 後期）の範囲に収まっており、学部・センター間で顕著な差は見られなかった（表3—(3)—②—1、表3—(3)—②—2）。

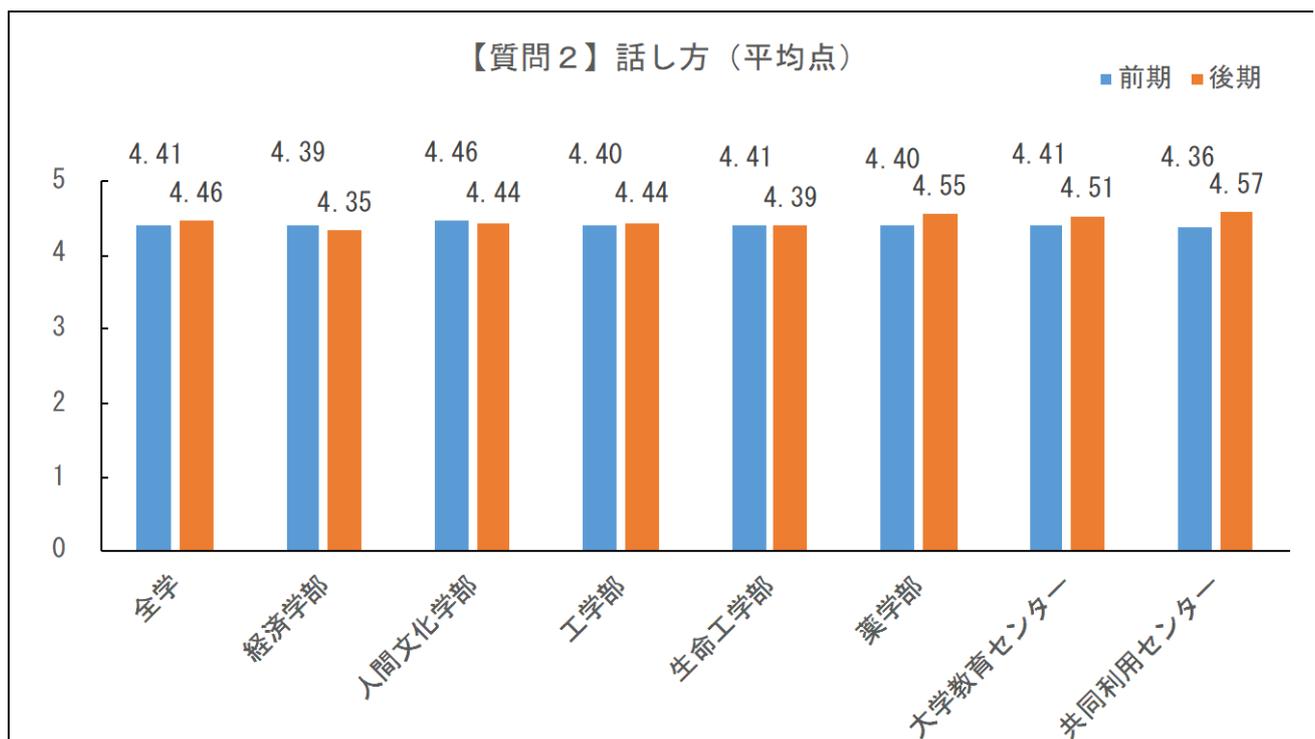


表3—(3)—②—1 令和元年度前期 授業評価アンケート〈話し方〉回答の割合

	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問2】 話し方 教員の話し方は明瞭ですか？	聞き取りやすい	5	60.9%	62.0%	62.3%	58.7%	59.8%	61.6%	60.6%	56.8%
	ほぼ聞き取りやすい	4	25.6%	22.7%	25.7%	28.2%	27.2%	25.0%	25.3%	28.9%
	どちらとも言えない	3	8.1%	9.4%	8.0%	8.4%	7.8%	6.7%	9.5%	8.9%
	やや聞き取りにくい	2	4.2%	4.6%	3.6%	3.4%	3.9%	5.2%	3.5%	3.8%
	大変聞き取りにくい	1	1.2%	1.3%	0.4%	1.3%	1.2%	1.6%	1.2%	1.6%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表3—(3)—②—2 令和元年度後期 授業評価アンケート〈話し方〉回答の割合

	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問2】 話し方 教員の話し方は明瞭ですか？	聞き取りやすい	5	63.0%	59.0%	62.6%	60.7%	56.5%	69.1%	67.4%	67.9%
	ほぼ聞き取りやすい	4	25.3%	24.5%	26.4%	28.1%	31.2%	21.6%	21.5%	24.1%
	どちらとも言えない	3	6.9%	10.2%	5.4%	7.3%	7.1%	5.5%	6.6%	5.5%
	やや聞き取りにくい	2	3.8%	5.1%	4.1%	2.9%	4.7%	3.2%	3.2%	2.5%
	大変聞き取りにくい	1	1.0%	1.2%	1.5%	1.1%	0.5%	0.7%	1.2%	0.0%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

③ 【質問3】 授業の計画性について

「授業の計画性」は、すべての学部・センターにおいて前後期とも4.5以上と高く評価されており、適切に実施されていると考えられた。最高評価（回答の5）の割合は、概ね60%前後であったが、薬学部（前期55.1%）と生命工学部（後期55.3%）で若干低い値がみられた。（表3—(3)—③—1、表3—(3)—③—2）。

シラバスを読んでいない学生の割合は全学平均で前期16.8%、後期15.1%であり、昨年度（前期19.8%、後期17.4%）と比べてシラバスを読んでから授業に臨んでいる学生の割合がやや増加した。学部・センター別では薬学部（前期29.0%、後期28.4%）で特に多くみられたが、同学部についても昨年度（前期34.7%、後期32.8%）と比べると改善が見られた。

シラバスに記載されている授業のねらいや目的、授業の流れを把握しながら学習することは、授業内容の理解をより深める効果があることから、初回授業時に、あるいは授業を進めながら、適宜シラバスを用いた授業説明を行うなどの対応策が必要と考えられる。

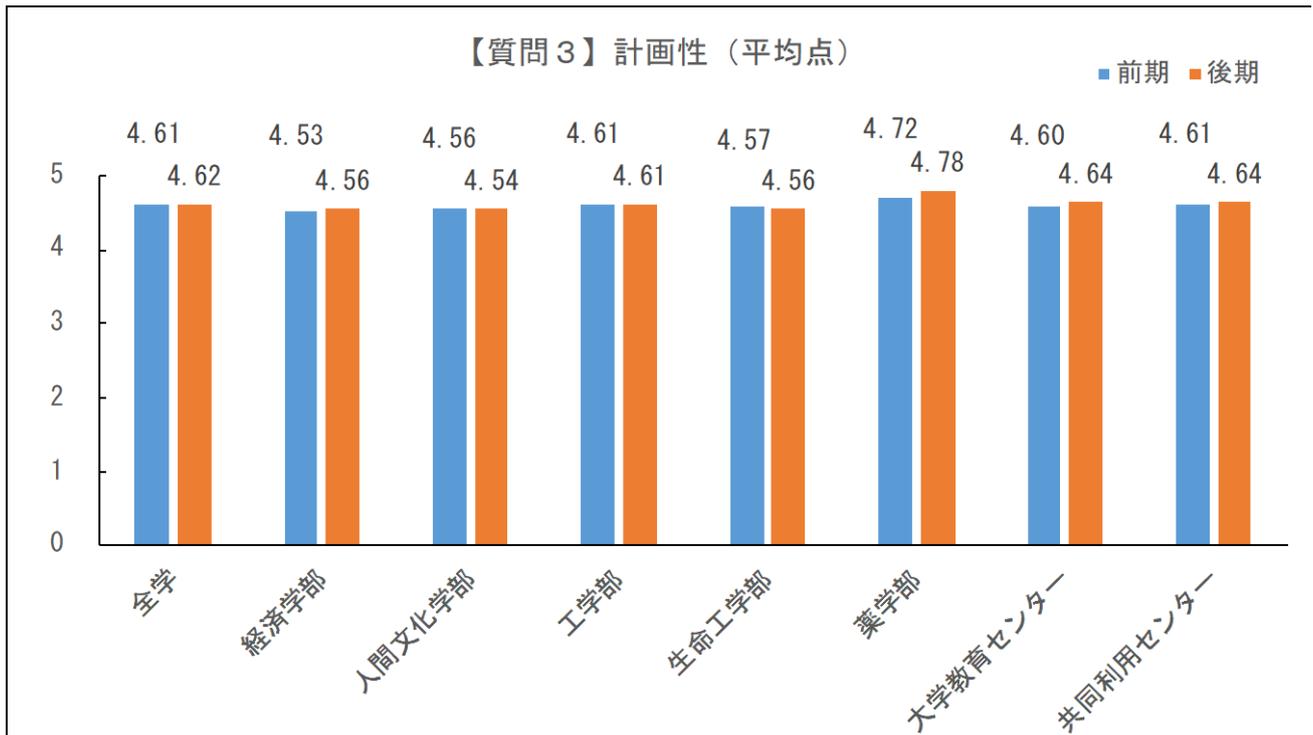


表3—(3)—③—1 令和元年度前期 授業評価アンケート（計画性）回答の割合

		回答	全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問2】 計画性	行われている	5	58.6%	60.0%	59.4%	63.1%	57.8%	55.1%	59.9%	62.0%
	ほぼ行われている	4	18.4%	20.5%	20.1%	23.1%	22.5%	12.6%	19.3%	16.1%
	どちらとも言えない	3	4.9%	7.4%	6.2%	5.2%	5.4%	2.6%	5.6%	6.0%
	やや異なっている	2	0.9%	1.5%	1.5%	0.6%	0.9%	0.5%	1.0%	0.9%
	全く異なっている	1	0.3%	0.5%	0.3%	0.2%	0.2%	0.2%	0.4%	0.7%
	シラバスを読んでいない	—	16.8%	10.0%	12.6%	7.8%	13.2%	29.0%	14.0%	14.3%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表3—(3)—③—2 令和元年度後期 授業評価アンケート（計画性）回答の割合

		回答	全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問2】 計画性	行われている	5	60.5%	61.9%	57.6%	67.0%	55.3%	59.3%	65.2%	60.3%
	ほぼ行われている	4	18.3%	18.8%	22.5%	20.4%	25.3%	9.8%	16.8%	18.1%
	どちらとも言えない	3	4.8%	7.3%	6.3%	5.6%	4.3%	2.1%	5.4%	5.1%
	やや異なっている	2	0.9%	1.5%	1.2%	1.2%	0.8%	0.3%	0.8%	0.8%
	全く異なっている	1	0.4%	0.4%	0.5%	0.4%	0.4%	0.2%	0.5%	0.0%
	シラバスを読んでいない	—	15.1%	10.1%	11.8%	5.5%	13.8%	28.4%	11.2%	15.6%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

④ 【質問 4】 授業時間について

「授業時間」の遵守については、すべての学部・センターにおいて前後期とも 4.5 以上と高く評価されており、適切に実施されていると考えられた。

最高評価（回答の 5）の割合は、薬学部（前期 80.5%、後期 86.5%）と共同利用センター（前期 79.4%、後期 82.3%）で他の学部・センターと比べてやや高かった（表 3-(3)-④-1、表 3-(3)-④-2）。

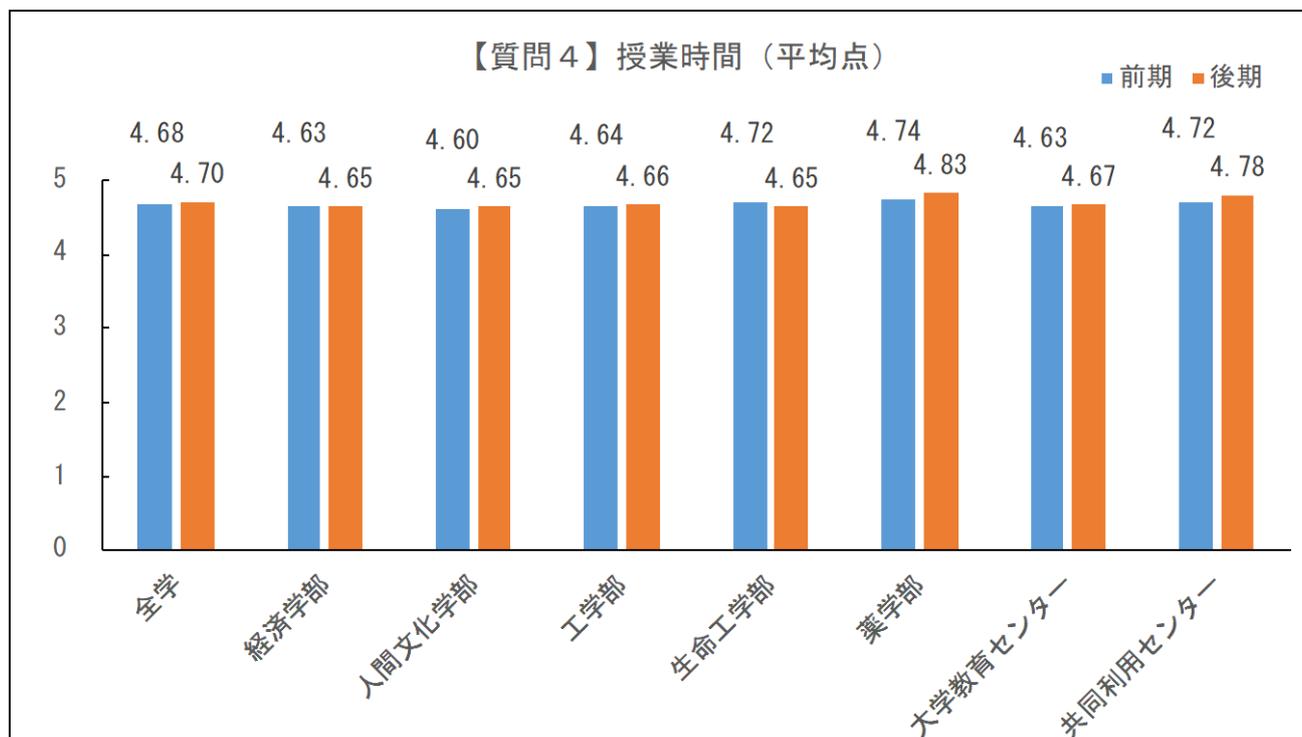


表3 —(3)— ④ — 1 令和元年度前期 授業評価アンケート〈授業時間〉回答の割合

	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
			【質問4】 授業時間	守っている	5	74.9%	72.1%	68.7%	70.8%	76.0%
授業をあまりに遅く始めたり、早く終わったりしないで、90分間の授業時間を守っていますか？	ほぼ守っている	4	19.8%	21.1%	24.7%	23.8%	20.3%	15.3%	20.5%	14.5%
	どちらとも言えない	3	3.9%	5.3%	5.2%	4.2%	3.2%	2.7%	4.4%	4.9%
	やや守っていない	2	0.9%	1.0%	1.1%	0.7%	0.3%	0.7%	1.4%	0.7%
	守っていない	1	0.5%	0.5%	0.3%	0.4%	0.2%	0.8%	0.8%	0.4%
	計			100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表3—(3)—④—2 令和元年度後期 授業評価アンケート〈授業時間〉回答の割合

	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問4】 授業時間 授業をあまりに遅く始めたり、早く終わったりしないで、90分間の授業時間を守っていますか？	守っている	5	76.2%	72.7%	72.3%	74.2%	70.9%	86.5%	74.6%	82.3%
	ほぼ守っている	4	19.0%	20.7%	22.6%	20.1%	24.4%	11.0%	19.6%	14.3%
	どちらとも言えない	3	3.6%	5.4%	3.5%	3.8%	3.6%	1.8%	4.2%	3.0%
	やや守っていない	2	0.8%	1.0%	0.8%	1.3%	0.8%	0.4%	1.0%	0.4%
	守っていない	1	0.4%	0.2%	0.8%	0.6%	0.3%	0.3%	0.5%	0.0%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

⑤ 【質問5】 講義の工夫について

「講義の工夫」については、すべての学部・センターにおいて前後期とも4.0以上と高く評価されており、適切に実施されていると考えられた。

最高評価（回答の5）の割合は、後期の薬学部（66.9%）、大学教育センター（66.4%）、および共同利用センター（65.4%）でやや高い値となっていたが、その他ではおおよそ55～60%の範囲に収まっており、顕著な差はみられなかった（表3—(3)—⑤—1、表3—(3)—⑤—2）。

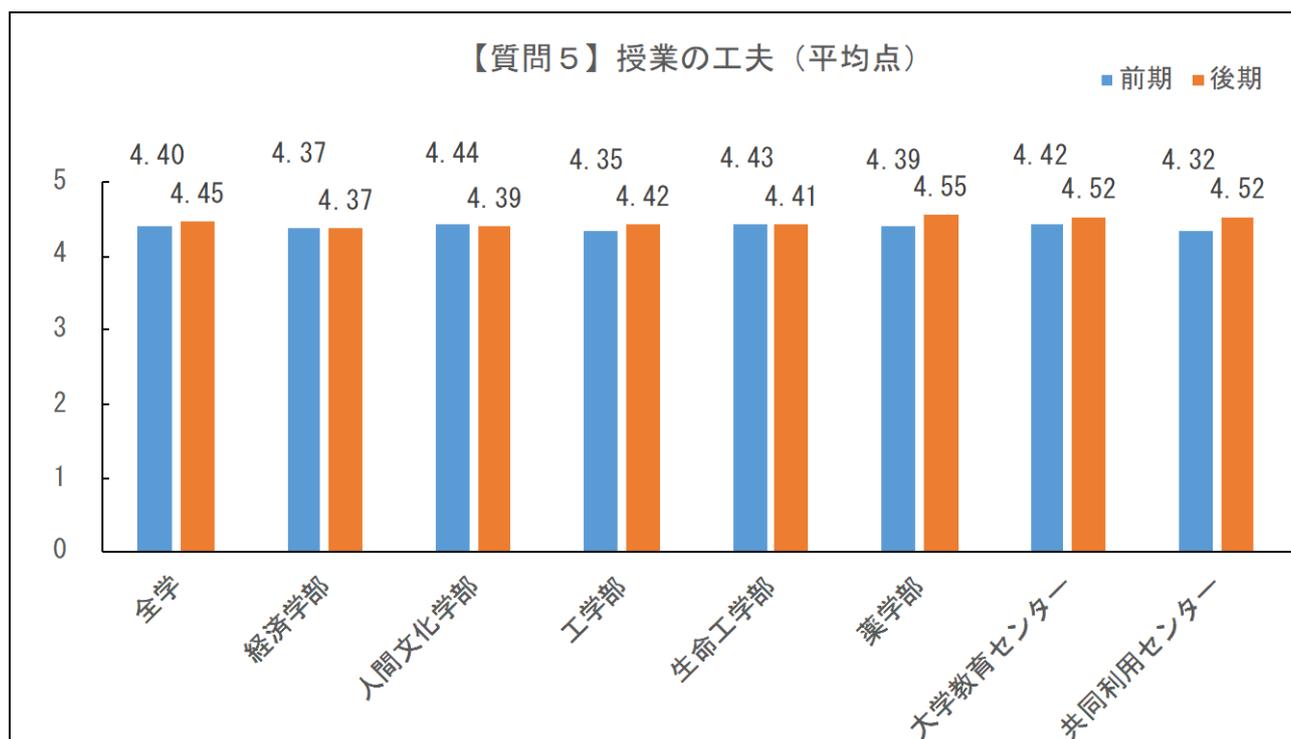


表3—(3)—⑤—1 令和元年度前期 授業評価アンケート〈講義の工夫〉回答の割合

	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問5】 講義の工夫 教員は、科目 内容を理解し やすくするよ うに工夫して いると思いま すか？	思う	5	59.5%	60.1%	60.8%	54.6%	59.6%	60.3%	60.7%	55.7%
	やや思う	4	26.7%	23.9%	26.7%	31.2%	28.1%	25.9%	25.6%	28.9%
	どちらとも言えない	3	9.2%	10.7%	9.0%	9.7%	9.1%	8.0%	9.8%	9.8%
	あまり思わない	2	3.5%	4.0%	3.0%	3.6%	2.6%	4.3%	2.8%	3.4%
	全く思わない	1	1.1%	1.4%	0.5%	0.9%	0.6%	1.5%	1.2%	2.2%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表3—(3)—⑤—2 令和元年度後期 授業評価アンケート〈講義の工夫〉回答の割合

	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問5】 講義の工夫 教員は、科目 内容を理解し やすくするよ うに工夫して いると思いま すか？	思う	5	61.5%	58.6%	58.1%	58.1%	56.7%	66.9%	66.4%	65.4%
	やや思う	4	26.8%	24.7%	29.3%	29.9%	32.0%	24.1%	22.7%	24.9%
	どちらとも言えない	3	8.3%	12.6%	7.9%	8.8%	7.8%	6.4%	7.8%	7.2%
	あまり思わない	2	2.5%	3.2%	2.9%	1.9%	2.9%	1.9%	2.3%	1.7%
	全く思わない	1	0.9%	0.9%	1.7%	1.3%	0.5%	0.7%	0.8%	0.8%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

⑥ 【質問6】 質問への誠意について

「質問への誠意」については、すべての学部・センターにおいて前後期ともおおよそ 4.0 以上と高く評価されており、適切に実施されていると考えられた。

この質問項目については、最高評価（回答の 5）の割合は質問したことがない学生の割合に大きく影響されるのであまり意味はない。なお、質問したことがない学生の割合は全学平均で前期 43.6%、後期 41.4%であった。特に薬学部（前期 63.9%、後期 68.7%）で他の学部・センターよりも 20%以上割合が高かったが、これは昨年度と同じ傾向であった（表 3—(3)—⑥—1、表 3—(3)—⑥—2）。

今後は、質問をしやすい雰囲気づくり、Cerezo などの ICT を利用したコミュニケーションの活用など、改善のための方策が必要と考えられる。

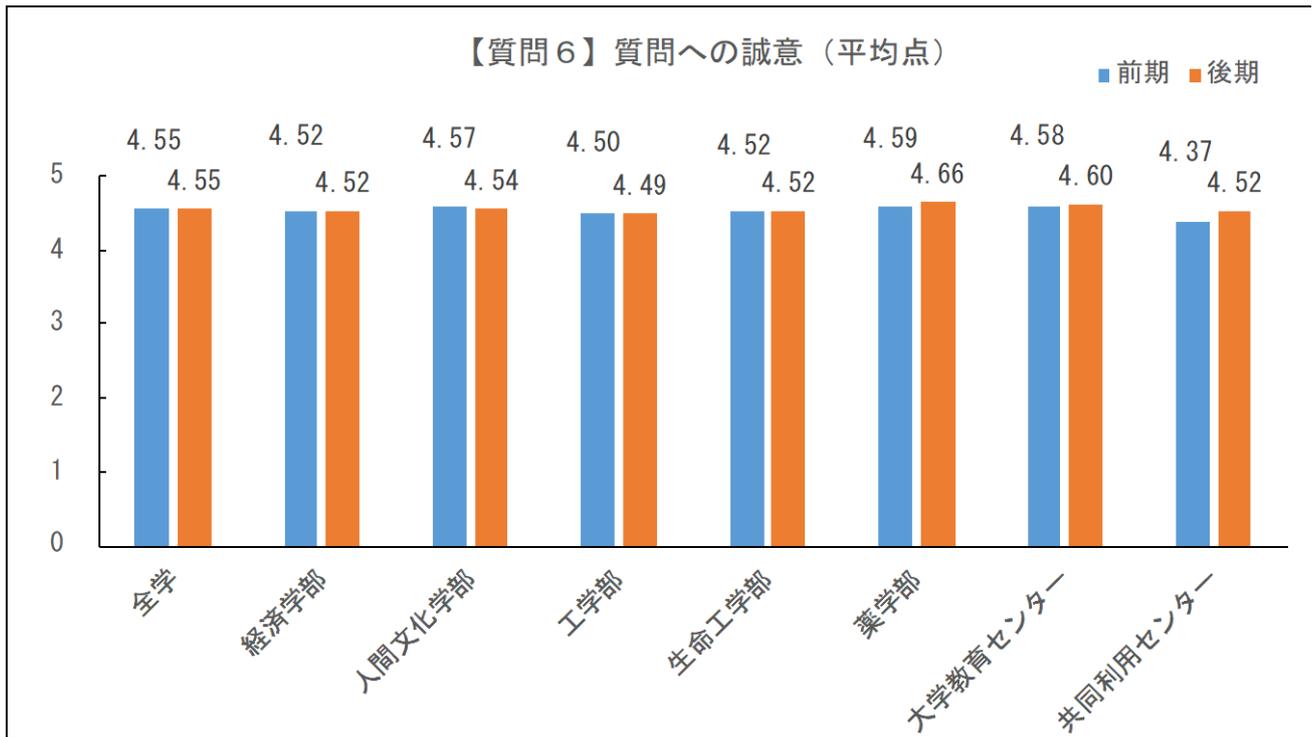


表3—(3)—⑥—1 令和元年度前期 授業評価アンケート〈質問への誠意〉回答の割合

【質問6】 質問への誠意 教員は、あなたの質問に誠意をもって答えていますか？	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
			誠意をもって答える	5	39.0%	49.2%	44.8%	41.3%	39.2%	26.6%
ほぼ誠意をもって答える	4	11.1%	13.6%	12.9%	13.8%	13.3%	5.6%	12.9%	14.5%	
どちらとも言えない	3	5.2%	7.4%	5.9%	5.9%	6.4%	3.0%	5.0%	7.4%	
やや誠意が感じられない	2	0.7%	1.0%	0.7%	1.1%	0.3%	0.4%	0.8%	1.6%	
誠意が感じられない	1	0.5%	0.8%	0.1%	0.5%	0.4%	0.5%	0.5%	1.3%	
質問したことがない	—	43.6%	28.1%	35.6%	37.4%	40.5%	63.9%	34.4%	37.8%	
計			100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表3—(3)—⑥—2 令和元年度後期 授業評価アンケート〈質問への誠意〉回答の割合

【質問6】 質問への誠意 教員は、あなたの質問に誠意をもって答えていますか？	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
			誠意をもって答える	5	40.1%	51.4%	49.1%	42.4%	35.7%	23.9%
ほぼ誠意をもって答える	4	12.3%	15.5%	15.4%	14.3%	15.0%	4.9%	12.9%	12.2%	
どちらとも言えない	3	5.0%	8.5%	5.1%	6.2%	4.9%	1.9%	5.2%	6.3%	
やや誠意が感じられない	2	0.7%	1.1%	1.0%	1.0%	0.4%	0.3%	1.2%	1.3%	
誠意が感じられない	1	0.5%	0.3%	1.1%	0.8%	0.3%	0.3%	0.3%	0.4%	
質問したことがない	—	41.4%	23.2%	28.3%	35.4%	43.8%	68.7%	29.4%	36.3%	
計			100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

⑦ 【質問 7】 講義の満足度について

「講義の満足度」については、すべての学部・センターにおいて前後期とも 4.0 以上と高く評価されており、適切に実施されていると考えられた。ただし、講義に対する満足度は、依然として授業評価 7 項目の中で最も低い評価でもあるため、引き続き改善への取り組みが必要である。講義の満足度には様々な要因が関与していると考えられるので、個々の授業において担当教員がアンケート結果を解析し、改善していく必要がある。

最高評価（回答の 5）の割合は、前期では経済学部（52.7%）で最も高く、後期では大学教育センター（54.5%）で最も高かった。他の学部・センターについては、共同利用センターで前期（40.0%）にやや低い値であったが、それ以外は 50%前後で大きな差はみられなかった（表 3-(3)-⑦-1、表 3-(3)-⑦-2）。

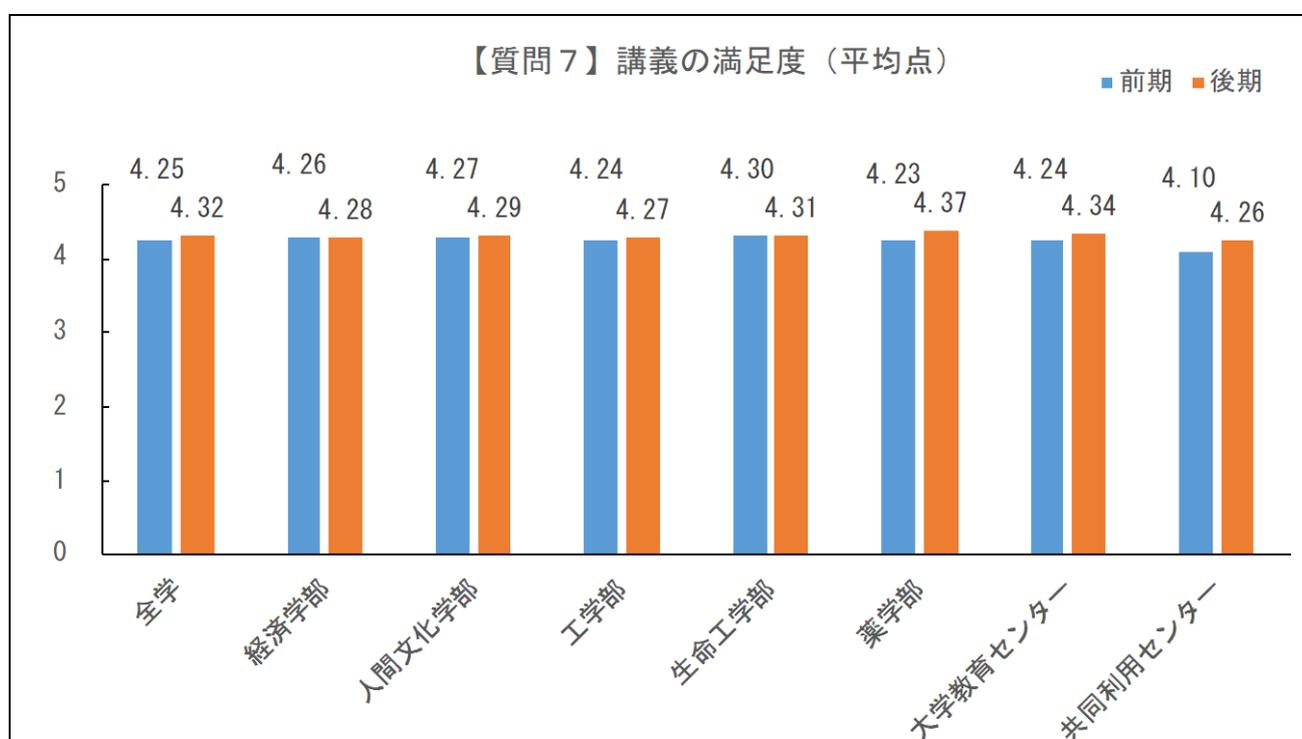


表3 —(3)— ⑦ — 1 令和元年度前期 授業評価アンケート〈講義の満足度〉回答の割合

【質問7】 講義の満足度	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
			十分に成果はあがっている	5	48.5%	52.7%	49.6%	46.8%	48.4%	47.4%
少し成果はあがっている	4	33.8%	27.5%	32.8%	35.6%	36.7%	35.2%	32.4%	38.7%	
この科目はやりがいや手応え、また将来に役立つと感じるものですか？	どちらとも言えない	3	13.2%	14.7%	13.7%	13.4%	12.3%	12.3%	14.0%	15.0%
	あまり成果はあがっていない	2	3.1%	3.8%	3.1%	3.0%	1.8%	3.5%	2.6%	4.0%
	全く成果はあがっていない	1	1.4%	1.3%	0.8%	1.2%	0.8%	1.6%	1.8%	2.2%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表3—(3)—⑦—2 令和元年度後期 授業評価アンケート〈講義の満足度〉回答の割合

	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問7】 講義の満足度	十分に成果はあがっている	5	51.5%	52.4%	51.2%	49.0%	48.5%	52.8%	54.5%	50.2%
	少し成果はあがっている	4	33.1%	28.6%	33.4%	34.0%	37.3%	34.2%	30.1%	30.4%
この科目はやりが いがいや手応え、 また将来に役立つ と感じるもので すか？	どちらとも言えない	3	12.0%	14.8%	10.7%	13.6%	11.2%	10.8%	11.3%	15.6%
	あまり成果はあがっていない	2	2.4%	3.5%	2.8%	2.0%	2.4%	1.5%	2.9%	2.5%
	全く成果はあがっていない	1	1.0%	0.8%	1.9%	1.4%	0.5%	0.8%	1.2%	1.3%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(4) 調査結果の内容 (学生の自己点検について)

① 【質問8】 関連学習について

「関連学習 (授業に関する予習や復習、あるいは関連の学習)」については、昨年度に続いてすべての学部・センターにおいて前後期とも 2.0 前後という低い値に留まった。また、関連学習の時間が 30 分未満の学生は、全学では前後期とも約 43%で、各学部・センターでは 36.1% (経済学部 後期) ~52.3% (共同利用センター 後期) の範囲であった (表 3-(4)-①-1、表 3-(4)-①-2)。

本項目の改善のためには、各科目において積極的に関連学習を促す必要がある。宿題を課す、あるいは授業開始時に前回授業内容の確認試験を行うなどの手法を導入し、予習や復習の習慣づけを行うことから始めることが望ましい。また、担当教員が Cerezo の機能を活用して e-Learning コンテンツを作成することなども、関連学習のサポートとして有用であると考えられる。

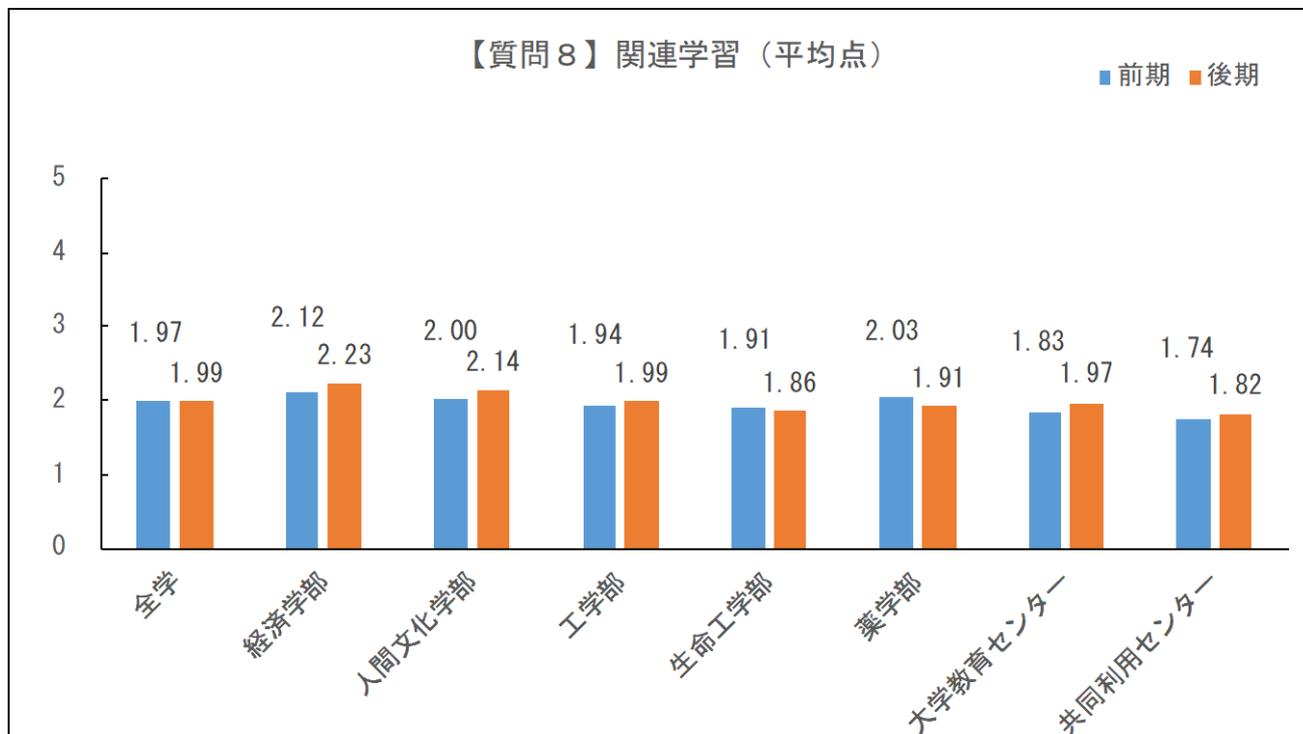


表3—(4)—①—1 令和元年度前期 授業評価アンケート〈関連学習〉回答の割合

	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問8】 関連学習 この授業に関して、1回の講義あたり平均してどのくらい予習・後習、あるいは関連の学習をしましたか？	3時間以上	5	4.4%	7.7%	4.7%	3.9%	3.0%	4.6%	3.5%	1.8%
	2～3時間未満	4	5.0%	5.3%	5.3%	4.8%	3.3%	6.8%	3.3%	2.2%
	1～2時間未満	3	16.9%	17.3%	18.4%	15.5%	17.2%	18.8%	13.4%	13.4%
	30分～1時間未満	2	30.7%	30.6%	29.0%	32.7%	34.8%	27.2%	32.8%	33.1%
	30分未満	1	43.0%	39.1%	42.7%	43.2%	41.8%	42.6%	47.0%	49.4%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表3—(4)—①—2 令和元年度後期 授業評価アンケート〈関連学習〉回答の割合

	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問8】 関連学習 この授業に関して、1回の講義あたり平均してどのくらい予習・後習、あるいは関連の学習をしましたか？	3時間以上	5	4.8%	7.8%	6.0%	4.3%	2.7%	4.6%	4.5%	4.2%
	2～3時間未満	4	5.4%	7.7%	6.5%	5.4%	4.1%	4.8%	4.9%	3.8%
	1～2時間未満	3	17.3%	20.3%	20.5%	16.7%	15.7%	16.2%	16.9%	13.9%
	30分～1時間未満	2	29.0%	28.2%	28.9%	32.2%	31.3%	25.8%	30.3%	25.7%
	30分未満	1	43.5%	36.1%	38.0%	41.4%	46.1%	48.6%	43.4%	52.3%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

② 【質問9】集中力について

「集中力」については、すべての学部・センターにおいて前後期ともおおよそ4.0前後であり、おおむね良好であった。

最高評価（回答の5）の割合は薬学部（前期52.8%、後期51.4%）で顕著に高く、これは昨年度と同傾向であった。これに対して他の学部・センターでは20%台～30%台に留まった（表3—(4)—②—1、表3—(4)—②—2）。

薬学部以外の学部・センターでは、学生の学修に対する集中力を高めるよう、授業内容・方法にいつそうの工夫が求められる。

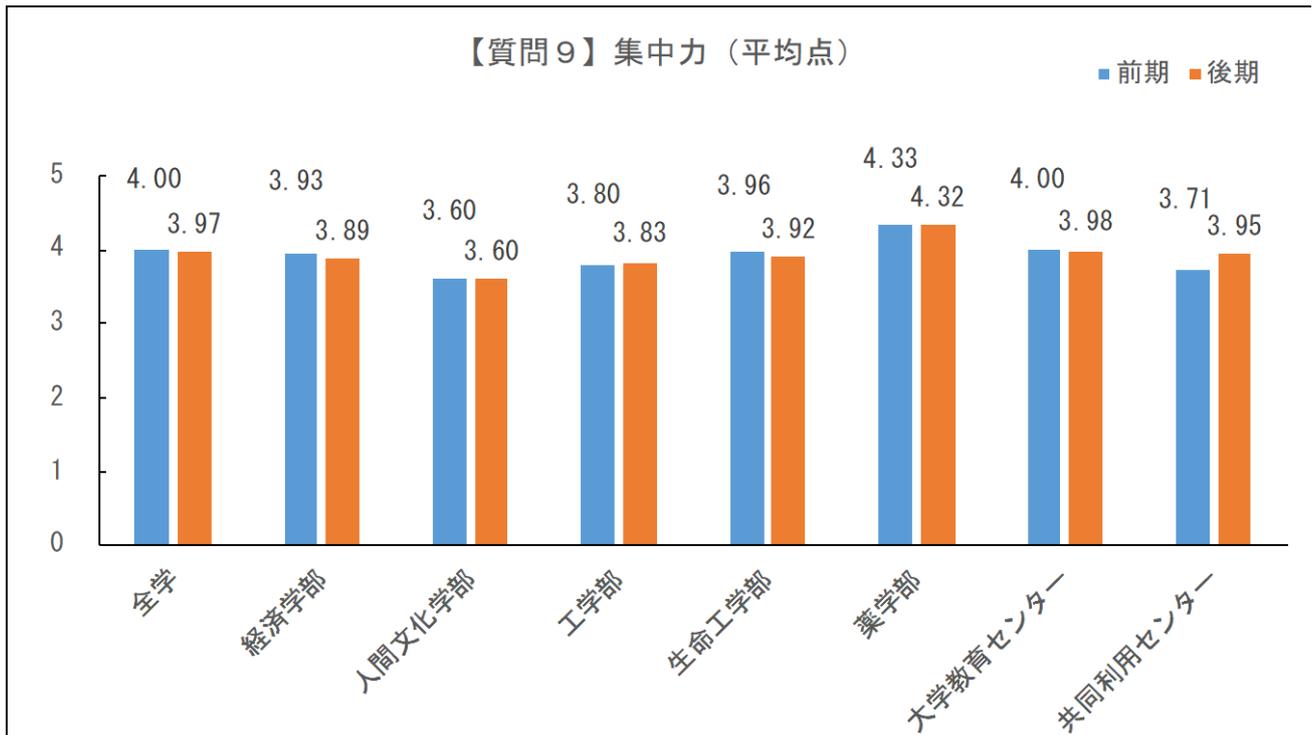


表3—(4)—②—1 令和元年度前期 授業評価アンケート〈集中力〉回答の割合

【質問9】 集中力	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
			全くない	5	38.2%	36.3%	22.8%	27.8%	32.9%	52.8%
授業中に私語、 居眠り、携帯電話の 操作、あるいは別の ことを考えることなど はありますか？	ほとんどない	4	35.9%	32.6%	36.0%	38.7%	40.4%	34.3%	34.5%	39.4%
	どちらとも言えない	3	15.8%	20.7%	22.4%	20.6%	17.7%	7.7%	15.5%	22.8%
	しばしばある	2	8.3%	8.2%	16.1%	11.2%	7.8%	3.5%	8.7%	12.5%
	毎回ある	1	1.8%	2.1%	2.7%	1.6%	1.2%	1.6%	2.1%	1.6%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表3—(4)—②—2 令和元年度後期 授業評価アンケート〈集中力〉回答の割合

【質問9】 集中力	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
			全くない	5	35.7%	31.9%	21.9%	29.4%	29.6%	51.4%
授業中に私語、 居眠り、携帯電話の 操作、あるいは別の ことを考えることなど はありますか？	ほとんどない	4	37.5%	36.7%	38.8%	39.1%	42.3%	35.9%	32.9%	35.0%
	どちらとも言えない	3	16.8%	21.7%	20.3%	19.2%	19.7%	7.5%	18.5%	17.3%
	しばしばある	2	8.1%	8.1%	15.4%	9.8%	7.1%	4.2%	7.7%	8.0%
	毎回ある	1	1.9%	1.7%	3.5%	2.5%	1.3%	1.1%	2.1%	3.0%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

③ 【質問10】出席状況について

「出席状況」については、すべての学部・センターにおいて前後期とも4.0以上であり、高い自己評価となっている。出席確認を厳密に行って授業回数の1/5以上欠席した学生については担当教員が担任に

連絡するというシステムが有効に機能しているものと考えられる。

最高評価（回答の5）の割合は薬学部（前期 88.4%、後期 89.5%）で顕著に高く、これは昨年度と同傾向であった。これに対して他の学部・センターでは 40%台～70%台であった（表 3-(4)-③-1、表 3-(4)-③-2）。

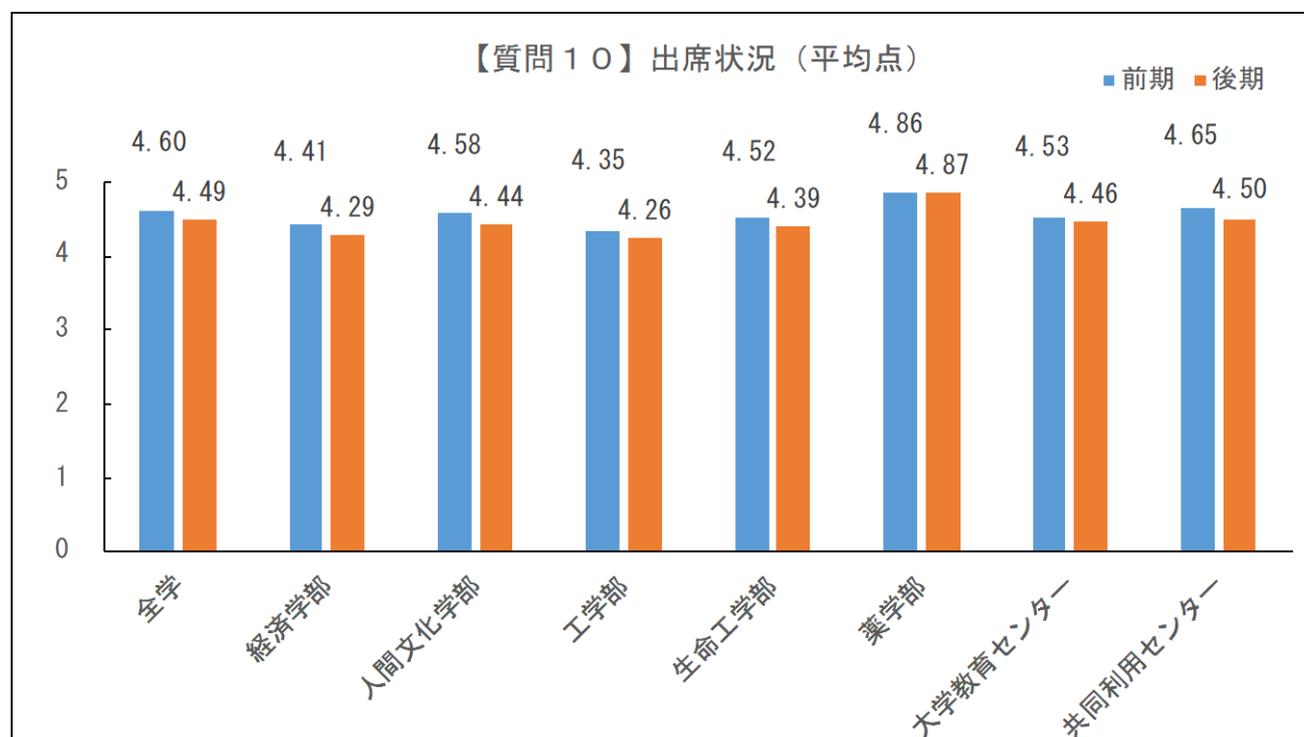


表3—(4)—③—1 令和元年度前期 授業評価アンケート〈出席状況〉回答の割合

	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
			【質問10】出席状況	全出席	5	70.3%	57.0%	68.6%	55.0%	64.6%
	ほぼ出席	4	22.0%	32.0%	23.5%	30.2%	25.7%	10.0%	25.6%	18.1%
授業には特別な事情(公認欠席、忌引きなど)を除き、出席していますか？	ときどき欠席する	3	5.5%	7.7%	5.8%	10.7%	7.3%	1.2%	6.4%	4.5%
	やや欠席が多い	2	1.5%	2.1%	1.3%	3.0%	1.7%	0.3%	1.8%	1.8%
	欠席が大変多い	1	0.7%	1.2%	0.9%	1.1%	0.8%	0.2%	0.7%	0.7%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表3—(4)—③—2 令和元年度後期 授業評価アンケート〈出席状況〉回答の割合

	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問10】 出席状況 授業には特別な事情(公認欠席、忌引きなど)を除き、出席していますか？	全出席	5	63.2%	49.4%	57.9%	48.6%	56.2%	89.5%	60.4%	60.8%
	ほぼ出席	4	26.9%	35.7%	31.9%	35.7%	31.7%	8.7%	29.2%	32.1%
	ときどき欠席する	3	6.7%	10.4%	7.1%	10.3%	8.2%	0.9%	7.7%	4.6%
	やや欠席が多い	2	2.3%	3.4%	2.4%	3.5%	2.8%	0.7%	2.0%	1.7%
	欠席が大変多い	1	0.9%	1.1%	0.8%	1.9%	1.0%	0.2%	0.8%	0.8%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

④ 【質問 11】 知識の深まりについて

「知識の深まり」については、すべての学部・センターにおいて前後期とも 4.0 以上であり、高い自己評価となっている。

最高評価（回答の 5）の割合は、前期は生命工学部（43.2%）で、後期は薬学部（45.5%）で最も高かったが、他の学部・センターでも 37.1%（共同利用センター 前期）～45.2%（大学教育センター 後期）の範囲であり、学部・センター間で大きな差はみられなかった（表 3—(4)—④—1、表 3—(4)—④—2）。

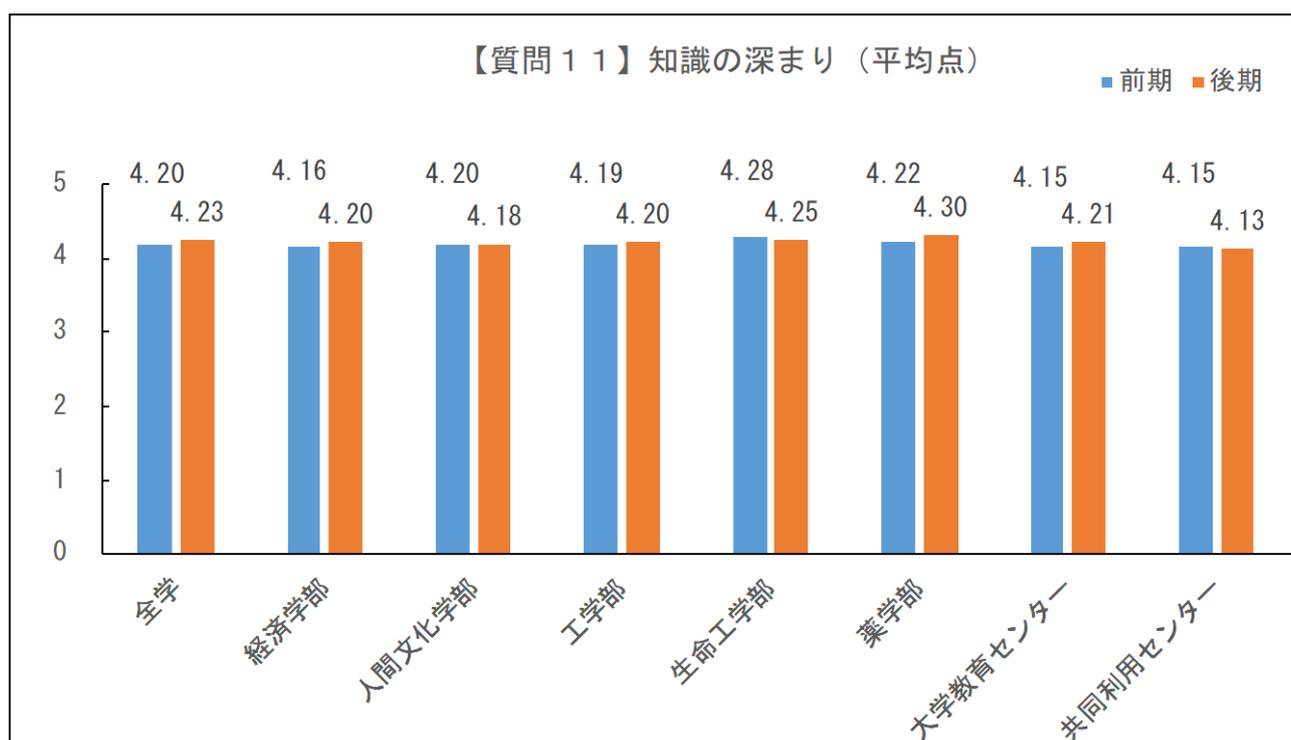


表3—(4)—④—1 令和元年度前期 授業評価アンケート〈知識の深まり〉回答の割合

	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問11】 知識の深まり この科目を受講して、あなたの知識は深まっていますか？	大いに深まっている	5	41.4%	41.8%	41.3%	40.2%	43.2%	42.0%	40.1%	37.1%
	やや深まっている	4	42.1%	38.3%	42.2%	43.1%	44.5%	43.0%	40.3%	46.1%
	どちらとも言えない	3	12.6%	15.2%	12.3%	12.9%	9.9%	11.3%	15.0%	13.4%
	あまり深まっていない	2	2.8%	3.2%	3.0%	3.2%	1.8%	2.8%	3.1%	1.8%
	全く深まっていない	1	1.1%	1.5%	1.1%	0.8%	0.6%	0.9%	1.5%	1.6%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表3—(4)—④—2 令和元年度後期 授業評価アンケート〈知識の深まり〉回答の割合

	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問11】 知識の深まり この科目を受講して、あなたの知識は深まっていますか？	大いに深まっている	5	43.1%	43.2%	41.4%	41.7%	40.7%	45.5%	45.2%	38.0%
	やや深まっている	4	41.5%	38.5%	42.4%	41.7%	46.4%	41.6%	37.2%	41.4%
	どちらとも言えない	3	11.9%	14.1%	11.5%	12.7%	10.3%	10.9%	12.7%	16.9%
	あまり深まっていない	2	2.6%	3.3%	2.7%	3.0%	2.1%	1.6%	3.5%	3.4%
	全く深まっていない	1	0.9%	0.8%	2.0%	0.9%	0.4%	0.4%	1.3%	0.4%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

⑤ 【質問12】 質問への積極性について

「質問への積極性」については、すべての学部・センターにおいて前後期ともおおよそ3点台前半の自己評価となっており、まだ改善の余地が残っている。質問6の項目でも記載したように、より質問しやすい環境づくりが必要と考えられる。

最高評価（回答の5）の割合は、質問6の場合と同様に薬学部（前期28.3%、後期32.9%）でやや低かったが、他の学部・センターでも33.9%（薬学部 後期）～41.8%（経済学部 後期）の範囲であり、学部・センター間で大きな差はみられなかった（表3—(4)—⑤—1、表3—(4)—⑤—2）。

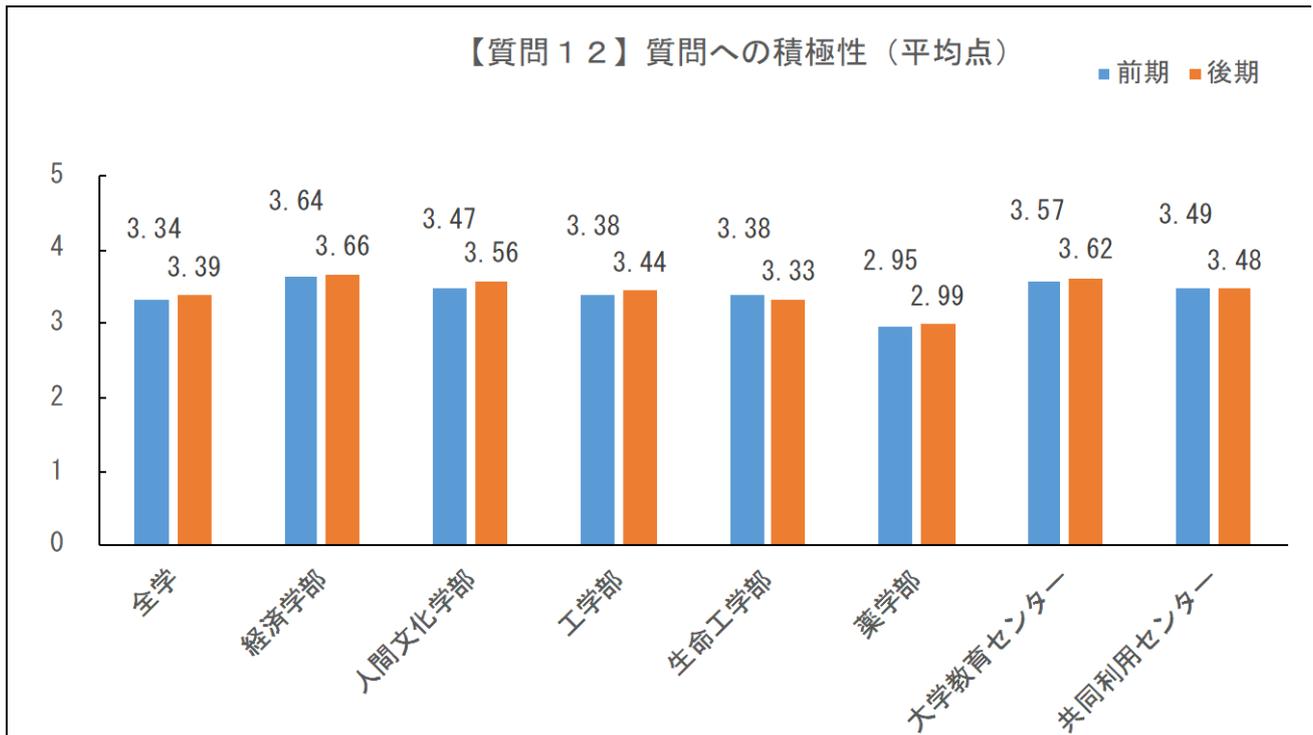


表3—(4)—⑤—1 令和元年度前期 授業評価アンケート〈質問への積極性〉回答の割合

【質問12】 質問への積極性	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
			学修が十分進んでおり、質問の必要がない	5	35.2%	41.6%	36.7%	33.9%	35.4%	28.3%
授業内容について、質問したいと思うことはありますか？また、実際に質問しますか？	しばしば質問する	4	10.4%	12.7%	12.5%	11.5%	10.6%	7.4%	11.0%	9.6%
	ときどき質問する	3	15.5%	17.3%	17.3%	17.6%	16.4%	11.7%	17.1%	17.2%
	質問はあるが、ほとんど質問していない	2	30.7%	24.2%	28.3%	32.4%	32.2%	36.7%	25.5%	30.0%
	学修に取り組んでいないため、質問すべきことがみつからない	1	8.1%	4.1%	5.1%	4.5%	5.4%	16.0%	5.3%	4.3%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表3—(4)—⑤—2 令和元年度後期 授業評価アンケート〈質問への積極性〉回答の割合

【質問12】 質問への積極性	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
			学修が十分進んでおり、質問の必要がない	5	37.4%	41.8%	38.2%	35.3%	36.1%	32.9%
授業内容について、質問したいと思うことはありますか？また、実際に質問しますか？	しばしば質問する	4	10.6%	13.4%	15.2%	13.9%	8.5%	5.7%	11.8%	10.5%
	ときどき質問する	3	15.0%	18.1%	17.6%	14.8%	15.0%	9.5%	18.5%	18.1%
	質問はあるが、ほとんど質問していない	2	27.8%	22.9%	23.0%	31.8%	33.0%	31.4%	22.9%	17.7%
	学修に取り組んでいないため、質問すべきことがみつからない	1	9.2%	3.8%	6.0%	4.2%	7.5%	20.5%	5.2%	13.1%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

⑥ 【質問 13】意欲の高まりについて

「意欲の高まり」については、すべての学部・センターにおいて前後期ともおおよそ 4.0 前後の自己評価となっており、おおむね良好であった。

最高評価（回答の 5）の割合は共同利用センター（前期 26.6%、後期 29.5%）でやや低かったが、他の学部・センターでは 34.8%（生命工学部 後期）～38.7%（工学部 後期）の範囲に収まっていた（表 3-（4）-⑥-1、表 3-（4）-⑥-2）。

本項目についてはまだ改善の余地があると考えられるので、学生の自己評価が上がるよう、授業担当教員にはさらなる授業内容・方法の改善が求められる。

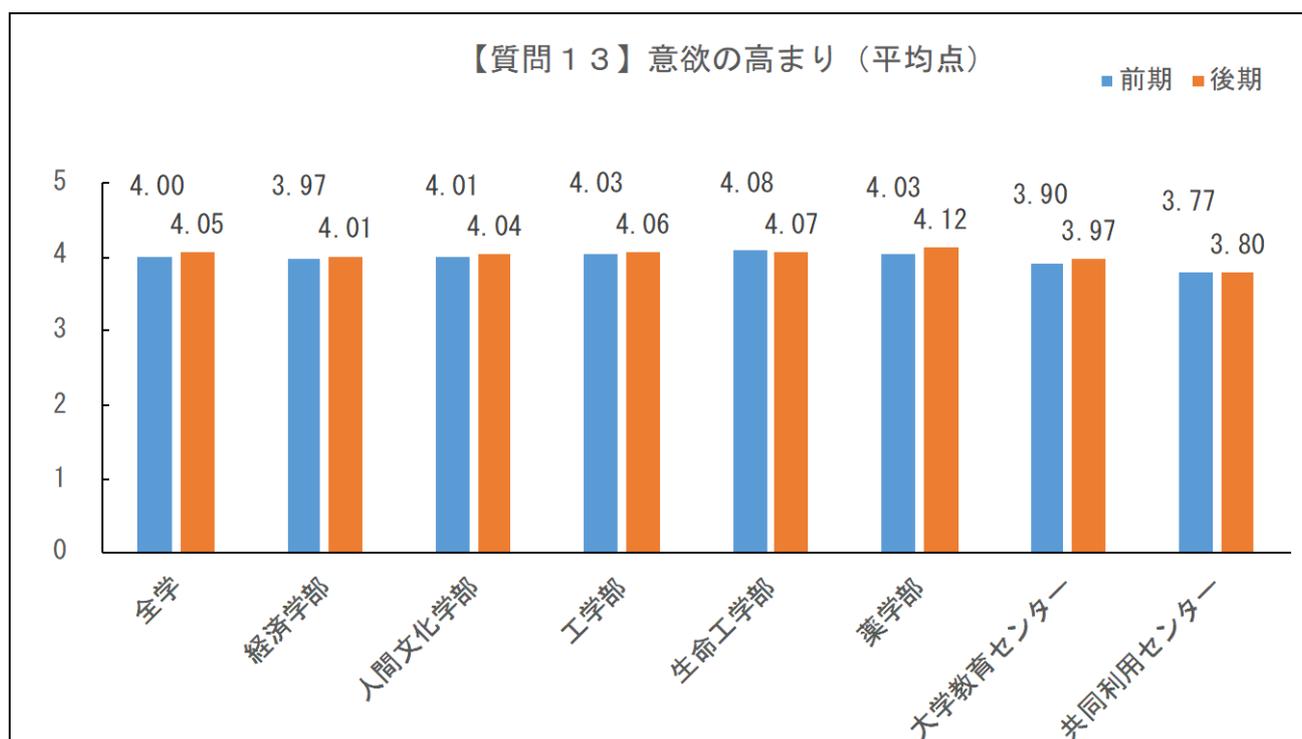


表3—(4)—⑥—1 令和元年度前期 授業評価アンケート〈意欲の高まり〉回答の割合

	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
			【質問13】意欲の高まり	大いに思う	5	36.1%	37.1%	37.3%	36.5%	36.7%
	やや思う	4	37.8%	33.3%	36.4%	38.2%	40.9%	40.4%	34.3%	40.5%
この科目を受講して、講義内容を更に詳しく学びたいと思いますか？	どちらとも言えない	3	18.3%	21.6%	18.6%	19.2%	17.7%	15.1%	21.0%	20.8%
	あまり思わない	2	5.6%	5.6%	5.9%	4.2%	3.7%	5.8%	7.4%	7.6%
	全く思わない	1	2.2%	2.4%	1.8%	1.9%	1.1%	2.2%	3.0%	4.5%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表3—(4)—⑥—2 令和元年度後期 授業評価アンケート〈意欲の高まり〉回答の割合

	回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター
【質問13】 意欲の高まり	大いに思う	5	37.7%	38.6%	37.5%	38.7%	34.8%	39.1%	38.2%	29.5%
	やや思う	4	37.9%	32.7%	38.9%	36.5%	43.6%	40.0%	33.4%	33.8%
この科目を受講して、講義内容を更に詳しく学びたいと思いますか？	どちらとも言えない	3	17.9%	21.3%	16.5%	19.1%	16.3%	15.6%	19.4%	27.8%
	あまり思わない	2	4.5%	5.6%	4.1%	3.9%	4.2%	4.0%	5.7%	4.6%
	全く思わない	1	2.0%	1.8%	2.9%	1.8%	1.1%	1.3%	3.4%	4.2%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

⑦ 【質問 14】 学修の成果について

「学修の成果」については、すべての学部・センターにおいて前後期とも 4.0 以上であり、高い自己評価となっている。

最高評価（回答の 5）の割合は、経済学部（前期 38.9%、後期 42.1%）で最も高く、共同利用センター（前期 28.9%、後期 31.2%）で最も低かったが、他の学部・センターでも 33.5%（人間文化学部 前期）～38.5%（薬学部 後期）の範囲であり、学部・センター間で大きな差はみられなかった（表 3—(4)—⑦—1、表 3—(4)—⑦—2）。

ただし、多くの学部・センターで「十分に成果はあがっている」ではなく「少し成果はあがっている」という回答が最も多かった。もう一步の努力が学生と教員の双方に求められる。

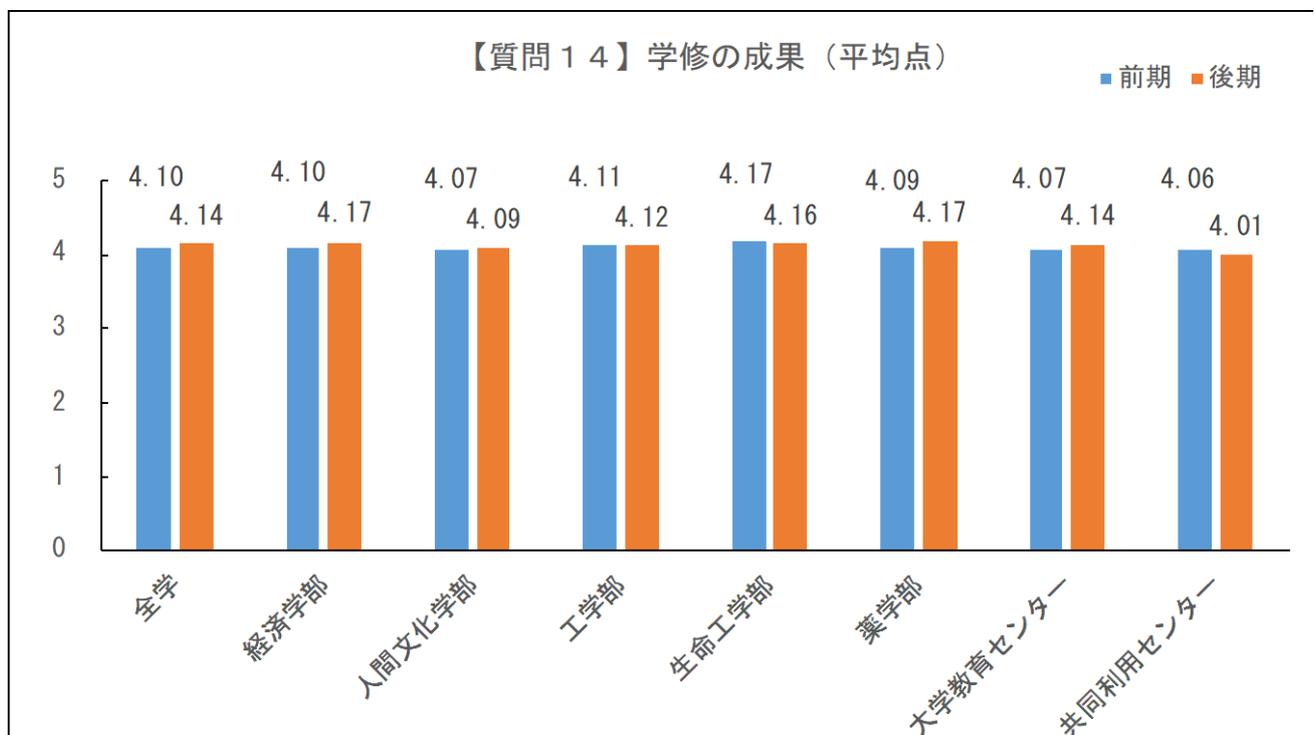


表3—(4)—⑦—1 令和元年度前期 授業評価アンケート〈学修の成果〉回答の割合

回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	
【質問14】 学修の成果 この科目であ なたが得た成 果を5段階で 自己評価して ください。	十分に成果はあが っている	5	35.4%	38.9%	33.5%	35.1%	35.7%	35.1%	35.6%	28.9%
	少し成果はあがっ ている	4	44.1%	38.3%	45.2%	45.6%	48.5%	43.9%	41.7%	52.6%
	どちらとも言え ない	3	16.3%	17.8%	16.8%	15.4%	13.6%	16.5%	17.8%	14.5%
	あまり成果はあが っていない	2	3.2%	3.6%	3.6%	3.2%	1.7%	3.4%	3.5%	3.4%
	全く成果はあが っていない	1	1.0%	1.4%	0.9%	0.7%	0.6%	1.0%	1.4%	0.7%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

表3—(4)—⑦—2 令和元年度後期 授業評価アンケート〈学修の成果〉回答の割合

回答		全学	経済学部	人間文化学部	工学部	生命工学部	薬学部	大学教育センター	共同利用センター	
【質問14】 学修の成果 この科目であ なたが得た成 果を5段階で 自己評価して ください。	十分に成果はあが っている	5	38.1%	42.1%	35.6%	37.5%	35.3%	38.5%	40.1%	31.2%
	少し成果はあがっ ている	4	42.6%	37.3%	44.7%	41.3%	48.7%	43.2%	39.6%	43.5%
	どちらとも言え ない	3	15.7%	16.8%	14.7%	17.5%	13.6%	15.8%	15.4%	21.5%
	あまり成果はあが っていない	2	2.6%	3.0%	2.8%	2.9%	1.9%	1.9%	3.5%	3.0%
	全く成果はあが っていない	1	1.0%	0.8%	2.2%	0.8%	0.5%	0.7%	1.3%	0.8%
	計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

4. 全学、学部・センターの全体総括

全学レベル、学部・センターレベルでの授業評価アンケート結果を分析すると、本学では全体的に以下の特徴が認められる。

(1) 学生による授業評価結果（質問1～質問7）

- 全学レベルにおいても学部・センターレベルにおいても、質問1～質問7の各平均点は4.0以上である。
- 全学レベルにおいても学部・センターレベルにおいても、質問1～質問7の平均点を平均した値（学生による総合的な授業評価）は4.5前後である。

以上の結果は、学生の授業に対する評価が、昨年度に引き続き全体としては極めて高い状況を維持していることを示している。今後も、自己点検・評価を繰り返しながら、さらなる向上を目指して授業に取り組んでいきたい。

(2) 学生の自己点検（質問8～14）

- 全学レベルにおいても学部・センターレベルにおいても、質問8の関連学習については平均点が2.0前後であり、残念ながら昨年度と比べ特に改善は見られなかった。

- 全学レベルにおいても学部・センターレベルにおいても、質問 10 の出席状況については平均点が 4.2 以上である。
- 全学レベルにおいても学部・センターレベルにおいても、質問 12 の質問への積極性については、質問 8 と同様に依然として平均点が低い傾向にある。
- その他の質問項目については、平均点は 4.0 前後であり、おおむね良好である。

学生の自己点検結果は、全体的には昨年度に引き続きおおむね良好であると判断できる。ただし、質問 8 の関連学習に関しては改善が必要である。授業外での関連学習を促す仕組みとしては、課題レポート、小テスト、e-Learning、反転授業などの導入が考えられる。しかしながら、学科によっては授業数・授業コマ数が多すぎて学生が関連学習まで手が回っていないという可能性も無視できない。この問題の解決にはカリキュラムの精査が必要かもしれない。

また質問 10 と 12 の結果は、授業には真面目に出席するものの、質問への積極性にはやや欠けるといふ本学の学生像を反映していると考えられる。質問への積極性に関しては、教員がハード面（ICT を用いた質問方法の工夫など）やソフト面（学生と教員の距離感を近づけるコミュニケーションの工夫など）の両方を通じた、より質問をしやすい環境づくりが必要である。

各学科・センターごとの詳細な分析と総括は、「5. 学科の授業評価アンケート結果（p.32～35）」および「6. 学科、センターの個別総括（p.36～85）」を参照していただきたい。今後も、学科・センターレベルでの授業改善を通して、全学的な授業の向上を目指していきたい。

5. 学科の授業評価アンケート結果

(1) 学科の集計結果一覧

各学科ごとの前期の集計結果を表 5-(1)-1、表 5-(1)-2 に、後期の集計結果を表 5-(1)-3、表 5-(1)-4 に示す。なお、全学の各種値は、各センターと RI 室を含めた値のため、本表の全学科の合計値とは一致していない。

表5 —(1)— 1 令和元年度前期【学科】授業評価アンケート集計結果

講義番号 学部 学科 曜限 主担当教員 実施教員 科目名	係数	全学	経済学	国際	税務	人間	心理	メ	スマ	建	情	機	生	生	海	薬	
			学	際	会	文	ディア	ート	築	報	械	物	命	洋	学		
受講者数		30786	2943	1624	985	1466	1145	854	704	1502	759	424	778	813	1970	9715	
回答者数		18326	1288	693	413	830	773	584	419	1098	425	274	650	511	1326	5385	
回答率		59.5%	43.8%	42.7%	41.9%	56.6%	67.5%	68.4%	59.5%	73.1%	56.0%	64.6%	83.5%	62.9%	67.3%	55.4%	
【質問1】 授業準備 授業の準備が適切になされている と思いますか？	適切である	5	13036	871	489	279	609	526	409	300	800	258	178	480	340	963	3933
	ほぼ適切である	4	4024	266	147	97	178	198	132	104	243	120	66	155	128	287	1112
	どちらとも言えない	3	993	118	41	29	38	37	30	13	42	36	28	13	42	66	251
	やや不適切である	2	182	27	11	5	3	10	11	2	6	7	1	1	1	5	58
	不適切である	1	91	6	5	3	2	2	2	0	7	4	1	1	0	5	31
	平均点		4.62	4.53	4.59	4.56	4.67	4.60	4.60	4.68	4.66	4.46	4.53	4.71	4.58	4.66	4.64
【質問2】 話し方 教員の話し方は明瞭ですか？	聞き取りやすい	5	11154	767	448	269	518	477	367	268	654	225	154	414	274	800	3315
	ほぼ聞き取りやすい	4	4696	295	160	89	204	203	155	120	313	122	69	176	163	338	1345
	どちらとも言えない	3	1481	135	51	38	68	63	45	25	82	52	28	41	58	96	360
	やや聞き取りにくい	2	766	71	27	12	35	28	16	4	36	20	16	16	15	67	278
	大変聞き取りにくい	1	229	20	7	5	5	2	1	2	13	6	7	3	1	25	87
	平均点		4.41	4.33	4.46	4.46	4.44	4.46	4.49	4.55	4.42	4.27	4.27	4.51	4.36	4.37	4.40
【質問3】 計画性 授業はシラバス通りに行われていま すか？	行われている	5	10738	737	448	252	495	450	353	253	729	252	164	356	289	792	2969
	ほぼ行われている	4	3372	272	142	77	160	160	119	98	247	100	67	169	92	298	677
	どちらとも言えない	3	905	110	40	28	54	47	35	22	55	24	14	24	44	67	138
	やや異なっている	2	168	17	4	15	5	21	6	1	6	2	5	5	6	12	28
	全く異なっている	1	56	8	4	1	2	3	2	0	3	2	0	1	0	4	12
	平均点		4.61	4.50	4.61	4.51	4.59	4.52	4.58	4.61	4.63	4.57	4.56	4.57	4.54	4.59	4.72
【質問4】 授業時間 授業をあまりに遅く始めたり、早く終 わったりしないで、90分間の授業時 間を守っていますか？	守っている	5	13720	905	530	292	560	554	388	321	741	306	202	494	385	1012	4337
	ほぼ守っている	4	3629	285	125	94	222	168	151	85	296	93	54	142	93	269	823
	どちらとも言えない	3	721	75	30	21	39	35	39	13	46	21	14	10	29	40	148
	やや守っていない	2	157	14	7	4	7	13	4	0	10	5	1	2	4	2	36
	守っていない	1	99	9	1	2	2	3	2	0	5	0	3	2	0	3	41
	平均点		4.68	4.60	4.70	4.62	4.60	4.63	4.57	4.74	4.60	4.65	4.65	4.73	4.68	4.72	4.74
【質問5】 講義の工夫 教員は、科目内容を理解しやすくす るように工夫していると思います か？	思う	5	10906	752	438	249	513	456	360	245	633	188	143	405	271	806	3249
	やや思う	4	4894	315	159	97	202	233	150	127	332	143	89	194	154	350	1397
	どちらとも言えない	3	1680	140	66	49	88	52	56	37	90	59	29	39	69	119	429
	あまり思わない	2	638	61	22	12	24	29	13	9	34	25	12	11	15	38	230
	全く思わない	1	208	20	8	6	3	3	5	1	9	10	1	1	2	13	80
	平均点		4.40	4.33	4.44	4.38	4.44	4.44	4.45	4.45	4.41	4.12	4.32	4.52	4.32	4.43	4.39
【質問6】 質問への誠意 教員は、あなたの質問に誠意をも って答えていますか？	誠意をもって答える	5	7139	577	382	219	355	359	265	149	474	187	105	203	214	557	1434
	ほぼ誠意をもって答える	4	2029	180	88	57	93	104	85	47	160	59	39	88	65	177	300
	どちらとも言えない	3	951	109	39	30	51	38	41	22	70	22	17	35	36	89	159
	やや誠意が感じられない	2	123	15	4	4	2	7	6	0	15	5	5	0	0	7	21
	誠意が感じられない	1	93	13	3	2	0	2	1	0	9	2	1	3	0	6	29
	平均点		4.55	4.45	4.63	4.56	4.60	4.59	4.53	4.58	4.48	4.54	4.45	4.48	4.57	4.52	4.59
【質問7】 講義の満足度 この科目はやりがいや手応え、また 将来に役立つと感じるもので すか？	大いに感じる	5	8889	671	383	207	432	356	296	198	555	173	110	285	210	709	2551
	やや感じる	4	6199	350	187	121	263	271	184	155	395	139	100	286	194	432	1894
	どちらとも言えない	3	2427	195	93	63	110	108	82	57	105	86	49	67	97	143	664
	あまり感じない	2	562	54	23	15	19	33	16	7	30	18	12	10	9	26	189
	全く感じない	1	249	18	7	7	6	5	6	2	13	9	3	2	1	16	87
	平均点		4.25	4.24	4.32	4.23	4.32	4.22	4.28	4.29	4.32	4.06	4.10	4.30	4.18	4.35	4.23
【質問1】～【質問7】の平均		4.50	4.43	4.54	4.48	4.52	4.49	4.50	4.56	4.50	4.38	4.41	4.55	4.46	4.52	4.53	

表5 —(1)— 2 令和元年度前期【学科】授業評価アンケート集計結果 質問8)～14)

講義番号 学部 学科 曜限 主担当教員 実施教員 科目名	係数	全学	経済学科	国際経済学科	税務会計学科	人間文化学科	心理学科	メディア・映像学科	スマートシステム学科	建築学科	情報工学科	機械システム工学科	生物工学科	生命栄養科学科	海洋生物科学科	薬学科	
			30786	2943	1624	985	1466	1145	854	704	1502	759	424	778	813	1970	9715
受講者数		30786	2943	1624	985	1466	1145	854	704	1502	759	424	778	813	1970	9715	
回答者数		18326	1288	693	413	830	773	584	419	1098	425	274	650	511	1326	5385	
回答率		59.5%	43.8%	42.7%	41.9%	56.6%	67.5%	68.4%	59.5%	73.1%	56.0%	64.6%	83.5%	62.9%	67.3%	55.4%	
【質問8】関連学習 この授業に関して、1回の講義あたり平均してどのくらい予習・復習、あるいは関連の学習をしましたか？	3時間以上	5	813	86	65	33	36	25	41	8	56	14	8	12	21	41	247
	2～3時間未満	4	912	71	41	14	34	39	42	15	66	18	7	14	19	48	365
	1～2時間未満	3	3092	204	133	78	125	172	106	49	191	66	37	113	90	224	1012
	30分～1時間未満	2	5634	393	208	132	229	249	156	115	370	134	105	254	157	455	1465
	30分未満	1	7875	534	246	156	406	288	239	232	415	193	117	257	224	558	2296
	平均点		1.97	2.05	2.24	2.12	1.87	2.05	2.13	1.69	2.07	1.88	1.85	1.88	1.94	1.91	2.03
【質問9】集中力 授業中に私語、居眠り、携帯電話の操作、あるいは別のことを考えることなどはありますか？	全くない	5	6997	429	284	157	217	128	153	113	322	111	70	208	192	417	2843
	ほとんどない	4	6571	441	196	143	270	290	228	150	436	179	93	262	190	553	1848
	どちらとも言えない	3	2897	267	150	79	199	161	129	90	205	88	74	116	88	237	416
	しばしばある	2	1523	119	53	25	128	161	64	61	116	42	30	59	39	96	191
	毎回ある	1	338	32	10	9	16	33	10	5	19	5	7	5	2	23	87
	平均点		4.00	3.87	4.00	4.00	3.66	3.41	3.77	3.73	3.84	3.82	3.69	3.94	4.04	3.94	4.33
【質問10】出席状況 授業には特別な事情(公認欠席、忌引きなど)を除き、出席していますか？	全出席	5	12891	747	373	244	559	536	405	226	597	239	156	413	426	767	4761
	ほぼ出席	4	4023	394	240	131	205	159	149	130	328	125	87	183	68	387	537
	ときどき欠席する	3	1017	101	54	30	46	57	23	44	126	43	24	37	14	130	64
	やや欠席が多い	2	268	28	19	4	11	14	3	15	30	15	6	14	2	27	14
	欠席が大変多い	1	127	18	7	4	9	7	4	4	17	3	1	3	1	15	9
	平均点		4.60	4.42	4.38	4.47	4.56	4.56	4.62	4.33	4.33	4.37	4.43	4.52	4.79	4.41	4.86
【質問11】知識の深まり この科目を受講して、あなたの知識は深まっていますか？	大いに深まっている	5	7580	525	304	172	338	299	267	154	504	135	97	232	186	656	2261
	やや深まっている	4	7721	501	254	161	354	344	225	196	455	192	111	351	231	525	2314
	どちらとも言えない	3	2307	202	99	63	109	93	67	49	114	75	47	60	80	105	607
	あまり深まっていない	2	520	40	26	11	21	27	18	18	19	20	13	4	13	29	152
	全く深まっていない	1	198	20	10	6	8	10	7	2	6	3	6	3	1	11	51
	平均点		4.20	4.14	4.18	4.17	4.20	4.16	4.24	4.15	4.30	4.03	4.02	4.24	4.15	4.35	4.22
【質問12】質問への積極性 授業内容について、質問したいと思うことはありますか？また、実際に質問しますか？	学修が十分進んでおり、質問の必要がない	5	6455	543	288	166	317	221	265	154	370	140	88	267	114	499	1522
	しばしば質問する	4	1898	156	91	58	95	95	84	31	143	53	28	32	62	170	401
	ときどき質問する	3	2849	216	114	84	131	165	83	55	202	71	63	67	99	243	628
	質問はあるが、ほとんど質問していない	2	5634	320	168	92	234	249	136	150	351	136	81	235	208	357	1974
	学修に取り組んでいないため、質問すべきことがみつからない	1	1490	53	32	13	53	43	16	29	32	25	14	49	28	57	860
	平均点		3.34	3.63	3.63	3.66	3.47	3.26	3.76	3.31	3.43	3.35	3.35	3.36	3.05	3.53	2.95
【質問13】意欲の高まり この科目を受講して、講義内容を更に詳しく学びたいと思いませんか？	大いに思う	5	6608	450	278	159	301	288	226	132	439	145	92	211	150	551	1966
	やや思う	4	6924	447	215	136	301	293	201	159	423	161	104	291	211	515	2174
	どちらとも言えない	3	3361	287	143	87	160	129	118	99	173	97	57	116	129	194	814
	あまり思わない	2	1034	69	40	25	54	47	29	24	39	16	14	25	20	46	315
	全く思わない	1	399	35	17	6	14	16	10	5	24	6	7	7	1	20	116
	平均点		4.00	3.94	4.01	4.01	3.99	4.02	4.03	3.93	4.11	4.00	3.95	4.04	3.96	4.15	4.03
【質問14】学修の成果 この科目であなたが得た成果を5段階で自己評価してください。	十分に成果があがっている	5	6488	483	289	159	301	223	209	131	442	120	85	196	147	545	1890
	少し成果があがっている	4	8073	516	249	152	350	372	267	211	497	192	110	373	250	582	2365
	どちらとも言えない	3	2993	224	119	83	144	140	83	59	131	87	65	72	103	162	890
	あまり成果があがっていない	2	587	44	29	13	29	32	18	16	20	22	12	8	11	24	184
	全く成果があがっていない	1	185	21	7	6	6	6	7	2	8	4	2	1	0	13	56
	平均点		4.10	4.08	4.13	4.08	4.10	4.00	4.12	4.08	4.22	3.95	3.96	4.16	4.04	4.22	4.09
【質問8】～【質問14】の平均			3.74	3.73	3.79	3.79	3.69	3.64	3.81	3.60	3.76	3.63	3.61	3.73	3.71	3.79	3.79

表5 —(1)— 3 令和元年度後期【学科】授業評価アンケート集計結果 質問1)～7)

講義番号 学部 学科 曜限 担当教員 実施教員 科目名	係数	全学	経済学	国際	税務	人間	心理	メ	スマ	建	情	機	生	生	海	薬	
			学	経	際	務	間	理	デ	ア	学	報	械	物	命	洋	学
受講者数		26547	3253	814	1095	1309	789	983	654	1579	751	472	894	704	2109	6608	
回答者数		13306	1105	456	364	599	481	561	198	855	338	262	567	428	1495	3170	
回答率		50.1%	34.0%	56.0%	33.2%	45.8%	61.0%	57.1%	30.3%	54.1%	45.0%	55.5%	63.4%	60.8%	70.9%	48.0%	
【質問1】 授業準備 授業の準備が適切になされている と思いますか？	適切である	5	9576	735	317	254	438	319	388	128	632	217	164	393	293	1009	2507
	ほぼ適切である	4	2881	277	104	75	123	121	147	57	174	94	67	138	103	400	525
	どちらとも言えない	3	655	77	31	25	30	25	19	11	44	16	22	32	20	78	104
	やや不適切である	2	139	13	3	7	4	11	4	1	5	8	7	4	9	6	26
	不適切である	1	55	3	1	3	4	5	3	1	0	3	2	0	3	2	8
平均点		4.64	4.56	4.61	4.57	4.65	4.53	4.63	4.57	4.68	4.52	4.47	4.62	4.57	4.61	4.73	
【質問2】 話し方 教員の話し方は明瞭ですか？	聞き取りやすい	5	8389	627	270	238	368	288	371	114	556	179	154	321	236	850	2192
	ほぼ聞き取りやすい	4	3368	274	112	85	158	124	151	66	218	113	67	196	141	440	684
	どちらとも言えない	3	916	120	49	28	36	24	28	13	51	29	27	39	29	109	173
	やや聞き取りにくい	2	505	65	22	11	29	31	8	4	23	10	11	11	18	87	100
	大変聞き取りにくい	1	128	19	3	2	8	14	3	1	7	7	3	0	4	9	21
平均点		4.46	4.29	4.37	4.50	4.42	4.33	4.57	4.45	4.51	4.32	4.37	4.46	4.37	4.36	4.55	
【質問3】 計画性 授業はシラバス通りに行われていま すか？	行われている	5	8054	670	298	223	358	243	345	124	620	205	158	315	252	811	1879
	ほぼ行われている	4	2433	221	80	61	129	124	116	42	159	84	52	164	81	386	311
	どちらとも言えない	3	641	78	36	27	41	31	32	15	38	19	20	17	15	76	66
	やや異なっている	2	123	17	3	9	7	10	3	6	6	4	4	2	8	10	8
	全く異なっている	1	49	4	0	3	3	2	3	0	3	1	2	0	3	6	7
平均点		4.62	4.55	4.61	4.52	4.55	4.45	4.60	4.52	4.68	4.56	4.53	4.59	4.59	4.56	4.78	
【質問4】 授業時間 授業をあまりに遅く始めたり、早く終 わったりしないで、90分間の授業時 間を守っていますか？	守っている	5	10142	799	342	258	428	353	405	126	666	243	191	426	292	1047	2742
	ほぼ守っている	4	2523	244	83	72	139	95	137	56	151	77	49	126	106	376	348
	どちらとも言えない	3	473	50	26	28	23	19	16	7	31	13	12	11	22	57	57
	やや守っていない	2	109	9	5	5	5	7	1	4	5	3	9	3	7	10	12
	守っていない	1	59	3	0	1	4	7	2	5	2	2	1	1	1	5	11
平均点		4.70	4.65	4.67	4.60	4.64	4.62	4.68	4.48	4.72	4.64	4.60	4.72	4.59	4.64	4.83	
【質問5】 講義の工夫 教員は、科目内容を理解しやすくす るように工夫していると思います か？	思う	5	8184	628	273	227	354	270	330	104	568	148	140	335	239	838	2122
	やや思う	4	3562	284	110	81	172	135	174	72	207	135	81	172	132	494	764
	どちらとも言えない	3	1111	144	55	44	52	37	41	14	62	41	28	43	36	115	203
	あまり思わない	2	326	40	12	9	14	24	10	4	11	7	9	14	19	40	59
	全く思わない	1	123	9	6	3	7	15	6	4	7	7	4	3	2	8	22
平均点		4.45	4.34	4.39	4.43	4.42	4.29	4.45	4.35	4.54	4.21	4.31	4.45	4.37	4.41	4.55	
【質問6】 質問への誠意 教員は、あなたの質問に誠意をも って答えていますか？	誠意をもって答える	5	5342	552	243	195	285	232	288	71	397	126	107	192	160	536	758
	ほぼ誠意をもって答える	4	1633	169	66	63	91	67	95	32	110	54	40	85	50	238	155
	どちらとも言えない	3	660	92	45	27	27	30	27	17	43	21	21	36	15	72	60
	やや誠意が感じられない	2	99	14	4	3	5	10	2	2	6	3	5	3	2	4	9
	誠意が感じられない	1	63	5	1	0	5	11	2	0	5	6	2	1	0	6	10
平均点		4.55	4.73	4.97	4.76	4.86	4.81	4.76	4.61	4.41	4.58	4.39	4.40	4.46	4.62	4.51	4.66
【質問7】 講義の満足度 この科目はやりがいや手応え、また 将来に役立つと感じるもので すか？	大いに感じる	5	6851	547	251	210	314	230	297	80	493	124	113	277	191	739	1673
	やや感じる	4	4405	345	116	90	183	161	204	90	256	128	88	213	160	557	1083
	どちらとも言えない	3	1593	160	73	51	77	55	43	20	89	73	43	60	61	158	342
	あまり感じない	2	322	45	13	9	13	23	10	3	13	7	10	13	12	36	48
	全く感じない	1	135	8	3	4	12	12	7	5	4	6	8	4	4	5	24
平均点		4.32	4.25	4.31	4.35	4.29	4.19	4.38	4.20	4.43	4.06	4.10	4.32	4.22	4.33	4.37	
【質問1】～【質問7】の平均			4.53	4.45	4.50	4.50	4.50	4.41	4.56	4.43	4.59	4.39	4.40	4.52	4.48	4.49	4.64

表5 —(1)— 4 令和元年度後期【学科】授業評価アンケート集計結果 質問8)～14)

講義番号	学部	学科	曜限	主担当教員	実施教員	科目名	係数	学科															
								全学	経済学科	国際経済学科	税務会計学科	人間文化学科	心理学科	メディア・映像学科	スマートシステム学科	建築学科	情報工学科	機械システム工学科	生物工学科	生命栄養科学科	海洋生物科学科	薬学科	
受講者数								26547	3253	814	1095	1309	789	983	654	1579	751	472	894	704	2109	6608	
回答者数								13306	1105	456	364	599	481	561	198	855	338	262	567	428	1495	3170	
回答率								50.1%	34.0%	56.0%	33.2%	45.8%	61.0%	57.1%	30.3%	54.1%	45.0%	55.5%	63.4%	60.8%	70.9%	48.0%	
【質問8】関連学習	3時間以上	5	644	78	40	32	46	8	45	10	32	19	10	17	15	36	147						
	2～3時間未満	4	713	88	42	18	34	27	46	15	30	31	13	12	19	71	151						
	1～2時間未満	3	2301	242	82	67	121	96	119	31	154	34	57	100	60	231	513						
	30分～1時間未満	2	3855	308	122	112	144	165	166	50	273	127	83	233	127	420	819						
	30分未満	1	5793	389	170	135	254	185	185	92	366	127	99	205	207	737	1540						
	平均点		1.99	2.24	2.25	2.18	2.12	1.98	2.29	1.99	1.93	2.08	2.05	1.95	1.85	1.83	1.91						
【質問9】集中力	全くない	5	4750	349	147	118	140	70	150	52	266	93	75	201	160	377	1628						
	ほとんどない	4	4988	423	167	116	249	150	238	81	322	148	95	216	159	678	1137						
	どちらとも言えない	3	2235	235	90	92	108	127	98	45	156	58	59	105	72	313	237						
	しばしばある	2	1077	78	46	32	81	111	61	18	88	29	27	38	34	104	132						
	毎回ある	1	256	20	6	6	21	23	14	2	23	10	6	7	3	23	36						
	平均点		3.97	3.91	3.88	3.85	3.68	3.28	3.80	3.82	3.84	3.84	3.79	4.00	4.03	3.86	4.32						
【質問10】出席状況	全出席	5	8408	569	168	213	350	287	313	112	393	162	136	345	321	733	2836						
	ほぼ出席	4	3583	391	197	100	191	152	180	68	308	119	95	169	86	535	277						
	ときどき欠席する	3	897	99	67	34	46	30	40	12	107	28	24	40	16	149	30						
	やや欠席が多い	2	301	34	19	12	11	9	19	3	34	15	6	8	5	57	21						
	欠席が大変多い	1	117	12	5	5	1	3	9	3	13	14	1	5	0	21	6						
	平均点		4.49	4.33	4.11	4.38	4.47	4.48	4.37	4.43	4.21	4.18	4.17	4.48	4.69	4.27	4.87						
【質問11】知識の深まり	大いに深まっている	5	5734	472	201	159	238	204	237	73	414	105	97	239	160	615	1442						
	やや深まっている	4	5517	435	169	138	254	188	254	91	340	141	118	270	209	676	1319						
	どちらとも言えない	3	1590	145	71	56	79	57	52	29	80	67	34	39	45	173	344						
	あまり深まっていない	2	348	45	11	8	17	18	10	3	18	19	9	15	13	25	52						
	全く深まっていない	1	117	8	4	3	11	14	8	2	3	6	4	4	1	6	13						
	平均点		4.23	4.19	4.21	4.21	4.15	4.14	4.25	4.16	4.34	3.95	4.13	4.28	4.20	4.25	4.30						
【質問12】質問への積極性	学修が十分進んでおり、質問の必要がない	5	4973	474	178	152	266	123	238	82	351	87	63	219	124	556	1043						
	ときどき質問する	4	1408	139	74	45	71	89	89	24	97	53	56	48	32	131	182						
	ときどき質問する	3	1998	203	68	78	91	105	92	29	115	40	60	79	65	229	300						
	質問はあるが、ほとんど質問していない	2	3698	256	108	77	131	129	118	49	262	141	74	179	173	469	996						
	学修に取り組んでいないため、質問すべきことがみつからない	1	1229	33	28	12	40	35	24	14	30	17	9	42	34	110	649						
	平均点		3.39	3.69	3.58	3.68	3.65	3.28	3.71	3.56	3.56	3.15	3.34	3.39	3.09	3.37	2.99						
【質問13】意欲の高まり	大いに思う	5	5017	397	184	163	202	183	231	66	374	112	87	193	141	533	1241						
	やや思う	4	5045	376	142	111	235	189	214	83	300	110	111	253	180	653	1268						
	どちらとも言えない	3	2377	240	98	72	111	70	90	37	140	92	47	89	86	230	494						
	あまり思わない	2	605	72	21	15	35	22	11	8	27	16	13	26	17	62	127						
	全く思わない	1	262	20	11	3	16	17	15	4	14	8	4	6	4	17	40						
	平均点		4.05	3.96	4.02	4.14	3.95	4.04	4.13	4.01	4.16	3.89	4.01	4.06	4.02	4.09	4.12						
【質問14】学修の成果	十分に成果があがっている	5	5072	462	185	163	221	146	217	62	386	91	81	204	129	545	1221						
	少し成果があがっている	4	5671	434	162	122	266	218	249	96	323	142	122	284	223	706	1368						
	どちらとも言えない	3	2091	164	90	69	80	82	80	32	123	87	47	65	62	211	500						
	あまり成果があがっていない	2	341	36	15	7	18	20	8	5	22	13	8	11	11	26	59						
	全く成果があがっていない	1	131	9	4	3	14	15	7	3	1	5	4	3	3	7	22						
	平均点		4.14	4.18	4.12	4.20	4.11	3.96	4.18	4.06	4.25	3.89	4.02	4.19	4.08	4.17	4.17						
【質問8】～【質問14】の平均																							
								3.75	3.79	3.74	3.81	3.73	3.59	3.82	3.72	3.76	3.57	3.67	3.76	3.71	3.69	3.81	

6. 学科、センターの個別総括

平成30年度の授業評価アンケートについて、学科長・センター長が総括し、報告書を作成した。今後、この自己点検・評価を基に、さらなる授業改善が期待される。

① 経済学部経済学科

令和2年3月5日

大学教育センター

大塚 豊 センター長 殿

経済学部経済学科

学科長 北浦 孝

令和元年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

- 【1】 実施期間 前期：令和元年6月21日（金）～7月11日（木）
後期：令和元年12月16日（月）～令和2年1月11日（土）

【2】 対象科目の選定

全ての授業科目（原則、実習、演習を除く）についてアンケートを実施する方針に従い、経済学科では前期34科目、後期34科目について調査を行った。

【3】 アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する7項目、学生自身の学習点検に関する7項目、合計14項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢より選択することとした。

【4】 調査結果の集計

アンケート調査および集計は Cerezo を利用して行った。

【5】 調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：

教員の授業評価に関する7項目は、教員の授業の準備や話し方など技術的な設問と講義内容の妥当性を問う設問で構成されている。経済学科の教員の板書、話し方、計画性等の授業技術は5段階評価で4段階以上の評価を得ており、専任および非常勤においても十分に高いレベルを有していると判断できる。

分析結果を踏まえた改善方策：

経済学科の教員の授業技術については、学生はどちらとも言えないという標準以上の評価をしているが、今後もさらに改善努力を継続する予定である。全般的に評価が高くても、個々人には常に改善の余地は存在すると思う。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：

多くの科目で「関連学習の予習・復習など」の自己評価が全学平均よりは良いものの、2段階で1時間未満の学習と5段階の3時間以上に比べ、顕著に低くなっている。学習の成果は4段階であり成果は少し上がっているが、学生の自己点検の部分にはまだ改善の余地があると言える。

分析結果を踏まえた改善方策：

全学的に取り組んでいる準備や復習などの学習の充実への努力を今後も継続する必要がある。また、学生に対してアルバイトの時間が過多にならないように指導して、準備および復習の学習のための時間とエネルギーを確保することが肝要である。また、学内における教育環境の整備と並行して、自学自習の習慣を身に着ける指導が必要と思われる。

【6】 教員へのフィードバックについて

アンケート集計結果は、学科教員（専任・非常勤を含め）全員に対して全ての集計結果をフィードバックしている。対象科目担当教員には、それを基に授業アンケート実施報告書の提出を求めた。

【7】 学生へのフィードバックについて

学生に対するフィードバックは講義中または最終回、定期試験実施時、あるいは Cerezo を通じて当該授業科目担当教員が行った。その詳細は、提出された報告書に記載している通りである。

【8】 学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書（添付）より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

＜意見・提案＞

- (1) 学生の基礎能力の差異を加味しながら調整をして、学生の授業理解度などの反応を見ながら可能な限りシラバスに則した形で進行できるよう改善に努め、学生の満足度を高めていきたい。しかし、働き方改革の促進とは言うものの学生指導も含め学内業務の負担過多もあることから、教員の改善のための時間の余裕も制限されていることから、段階的改善を試みる。
- (2) 集中力に関しては授業に出席はしているものの、教室の後ろの方に座っている学生の多くがスマホを見ており、注意しても一瞬スマホから目を離すのみであり、受講姿勢に問題がある。大学での授業の意義が理解されていないので、これをどのように改善するかを考えている。甘やかされてきた従来の指導方法にテコ入れをする必要がある。
- (3) 卒業時の学生の質保証に向け、授業開始当初と、授業終了後の「学生ができるようになったこと」の比較が明確にできれば、より学生の学習意欲を引き出せるのではないかとと思われる。科目の必要

性を正しく理解させる工夫が必要と思われる。

【9】 総 括

今回のアンケート調査では、本学科における授業の実施と学生の学修成果の実態を表す結果が得られたと思える。また先述のように、授業改善に向けた課題も明らかになった。概して、アンケートの評点は結構高いので、改善点を見つけにくい面もある。従って、評点にもっとメリハリがあった方が、授業改善のためには効果的なアンケートとなるかもしれない。更に、学科全体の学習プログラムの段階的設定が必要との意見があり、今後その改善にも取り組んでいく必要性が再確認されたので抜本的改革を実施して行く予定である。

② 経済学部国際経済学科

令和 2 年 月 29 日

大学教育センター

大塚 豊 センター長 殿

経済学部国際経済学科

学科長 足立 浩一

平成 30 年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

【1】実施期間 前期：令和元年 6 月 21 日（金）～7 月 11 日（木）

後期：令和元年 12 月 16 日（月）～令和 2 年 1 月 11 日（土）

【2】対象科目の選定

全ての授業科目（原則、実習、演習を除く）についてアンケートを実施する方針に従い、国際経済学科では前期 20 科目、後期 17 科目について調査を行った。

【3】アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する 7 項目、学生自身の学習点検に関する 7 項目、合計 14 項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの 5 つの選択肢より選択することとした。

【4】調査結果の集計

アンケート調査および集計は Cerezo を利用して行った。

【5】調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：前期の調査においては、全学平均と学科平均を比較すると学科平均はほぼ全学平均と同程度か全学平均より上であった。しかし、後期については、設問 1,2,4,5,6,9,10,11,13,14 とかなり多くの項目で全学平均よりも若干低い結果となった。また、後期においては回答率が 56.0%と全学平均に比べて高かった。あくまでも教員間に差異があるが、講義の工夫、集中力、出席状況などの項目が低い。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：前期、後期ともに出席状況が全学、学部全体に比べて低い。後期においては、集中力、出席状況、知識の高まり、意欲の高まり、学修の成果が相対的に低くなっており、問題である。

分析結果を踏まえた改善方策：学科教員間では設問 8～14 の学生自身の学習点検を特に重要であると考えている。こうした項目の結果を踏まえてどのように授業改善を行うかについて学科 FD で話し合った。遅刻、私語、居眠り、携帯電話の使用などに対して、毅然とした態度で臨み、健全な学修環境を確保する

ことや、動画を利用して集中力を高める、スマートフォンを利用したクイズの活用、課題の工夫などについて話し合った。授業改善については、継続的に学科教員間で話し合い、教育の質の向上に努めたい。

【6】 教員へのフィードバックについて

メールを利用して個人のアンケート結果を送信した。学科全体の結果については学科会議にて問題点と合わせて報告した。

【7】 学生へのフィードバックについて

後期については結果が出るのが早かったため、1名が Zelkova で行ったが、その他全員の授業中にフィードバックを行うことができた。

【8】 学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書（添付）より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

<意見・提案>

- (1) 勉強意欲が低い学生に如何に動機づける講義をするのか、今後の課題としてチャレンジしたい。
- (2) Encourage students to be able to understand the headlines of the front page of the nikkei newspaper
- (3) 卒業後の実社会で必要とされる、やる気も含めた集中力と基礎的素養（資料を読む習慣と考える習慣）の不足を痛感する。本来であれば、高校卒業時点で身に着けるべき基礎力であるが、国語力も含め、全学的な取り組みが必要と考える。
- (4) 引き続き練習問題の解説や提出課題を通して学生の自主学習を促す。テキストをしっかりと読み込むよう指導する。補習を定期的実施する。
- (5) テキストの予習を義務付けたが、一部学生しか対応しなかった。全体的な学修への意欲向上を促す必要。
- (6) 経済的問題を自分の問題としてどれだけ真剣に捉えるか、の問題意識が高まるように指導する。
- (7) 引続き世界、アジア経済の過去、現在、未来を客観的に解説するとともに、双方向型授業を通じて学生各位が考えていることを引き出すことに努めていきたい。

【9】 総括

前述のように学科としては、設問 8～14 の学生自身の学習点検を特に重要であると考えている。学生の授業出席率・集中力を向上し、知識・意欲を高め、学修の成果を感じてもらうには授業改善が必要である。今後も①各教員の授業における悩みを相談でき、みなで解決できる学科の雰囲気づくり、②各教員の授業改善に向けた試みや取り組みを共有し、取り入れられるものは取り入れる、③単にアンケート調査結果の数字だけではなく、学生と対話し、声をじかに聞くことにより授業改善を行う、④学生の目標、単位取得状況と成績、検定試験受験状況と結果、海外研修や留学歴などを担任だけでなく学科教員が情報共有するためにさらに効率的に Office365 を活用する、などが重要だと考えている。

③ 経済学部税務会計学科

令和2年2月27日

大学教育センター

大塚 豊 センター長 殿

経済部税務会計科

学科長 小林 正和

平成30年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

【1】実施期間 前期：令和元年6月21日（金）～7月11日（木）

後期：令和元年12月16日（月）～令和2年1月11日（土）

【2】対象科目の選定

全ての授業科目（原則、実習、演習を除く）についてアンケートを実施する方針に従い、税務会計学科では前期18科目、後期16科目について調査を行った。

【3】アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する7項目、学生自身の学習点検に関する7項目、合計14項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢より選択することとした。

【4】調査結果の集計

アンケート調査および集計は Cerezo を利用して行った。

【5】調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：

<前期>

「質問7 講義の満足度」では、全学（4.25）、経済学部（4.26）と比較して、税務会計学科は、4.23と満足度が若干低いと考える。

・「質問1～7の平均」は、全学（4.50）、経済学部（4.47）と比較して、税務会計学科は、4.48と若干低いと考える。

<後期>

・「質問7 講義の満足度」では、全学（4.32）、経済学部（4.28）と比較して、税務会計学科は、4.35と満足度が高くなっている。

・「質問1～7の平均」は、全学（4.53）、経済学部（4.47）と比較して、税務会計学科は、4.50と若干低くなっている。

・評価科目「質問 1～7 の平均」は、前期、後期とも経済学部と比べて高いが、全学部と比べて若干低い。また、「質問 7 講義の満足度」は、全学、学部とも前期は低かったが、後期はどちらも高くなっている。各教員が継続して改善を行った結果、学生に評価されているのではないかと考える。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：

<前期>

・「質問 8～14 の平均」は、全学 (3.74)、経済学部 (3.76) と比較して、税務会計学科は、3.79 と若干高い。

<後期>

・「質問 8～14 の平均」は、全学 (3.75)、経済学部 (3.78) と比較して、税務会計学科は、3.81 と若干高い。

・前期、後期とも評価科目の結果が全学、学部と比較して高いのは、各教員が継続して改善を行った結果、学生に評価されているのではないかと考える。

分析結果を踏まえた改善方策：

このように評価を行い、全学、学部で比較することで、どこが良くて、どこが足りないのか各自理解できたと考える。

改善方策としては、①事前学習を学生に課することで、講義に取り組み姿勢が生まれる、②ただ単に教えるのではなく、学生に質問をしたり、学生の興味を引くような内容の講義にすること、等が挙げられるのではないかと考える。

【6】教員へのフィードバックについて

前期、後期とも教員へのフィードバックは、メールで各教員へ提出し、各先生から締切内に結果報告書を受け取っている。全員締切内に提出を行った。

【7】学生へのフィードバックについて

前期、後期とも各教員が、授業時間内、定期試験内、Cerezo で学生へのフィードバックを行っている。

【8】学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書 (添付) より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

<提案>

- (1) 多くの学生の利益を確保させるために、講義中の私語に一層厳しく指導していく。
- (2) 小テストの解説を工夫することで、自宅での関連学習への取り組みを促進させるように努めたい。
- (3) 関連学習や学習成果を向上させるため、予習・復習についての時間を増加させるための具体的な課題を出していきたい。

- (4) 集中力を増すために、授業構成を区分けし、集中できる環境を整えていきたい。
- (5) 予習・復習時間を増加させるために、授業時間外に取り組むことができる課題を積極的に出していきたい。
- (6) 基礎簿記は、まずは入口として、「簿記は以外に簡単で、面白いものである」と学生に思わせられるよう、講義内容や説明方法を適切に簡略化する。それにより、学生らの関心を引き付け、より簿記を学ぶことへの抵抗感をなくしていく。その後、上級の論点に移った際も、演習中などになるべく1対1の状況を作り出し、疑問点の解消などを個別に行いたい。
- (7) 最新の新聞記事の紹介や講義に関連するDVDの上映など、事例を分かり易く紹介して、学生に飽きさせないこと等の取り組みを行う。
- (8) より初歩的な説明をしながら、テキスト内容に合わせた事例をできるだけ多く取り入れることで、学生たちの興味を引くような努力をしていく。
- (9) 授業を行うにあたり、最新の事例を扱ったり、それに関連する雑談を入れるなどによって学生の集中力を維持するための対策を取る。また学生が分かり易いよう具体的な形での説明を行い、理解度を上げるように努める。

<意見>

- (1) これからの就活で為になる話をいろいろとして下さり、有難うございました。
- (2) 先生は授業中に学生に問題があるかどうかを聞いて、この点はとても良いと思う。これからも皆さんに共通の問題を再説明することができれば、皆さんの役に立つと思います。
- (3) 高校の時から少し簿記をしていたのですが、基礎しかしていなかったもので、この講義で深くまで知れたので簿記をもう少ししてみたいと感じました。
- (4) 経営については興味あったので、とても知識が深まり知恵がついたと思う。これを機に経営についてさらに学んでいきたいなど改めて思えた。
- (5) 自分が履修している科目で一番興味がある講義なので、毎回講義が楽しみです。
- (6) 経営者のお話を聞く機会があつてとても良かった。
- (7) 授業ごとに出来ることが増えてきているので楽しいです。
- (8) 高校の時に簿記をしていたのですが、もう理解できない域に達しているので、もっと簿記の勉強をします！
- (9) 仕分けなどは端から端まで教えてくれたり、質問をしても丁寧に教えてくれるので、本当に助かります。
- (10) 授業終わりの小テストで、その日の授業の内容を復習できるので、とても有難いです。
- (11) いつもいつもすみません。授業は分かり易くていいです。
- (12) いつも楽しい授業をしていただき、大変有難うございます。
- (13) 簿記は難しいですが、先生が丁寧に教えてくださるので、何とかついていけています。

【9】 総括

「質問7 講義の満足度」は、全学、学部とも前期は低かったが、後期はどちらも高くなっている。これは、各先生が前期で評価が低かった項目や講義内容を見直したため、後期では良くなったのではない

かと考える。また「学生の自己点検」の評価科目はどちらも全学、学部と比較して高くなっている。これは各教員が継続して改善を行った結果、学生に評価されているのではないかと考える。

今後もこれらの評価科目について、さらに改善を行い、より良い講義を実施していきたいと考える。

④ 人間文化学部心理学科

令和2年3月6日

大学教育センター

大塚 豊 センター長 殿

人間文化学部心理学科

学科長 日下部 典子

令和元年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

【1】実施期間 前期：令和元年6月21日（金）～7月11日（木）

後期：令和元年12月16日（月）～令和2年1月11日（土）

【2】対象科目の選定

全ての授業科目（原則、実習、演習を除く）についてアンケートを実施する方針に従い、心理学科では前期13科目、後期11科目について調査を行った。

【3】アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する7項目、学生自身の学習点検に関する7項目、合計14項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢より選択することとした。

【4】調査結果の集計

アンケート調査および集計は Cerezo を利用して行った。

【5】調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：心理学科の平均値は7項目すべてで4.00以上であり、一定の評価を得ていると考えられる。教員の工夫や質問への誠意などが授業への満足につながった結果と言える。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：「関連学習」「集中力」が低い数値だが、その他は4.00と高い評価だったと考えられる。知識の深まりや意欲の高まりが学習成果を導いた結果と言える。

分析結果を踏まえた改善方策：学習時間が短いことと「集中力」が低いことに関して、課題の出し方や、更なる授業の工夫が必要だと考えられる。

【6】教員へのフィードバックについて

各教員に、各個人の結果と学科全体の結果をフィードバックした。

【7】 学生へのフィードバックについて

各教員が授業時間に口頭や図表を用いて、あるいは cerezo で学生にフィードバックした。

【8】 学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書（添付）より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

＜意見・提案＞

（1）関連学習時間が短いことへの対策として、単なる調べものではなく、ニュースで講義内容と関連のある記事を探すような課題とする。ニュースを読む習慣がついたり、講義内容への関心が高くなることにもつながる。

（2）授業時間にレスポンスを利用し、積極的に授業に関わる態度を伸ばす。

【9】 総括

心理学科全体として、問題のある数値ではなかったと考えられる。教員の誠意のある講義への態度が学生の一定の満足度につながったと考えられる。その中で、5点満点という数値がついている授業もあるので、評価の高かった教員から授業における工夫を学科で共有していけるようにしたい。

⑤ 人間文化学部人間文化学科

令和2年3月1日

大学教育センター

大塚 豊 センター長 殿

人間文化学部人間文化学科

学科長 小原 友行

令和元年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

【1】実施期間 前期：令和元年6月21日（金）～7月11日（木）

後期：令和元年12月16日（月）～令和2年1月11日（土）

【2】対象科目の選定

全ての授業科目（原則、実習、演習を除く）についてアンケートを実施する方針に従い、人間文化学科では前期24科目、後期28科目について調査を行った。

【3】アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する7項目、学生自身の学習点検に関する7項目、合計14項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢より選択することとした。

【4】調査結果の集計

アンケート調査および集計は Cerezo を利用して行った。

【5】調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：

- ①質問1～7の平均は、前期については4.60（全学4.50、学部4.51、なお回答者が0名の1科目は集計から除外）、後期については4.50（全学4.53、学部4.49）であった。
- ②質問7（満足度）に焦点をあてると、前期については4.41（全学4.25、学部4.27、なお回答者が0名の1科目は集計から除外）、後期については4.29（全学4.32、学部4.29）であった。
- ③このように、全体としては良好であったと考えられる。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：

- ①質問8～14の平均は、前期については4.20（全学4.10、学部4.07、なお回答者が0名の1科目は集計から除外）、後期については3.73（全学3.75、学部3.72）であった。

- ②質問 14 (学修の成果) に焦点をあてると、前期については 4.20 (全学 4.10、学部 4.07、なお回答者が 0 名の 1 科目は集計から除外)、後期については 4.11 (全学 4.14、学部 4.09) であった。
- ③このように、全体としては概ね良好であったと考えられる。

分析結果を踏まえた改善方策：

- ①授業内での動機付けに基づく授業外での積極的な学びへの継続が求められる。
- ②質問 8 の関連学習の数値が低く、自主的な学習態度に課題が残ると考えられる。
- ③これらを踏まえると、学習内容を時事問題に関連づける等の教材化の工夫や、新聞やテレビ等のメディアを活用した指導法の工夫が求められる。

【6】 教員へのフィードバックについて

- ①「学生による授業評価アンケート」のデータを、常勤および非常勤の教員にメール添付で送付し、各授業科目に関する点検・分析・評価と今後の学習指導の改善策についての回答を求めた。
- ②常勤教員に対しては、学科会議において検討を行い、次年度に向けての改善点を確認した。

【7】 学生へのフィードバックについて

常勤および非常勤の教員の各自が、授業の中で学生へのフィードバックを行った。また、一部の教員は Cerezo を通してフィードバックを行った。
新年度 4 月の学科のオリエンテーションの場で、学生へのフィードバックを行う予定である。

【8】 学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書 (添付) より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

<意見・提案>

- (1) 小グループでの話し合いやディスカッションを活発にするための方法の工夫を試みたが、十分な成果がまだできていないので、今後も継続して取り組んで行く。
- (2) 近年の学科の学生の弱点と考えられる、「書く力」を高めるための授業の工夫が求められるので、今後は、書く活動を意識的に取り入れて行く。
- (3) 日常的に読書を促すことが必要ではないか。
- (4) 質問できない学生が見られるので、受講生の疑問を吸い上げることができるような授業展開の工夫を試みて行きたい。
- (5) 「事前に学習準備をすることの大切さ」に気づかせ、一步前に踏み出させることが必要。
- (6) 学生の自己評価を高める方策を考えることが必要。できるという実感を与えることが重要。
- (7) 図・写真・映像等の補助教材の使用の充実が必要。

【9】 総括

全体として総括すれば、前期・後期通して、「学生による授業評価アンケート」の結果を見る限りでは、授業に対する評価は概ね良好と考えられるが、引き続き揺るぎないように、もう一步の工夫・改善を行っ

ていく必要がある。

そのためにも、各教員の研究内容に基づいた授業内容の工夫、学生の興味・関心や知的好奇心を喚起するような時事教材や地域教材の開発・導入、学生による主体的な学びを保障する学習のアクティブ化など、授業改善にさらに磨きをかけていくことが求められる。

令和2年3月17日

大学教育センター

大塚 豊 センター長 殿

人間文化部メディア・映像科

学科長 中嶋 健明

令和元年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

【1】実施期間 前期：令和元年6月21日（金）～7月11日（木）

後期：令和元年12月16日（月）～令和2年1月11日（土）

【2】対象科目の選定

全ての授業科目（原則、実習、演習を除く）についてアンケートを実施する方針に従い、メディア・映像学科では前期19科目、後期13科目について調査を行った。

【3】アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する7項目、学生自身の学習点検に関する7項目、合計14項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢より選択することとした。

【4】調査結果の集計

アンケート調査および集計はCerezoを利用して行った。

【5】調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：教員の授業評価に関する7項目は、教員の授業技術的設問と講義内容の妥当性を問う設問で構成されている。7項目の平均は平均4.56であり（注1）、総合的には授業技術と講義内容は妥当な水準となっている。総合的満足度を問う設問7は4.38であり（注1）、授業技術等に較べて多少低い値であるが妥当な水準と考えられる。ただし、教員間の差は大きく、3.50～4.83となっている。

分析結果を踏まえた改善方策：学科の授業技術について、学生は標準以上の評価をしているが、授業間で差は大きくなっている。授業技術について研修を行うなどの対策が必要と考えられる。このような対策によって総合的な満足度は更に向上すると考えられる。

*注1：但し今回の集計表には無線工学、電子機器学の田中聰先生、スマート防災システムの香川直己先生のアンケート結果が含まれているため、メディア・映像学科の平均とは異なっている。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：学生自身の学習点検に関する7項目の平均値は3.82であった（注1）。学生自身が自戒を込めて真撃に質問1から質問7よりも低めに回答した結果とも考えられる。ただし、関連学習については2.29と（注1）昨年度より伸びたとは言え非常に低い数値となっており、準備学修が不十分であると考えられる。学科専門科目には実習を含む演習系の科目も多く、事前の準備の難しいものもあり、この結果からだけでは学生の意欲を読み取ることはできない。また平成28年度から始めたノートPC必携化によって、授業時間外でも学習可能な環境になったが、学生にはその自覚が余り無いという事が伺われる。

分析結果を踏まえた改善方策：学生が学習の必要性を実感し、自ら学ぶ態度を身につける必要がある。この課題を達成することは至難の業である。まずは、非常に低い数値となっている関連学習について、事前学習の方法等を具体的に指示し、実施状況を定期的に確認するなどして、学習する習慣付けを行うことから始める必要がある。今年度よりシラバスにも事前学習の内容と時間数を記入した。この事によって、学生の自覚が促された可能性もあって、昨年度よりの0.07と（注1）、ごく僅かだが改善されている。ノートPC必携化によって環境が大きく変化していることの自覚を促し、授業時間外（学内・学外含め）での学習の進め方などをシラバスに沿って、更に強くアドバイスする必要があるだろう。

【6】 教員へのフィードバックについて

アンケート集計結果は、学科教員全員（非常勤も含む）に対して全ての集計結果をフィードバックしている。対象科目担当教員には、それを基に授業アンケート実施報告書の提出を求め、提出率は100%であった。

【7】 学生へのフィードバックについて

学生に対するフィードバックはCerezo、または講義中、定期試験実施時、または関連科目の講義中に当該授業科目担当教員が行った。その詳細を提出された報告書に記載している。

【8】 学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書（添付）より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

<意見・提案>

（1）学習した内容が、実社会でどのように活用されているか。また、今後、どのような学修を行うと、学びについてより発展させることができるか。など、実社会での実践能力や他の講義との関連性などを、具体例を挙げて学修者に示し、将来の目標を持たせて学ばせる必要があると考える。

(2) 家での自習課題も提示しながら、自身で学べる環境も合わせて提供できるようにしたいと考えている。

【9】総括

授業評価アンケートでは概ね高い評価を得ており、点検を怠らず現状を維持することが望ましいと言える。ただし、評価に大きな幅のあることに注意する必要がある。

学生の関連学習に関しては昨年度2.22から今年度2.29と僅かに上昇した。シラバスに事前学習の内容ばかりでなく時間数を記した結果だと考えられる。更に時間確保を誘導する指導方法を検討し、改善を促すことが課題である。

⑦ 工学部スマートシステム学科

令和2年2月29日

大学教育センター

大塚 豊 センター長 殿

工学部スマートシステム学科

学科長 仲嶋 一

平成30年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

【1】実施期間 前期：令和元年6月21日（金）～7月13日（土）

後期：令和元年12月16日（月）～1月11日（土）

【2】対象科目の選定

前後期とも各教員原則2科目のアンケートを実施した。（ただし、原則実習・演習を除く、履修者6名以上の科目としており、1科目の教員も存在する。）

【3】アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する7項目、学生自身の学習点検に関する7項目、合計14項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢からの選択である。

【4】調査結果の集計

アンケート調査および集計はCerezoを利用して行った。本学科はアンケートは学生の自由意思により実施するという大学方針を遵守し、アンケートインプットは依頼するものの特に授業時間内でアンケートを強いることは避けた。その結果として非常に低い回答率となった。これは残念ながらアンケートに対するモチベーションの低さを物語っており、アンケートに対し積極的に回答するような意識付が学科のみならず大学全体での課題と考える。上記のようなアンケート回答率の低さは学生の一つの傾向として意味もあるが、一方、母数に対し大幅に下回るサンプル数は統計値としての信頼性に欠き、これを教員評価に使用することは不適であると考えます。

【5】調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

点検結果の分析：

回答率の低さから結果の信頼性に不安はあるが、それを踏まえた上で以下分析を行う。

教員の授業評価に関する7項目は、教員の授業技術に関わる設問と講義内容の妥当性を問う設問で構成されている。前期の7項目の平均は4.56であり、工学部平均の4.48、全学平均の4.50を上回った。後期の平均は4.43であり、残念ながら工学部平均の4.50、全学平均の4.53に対し低いポイント

となった。しかしながら、昨年度の 4.30 と比較すると改善が見られており、非常に高い評価の中での僅かな差でありかつ前後期併せて考えるとほぼ差はないと考えられるので、特に過大に受け止める必要はないと考えている。個別の質問項目に関しても全学や工学部の平均から特に大きく低下している項目は無いが、敢えて抽出すると、【質問 4】授業時間が若干差異が大きい。個別教員の結果を見ると、終業時間を超えて休み時間まで講義をしてしまったこと一因であり、熱意の表れであり今後の授業の組み立てに注意をしてもらうことで解消できるものと考えている。

分析結果を踏まえた改善方策：

本学科教員の授業技術についてはほぼ標準の評価と考えられ、基本的には現状を維持しつつ一層の改善努力を試みる予定である。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：

前期における設問 8～14 の集計結果は 3.60 であり、工学部平均の 3.68、全学平均の 3.74 を若干下回った。後期に関しては、学科平均 3.72 に対し、工学部、全学の平均がそれぞれ 3.70、3.75 となっており、ほぼ平均の水準と言える。

分析結果を踏まえた改善方策：

特に緊急を要する改善課題は無いと考えられ、現状維持を基本とするが、ICT、IoT その他新規技術やアクティブラーニング等の新しい教育手法を常時取り入れ、陳腐化の無いように常に心掛ける。

【6】 教員へのフィードバックについて

アンケート集計結果は、学科教員全員に対して全ての集計結果をフィードバックしている。対象科目担当教員には、それを基に授業アンケート実施報告書の提出を求め、提出率は 100%であった。学生に対するフィードバックは各期終了までに科目ごとに行った。

【7】 学生へのフィードバックについて

学生に対するフィードバックは講義中に、または定期試験実施時に授業科目担当教員が行った。また、その折に追加の意見聴取も行っている。

【8】 学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書に基づき 3月3日に学科内 FD としての意見交換を行った。提案や提起された問題を以下に要約する。

<意見・提案>

アンケートの回答率が極めて低いレベルであった。学生の自主的な回答という観点から授業中に時間をとって記入させることは行わなかったが、授業の前後に回答依頼をしているにも関わらず回答率の低い科目もあり、学生の回答へのモチベーションの低さが課題である。また、正月休みの前後の期間でのアンケートであったため、年内の授業で回答を依頼しても休み中に忘れてしまうといったことも発生した

のではないかと思われる。大教セにはより長いアンケート期間の検討をお願いするとともに、本学科としては授業中に回答させることも検討していかなければならないと考える。

【9】 総 括

年度を追うごとに評価結果が上昇しているが、全学平均、学部平均も上昇しているため学科平均がそれらより若干低くなる結果となった。絶対値として高いポイントレベルでの相対的な差異であり、大幅な低下の兆候は見られないことから、緊急の対策を講じる必要性は無いと考える。常に新しい技術の授業テクニックを取り入れる努力を継続的に行うことが必要と考える。

⑧ 工学部建築学科

令和2年3月7日

大学教育センター

大塚 豊 センター長 殿

工学部建築学科

学科長 都祭 弘幸

令和元年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

【1】実施期間 前期：令和元年6月21日（金）～7月11日（木）

後期：令和元年12月16日（月）～令和2年1月11日（土）

【2】対象科目の選定

全ての授業科目（原則、実習、演習を除く）についてアンケートを実施する方針に従い、建築学科では前期23科目、後期24科目について調査を行った。

【3】アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する7項目、学生自身の学習点検に関する7項目、合計14項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢より選択することとした。

【4】調査結果の集計

アンケート調査および集計は Cerezo を利用して行った。

【5】調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：教員の授業評価に関する7項目は、教員の授業技術的設問と講義内容の妥当性を問う設問で構成されている。7項目の学科平均は前期が4.50、後期が4.59であり、前期の学科平均は全学平均と等しく、かつ、学部平均を上回り、後期の学科平均は全学平均および学部平均を上回っている。昨年度の学科平均と比較すると、前期・後期ともに昨年度を上回り改善されている。

項目別では、後期は全項目で全学平均・学部平均を上回り、「授業時間」が4.72と最も評価が高く、「講義の満足度」が4.43と低い評価であった。それに対して前期は「授業準備」が4.66と最も評価が高く、「授業時間」(4.60)と「質問への誠意」(4.48)が全学平均を0.07程度下回ったが、他の項目は全学平均を上回った。前期・後期ともに「講義の満足度」が全学・学部平均を上回ったことを今後も継続させていきたい。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：質問 8 から 14 までの 7 項目の学科平均は、前期・後期ともに 3.76 であり、全学平均・学部平均をやや上回った。また、昨年度の学科平均、前期（3.67）、後期（3.69）と比較すると前期・後期ともにやや向上した。項目別では、前期・後期ともに「意欲の深まり」、「質問への積極性」、「意欲の高まり」、「学修の成果」の 4 項目が全学平均・学部平均を約 0.1 ポイント上回り高い評価であった。それに対して、「集中力」、「出席状況」は、前期・後期ともに学部平均と同程度であるが、全学平均より約 0.2 ポイント低い評価であった。

分析結果を踏まえた改善方策：教員の授業評価に関しては、総体的に「満足度」を改善する工夫が検討されている。座学系授業では、理解向上を目指した配付資料の表現方法・内容の改善、演習問題を取り入れた授業、具体的な事例や最近の事例の紹介、Cerezo の積極的活用等を継続して検討していく。演習系授業では、作品プレゼンテーションを行い学生同士によるの評価分析の採用機会を増やしていく。また、各教員の授業評価における“改善を求められている事項”については、それぞれで工夫し、改善を図っていく。

学生の自己点検に関する項目として、他の項目と比較して相対的に低い「集中力」と「出席状況」に関しては、座学系科目は演習形式の採用、演習科目は授業時間が 2 コマと長時間になるので、特に複数教員による授業の場合はグループ別による指導方法、1 コマごとの講評の実施等を行い、メリハリをつけた授業を検討したい。また、「出席状況」については、授業担当者だけではなく、学科全体で情報共有を図り改善につなげたい。

【6】 教員へのフィードバックについて

アンケート集計結果は、対象科目担当教員に対して、それを基に授業アンケート実施報告書の提出を求め、提出率は 100%であった。

【7】 学生へのフィードバックについて

学生に対するフィードバックは講義最終回までに、当該授業科目担当教員が行った。その詳細を提出された報告書に記載している。

【8】 学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書（添付）より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

<意見・提案>

- (1) 授業時間中に質問時間を設けて、学生参加型の授業を検討する。
- (2) 座学でも見学会などを実施し授業に幅を持たせることにより満足度を改善する。
- (3) 演習問題を解く時間を授業時間中に設け、問題が解ける実感を経験させ、理解度の向上を図る。
- (4) 関連学習（予習・復習）を高めるために演習課題を工夫する。
- (5) 大学教育センターに協力して頂き、数学等の更なる基礎学力向上を推進する。
- (6) 非常勤の場合、時間的な制限があるので質疑応答の連絡方法を工夫し疑問解決に取り組んだ。

【9】 総括

教員の授業評価に関する項目については、前期では7項目のうち「授業時間」・「質問への誠意」を除く5項目の学科平均が全学・学部平均を若干上回る結果となった。後期では、7項目の全てにおいて学科平均が全学・学部平均を上回った。2年連続で7項目の学科平均が全学・学部平均を上回っていることは、各教員の改善が進んでいる成果だと考えられる。今後とも前期・後期ともに学科平均が全学・学部平均を少しでも上回るよう改善を進めていく。

回答率については、必修科目・選択科目による差はあるが、学科平均が前期73.1%、後期54.1%であり、全学・学部平均を上回った。しかし、後期の回答率は昨年度の建築学科平均よりやや低い値であった。後期の回答率が低くなる傾向は、建築学科だけでなく大学全体でも同様の傾向が見られるが、改善を図っていきたい。

授業評価アンケートの質問15で学生から提示されたコメントについては、各教員が誠実に受け止め、評価点数では表れない改善の重要なポイントになることを自覚する必要があるかと思われる。

学生の自己点検に関する評価については、7項目中「知識の深まり」・「質問への積極性」・「意欲の高まり」・「学修の成果」の学科平均が前期・後期ともに、全学・学部平均を若干上回ったので今後もこれを継続させていく。その他の3項目では、特に「関連学習」・「集中力」を改善する方策を学科で検討する。

以上、アンケート結果の分析を学科内で共有し、今後の授業改善に取り組んでいきたい。

⑨ 工学部情報工学科

令和2年3月7日

大学教育センター

大塚 豊 センター長 殿

工学部情報工学科

学科長 尾関 孝史

平成30年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

【1】実施期間 前期：令和元年6月21日（金）～7月11日（木）

後期：令和元年12月16日（月）～令和2年1月11日（土）

【2】対象科目の選定

全ての授業科目（原則、実習、演習を除く）についてアンケートを実施する方針に従い、情報工学科では前期17科目、後期18科目について調査を行った。

【3】アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する7項目、学生自身の学習点検に関する7項目、合計14項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢より選択することとした。

【4】調査結果の集計

アンケート調査および集計はCerezoを利用して行った。

【5】調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：

教員の授業評価に関する7項目は、教員の授業技術的設問と講義内容の妥当性を問う設問で構成されている。7項目の通年の平均は4.39であり、工学学平均の4.50と比べると若干劣っている。しかし、基準値3.5を大きく上回っており、本学科教員の板書、話法、計画性等の授業技術は十分に高いレベルを有していると判断できる。また、総合的満足度を問う設問7は4.06と、工学部平均4.27と比べて若干下回った。今後も4.0以上を維持することを目標とする。

分析結果を踏まえた改善方策：

本学科教員の授業技術について、学生は標準値以上の評価をしているが、論理的思考を必要とする科目の評価が相対的に低い。また、本学科が指標としている資格試験の基本情報技術者試験で出題される分野は総じて論理的思考を必要とする科目である。来年度から論理的思考を高めた新カリキュラムを開始するので、引き続き調査を行って改善方法を検討したい。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：この7項目は、学生の授業への取り組み方の設問と授業への意欲を問う設問で構成されている。集計結果については、工学部平均の3.70を下回る3.57であった。学修の成果でも、工学部平均4.12に対して、学科平均は3.89と下回っている。来年度から始まる新カリキュラムで改善を行いたい。

分析結果を踏まえた改善方策：学生の「授業への準備」の項目が大きく劣っている。この項目はなかなか向上していない。Cerezo等を活用し、準備学修の成果を学生が発表をするようなアクティブラーニングを増やしていくことを継続することで改善したい。また、回答率が45%と50%を下回っている。より精度の高い分析を行うために、回答率の向上が必要である。

【6】 教員へのフィードバックについて

アンケート結果を各教員に配布し、その結果に基づく報告書が2月22日までに提出された。また、集計を元に、3月5日に学科内のFDを行い、Good Practiceの情報共有や今後の改善方針に関して議論を行った。

【7】 学生へのフィードバックについて

授業または定期試験を利用して、アンケート結果を学生へ公表した。また、必要な改善点を説明した。

【8】 学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書(添付)より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

<意見・提案>

- (1) 関連学修の時間が少ない。授業前の小テストを科すなどの工夫が必要である。
- (2) 論理的な思考を伴う科目では、必要性や重要性をあまり感じていない学生がいる。繰り返し、将来の必要性を説明する必要がある。
- (3) アンケートの回答率を上げる必要がある。

【9】 総括

データサイエンスや人工知能の必要性の高まりにより、情報を扱う際には論理的思考で情報の真偽を判断する必要がある。このため、学科の指標の1つである情報処理技術者試験も確率・統計や数学を重視する出題に変わった。そこで、情報工学科では、論理的思考を重視する新カリキュラムを来年度から開始する。従来のアンケートでは、論理的思考を必要とする科目の評価は他の科目と比べて低い傾向がある。すぐに役立つのではない論理的思考の重要性を学生に理解してもらう努力が必要である。

学生と教える側のインタラクションが多い授業の満足度が高い傾向があることが明らかになっている。来年度では多くの演習でSAを利用し、授業改善を目指す。

今回のアンケート調査でも、昨年度に引き続き「授業の準備」の結果が大変悪かった。しかし、授業の準備を無計画に増やすと学生が消化しきれない可能性がある。Cerezo を活用するなどして、適度な学習の準備を指示したい。

大学教育センター

大塚 豊 センター長 殿

工学部機械システム工学科

学科長 内田 博志

平成30年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

【1】実施期間 前期：令和元年6月21日（金）～7月11日（木）

後期：令和元年12月16日（月）～令和2年1月11日（土）

【2】対象科目の選定

各教員が担当する主要2科目の授業科目（原則、実習、演習を除く）についてアンケートを実施する方針に従い、機械システム工学科では前期17科目、後期17科目について調査を行った。

【3】アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する7項目、学生自身の学習点検に関する7項目、合計14項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢より選択することとした。

【4】調査結果の集計

アンケート調査および集計は Cerezo を利用して行った。

【5】調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：授業評価アンケートを実施した各授業科目において、アンケート結果の分析とそれに基づく授業改善方策の検討を行った。授業科目により評価結果のばらつきが見られることから、学科全体では授業科目全体の満足度向上が課題であると考えられた。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：授業科目ごとに多少事情は異なるが、授業内容の理解度や知識の深まりの向上、授業への関心度や学修意欲の向上などの面で改善の余地があった科目が多かった。

分析結果を踏まえた改善方策：【7】の項目で詳しく述べるように、必携PCやCerezoなどのICT活用による授業の質向上、実課題や資格取得との関連付けによる学修意欲の維持・向上などの方策が挙げられた。それらに基づいて次年度以降の授業の改善を進める。

【6】 教員へのフィードバックについて

前期、後期とも、学科全教員分の授業評価アンケート結果を、メール添付にて全教員に配信した。

【7】 学生へのフィードバックについて

前期、後期とも教員ごとに、授業中の口頭説明やプロジェクタを用いての説明や、Cerezo や Zelkova を利用しての説明で、学生へのフィードバックを行った。

【8】 学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書（添付）より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

＜意見・提案＞

（1）必携 PC を活用した演習や Cerezo を通じての質問や関連学習などを取り入れ、授業の質の向上を図る。

（2）講義の中で、身近な題材や実社会での課題など具体的事例と取り上げることで受講の関心を高める。

（3）技術士試験、機械設計技術者試験などの資格試験との関連、あるいは他の科目との関連を説明することで、学修意欲の維持・向上を図る。

（4）PBL 形式の授業を積極的に導入することで、学生の授業への参加意識を高める。

【9】 総 括

定員未充足状態の続く本学科にとって、授業の質向上は、学科の魅力を高め学生募集を改善するための最重要事項である。今後も授業評価アンケート結果を活用し、学科内での議論を交えながら、授業内容やカリキュラムの改善を図ってゆく。

⑪ 生命工学部生物工学科

令和2年3月7日

大学教育センター

大塚 豊 センター長 殿

生命工学部生物工学科

学科長 岩本 博行

平成30年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

【1】実施期間 前期：令和元年6月21日（金）～7月11日（木）

後期：令和元年12月16日（月）～令和2年1月11日（土）

【2】対象科目の選定

全ての授業科目（原則、実習、演習を除く）についてアンケートを実施する方針に従い、生物工学科では前期18科目、後期22科目について調査を行った。

【3】アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する7項目、学生自身の学習点検に関する7項目、合計14項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢より選択することとした。

【4】調査結果の集計

アンケート調査および集計は Cerezo を利用して行った。

【5】調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析： 生物工学科の授業評価アンケートについて、全学平均より有意に（0.1以上）高いもの、低いものについて下に記す。

<高いもの> [前期] 回答率、話し方、講義の工夫 [後期] 回答率

<低いもの> [前期] 特になし [後期] 特になし

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析： 毎年同じであるが、関連学修（予習・復習時間等）の点数が低く、質問への積極性の点数がやや低い。

分析結果を踏まえた改善方策： 自宅等での学習時間を確保するため、予習課題や宿題、事後の課題提出などを、紙ベースまたは Cerezo を使って行っている先生が多い。

【6】 教員へのフィードバックについて： 教員へのフィードバックについては、授業アンケート結果を各教員に配布し点検していただくとともに、報告書を提出いただき、取り纏めている。

【7】 学生へのフィードバックについて： 学生へのフィードバックは、教員ごとに授業中や試験中、それ以外の機会を捉えて行っていただいている。授業評価アンケート結果、学生へのフィードバック結果などを取り纏めて報告書を作成し、ご提出いただいている。

【8】 学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書（添付）より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

<意見・提案>

- (1) 化学のような基礎科目では、高校で学んでいない学生が多い。
- (2) 学力のバラツキが大きい。個人差が大きすぎる。
- (3) お酒の授業では、お酒に興味のない学生が多すぎる（時代の変遷か？）。
- (4) 課題を積極席に出している
- (5) 学生は努力しているが成果が上がっていない
- (6) 学生の自己評価は低いが、自己評価以上に成果が上がっている。自信をつけよう。
- (7) パワポで最新の内容を紹介する授業は学生の集中度が高い。
- (8) わかりやすい授業を心懸ける。
- (9) 学生に、授業内容に関するプレゼンテーションをする機会を与える。
- (10) 親しみの持てる授業を心懸ける
- (11) 自主性、積極性、創意工夫が不十分である。
- (12) 体系的に知識が積み上げられているか検証する必要があるが困難。
- (13) 「学生の学修成果を望ましい方向に進展させる方策はありますか」という設問は愚問である。そんなものが有れば、出版したいのでぜひ教えていただきたい。

ほか

【9】 総括

学科の授業に対する学生の評価については、全学平均と極めて近い評価点となっている。その中で比較的评价点が低いのは「難易の適切性」である。これは学生の学力のバラツキが大きいことを反映している。一方学生の自己評価は、こちらも全学平均と極めて近い。その中で最も低いのは「関連学修」、次は「質問への積極性」である。本アンケートも実施からずいぶん時間が経過し、マンネリ化している。

令和2年3月7日

大学教育センター

大塚 豊 センター長 殿

工学部建築学科

学科長 都祭 弘幸

令和元年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

【1】実施期間 前期：令和元年6月21日（金）～7月11日（木）

後期：令和元年12月16日（月）～令和2年1月11日（土）

【2】対象科目の選定

全ての授業科目（原則、実習、演習を除く）についてアンケートを実施する方針に従い、建築学科では前期23科目、後期24科目について調査を行った。

【3】アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する7項目、学生自身の学習点検に関する7項目、合計14項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢より選択することとした。

【4】調査結果の集計

アンケート調査および集計はCerezoを利用して行った。

【5】調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：教員の授業評価に関する7項目は、教員の授業技術的設問と講義内容の妥当性を問う設問で構成されている。7項目の学科平均は前期が4.50、後期が4.59であり、前期の学科平均は全学平均と等しく、かつ、学部平均を上回り、後期の学科平均は全学平均および学部平均を上回っている。昨年度の学科平均と比較すると、前期・後期ともに昨年度を上回り改善されている。

項目別では、後期は全項目で全学平均・学部平均を上回り、「授業時間」が4.72と最も評価が高く、「講義の満足度」が4.43と低い評価であった。それに対して前期は「授業準備」が4.66と最も評価が高く、「授業時間」(4.60)と「質問への誠意」(4.48)が全学平均を0.07程度下回ったが、他の項目は全学平均を上回った。前期・後期ともに「講義の満足度」が全学・学部平均を上回ったことを今後も継続させていきたい。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：質問 8 から 14 までの 7 項目の学科平均は、前期・後期ともに 3.76 であり、全学平均・学部平均をやや上回った。また、昨年度の学科平均、前期（3.67）、後期（3.69）と比較すると前期・後期ともにやや向上した。項目別では、前期・後期ともに「意欲の深まり」、「質問への積極性」、「意欲の高まり」、「学修の成果」の 4 項目が全学平均・学部平均を約 0.1 ポイント上回り高い評価であった。それに対して、「集中力」、「出席状況」は、前期・後期ともに学部平均と同程度であるが、全学平均より約 0.2 ポイント低い評価であった。

分析結果を踏まえた改善方策：教員の授業評価に関しては、総体的に「満足度」を改善する工夫が検討されている。座学系授業では、理解向上を目指した配付資料の表現方法・内容の改善、演習問題を取り入れた授業、具体的な事例や最近の事例の紹介、Cerezo の積極的活用等を継続して検討していく。演習系授業では、作品プレゼンテーションを行い学生同士によるの評価分析の採用機会を増やしていく。また、各教員の授業評価における“改善を求められている事項”については、それぞれで工夫し、改善を図っていく。

学生の自己点検に関する項目として、他の項目と比較して相対的に低い「集中力」と「出席状況」に関しては、座学系科目は演習形式の採用、演習科目は授業時間が 2 コマと長時間になるので、特に複数教員による授業の場合はグループ別による指導方法、1 コマごとの講評の実施等を行い、メリハリをつけた授業を検討したい。また、「出席状況」については、授業担当者だけではなく、学科全体で情報共有を図り改善につなげたい。

【6】 教員へのフィードバックについて

アンケート集計結果は、対象科目担当教員に対して、それを基に授業アンケート実施報告書の提出を求め、提出率は 100%であった。

【7】 学生へのフィードバックについて

学生に対するフィードバックは講義最終回までに、当該授業科目担当教員が行った。その詳細を提出された報告書に記載している。

【8】 学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書（添付）より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

<意見・提案>

- (1) 授業時間中に質問時間を設けて、学生参加型の授業を検討する。
- (2) 座学でも見学会などを実施し授業に幅を持たせることにより満足度を改善する。
- (3) 演習問題を解く時間を授業時間中に設け、問題が解ける実感を体験させ、理解度の向上を図る。
- (4) 関連学習（予習・復習）を高めるために演習課題を工夫する。
- (5) 大学教育センターに協力して頂き、数学等の更なる基礎学力向上を推進する。
- (6) 非常勤の場合、時間的な制限があるので質疑応答の連絡方法を工夫し疑問解決に取り組んだ。

【9】 総括

教員の授業評価に関する項目については、前期では7項目のうち「授業時間」・「質問への誠意」を除く5項目の学科平均が全学・学部平均を若干上回る結果となった。後期では、7項目の全てにおいて学科平均が全学・学部平均を上回った。2年連続で7項目の学科平均が全学・学部平均を上回っていることは、各教員の改善が進んでいる成果だと考えられる。今後とも前期・後期ともに学科平均が全学・学部平均を少しでも上回るよう改善を進めていく。

回答率については、必修科目・選択科目による差はあるが、学科平均が前期73.1%、後期54.1%であり、全学・学部平均を上回った。しかし、後期の回答率は昨年度の建築学科平均よりやや低い値であった。後期の回答率が低くなる傾向は、建築学科だけでなく大学全体でも同様の傾向が見られるが、改善を図っていきたい。

授業評価アンケートの質問15で学生から提示されたコメントについては、各教員が誠実に受け止め、評価点数では表れない改善の重要なポイントになることを自覚する必要があるかと思われる。

学生の自己点検に関する評価については、7項目中「知識の深まり」・「質問への積極性」・「意欲の高まり」・「学修の成果」の学科平均が前期・後期ともに、全学・学部平均を若干上回ったので今後もこれを継続させていく。その他の3項目では、特に「関連学習」・「集中力」を改善する方策を学科で検討する。

以上、アンケート結果の分析を学科内で共有し、今後の授業改善に取り組んでいきたい。

令和2年3月7日

大学教育センター

大塚 豊 センター長 殿

生命工学部 海洋生物科学科

学科長 三輪 泰彦

令和元年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

【1】実施期間 前期：令和元年6月21日（金）～7月11日（木）

後期：令和元年12月16日（月）～令和2年1月11日（土）

【2】対象科目の選定

全ての授業科目（原則、実習、演習を除く）についてアンケートを実施する方針に従い、海洋生物科学科では前期26科目、後期26科目について調査を行った。

【3】アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する7項目、学生自身の学習点検に関する7項目、合計14項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢より選択することとした。

【4】調査結果の集計

アンケート調査および集計はCerezoを利用して行った。

【5】調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：教員の授業技術に関する7項目の学科平均値は、前期科目では4.52であり昨年度の4.58を0.06ポイント下回ったとともに今年度の全学平均値（4.50）並びに学部平均値（4.52）をわずかに上回るか、同程度であった。また後期科目では4.49であり昨年度の4.50を0.01ポイント下回ったとともに今年度の学部平均値（4.49）と同じで、全学平均値（4.53）より0.03ポイント低かった。これらの項目については前後期ともに標準値（3.5）を上回っており、本学科教員の授業技術に概ね問題は無いと判断している。講義の満足度を問う質問7の平均値は、前期科目では4.35であり昨年度の4.42から0.07ポイント下降し、今年度の全学平均値（4.25）よりも0.01ポイント高い値であった。また後期科目でも4.33と昨年度の4.32から0.01ポイント上昇し、今年度の全学平均値（4.32）を0.01ポイント上回った。昨年度と比べて前期の講義の満足度がわずかに下降したが、後期の講義の満足度は昨年度並みになったことから新任教員ならびに学科教員の授業改善の努力が反映された結果と捉えている。

上に述べたように学科全体としては継続的な改善傾向が見られているが、依然として、担当授業において講義の満足度が他の教員の担当授業と比べて低い教員がみられた。これらの教員からは教員個人の報告書において改善策がそれぞれ示されているが、学科長からも授業の内容や方法についてさらなる工夫を求めた。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：自己点検に関する7項目の学科平均値は、前期科目では3.79であり昨年度の3.78を0.01ポイント上回ったとともに、標準値(3.5)、全学平均値(3.74)、並びに学部平均値(3.76)をいずれも上回った。後期科目では3.69であり、やはり昨年度の3.71を0.02ポイント下回った。またこの値は全学平均値(3.75)並びに学部平均値(3.71)より低く、標準値(3.5)より高かった。学生の自己点検に関する項目についても、昨年度と比べて後期の値がわずかに低くなったが、概ね、学科教員の授業改善の努力が反映された結果と捉えている。

分析結果を踏まえた改善方策：レポート作成を課した科目や毎講義時に発表を義務付けた科目などでは「関連学習」の項目で他の科目よりも値が高くなる傾向が見られた。また毎講義時に確認テストを行った「化学Ⅰ」ではポイントが低くなりがちな基礎的科目であるにも関わらず、「学修成果」の項目で全学平均を上回る値が得られた。他の科目においても、上記のような方法で授業時間外の学修を誘導することにより取り組み意欲や成果の改善を図ることが可能であると考えている。また学生の自己点検の平均値を前期と後期を比較すると、昨年度同様に前期の方が高くなる傾向であった。これは前後期の科目の差異によることも考えられるが、学生の学修意欲(モチベーション)の低下が原因としてあげられる。そこで教育懇談会や担任を通じて学生の指導を行っていくことが必要である。

【6】教員へのフィードバックについて

アンケート集計結果については、学科教員全員に対して全ての集計結果をフィードバックしている。対象科目担当教員には、それぞれの科目について授業アンケート実施報告書の提出を求め、提出率は100%であった。

【7】学生へのフィードバックについて

学生に対するフィードバックは講義最終回、または定期試験実施時あるいはCerezoを利用して当該授業科目担当教員が行い、その詳細は提出された報告書に記載されている。

【8】学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書(添付)より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

<意見・提案>

- (1) 学生が質問をしやすいうように授業時間の最後に質問の時間を設けるようにしたい。
- (2) 学生に授業で学んだ知識が今後の学科の教育・研究や将来の仕事においてどのように関連し、役立つのかということを確認に示すようにしたい。
- (3) パワーポイントで説明し、板書して写させるだけの授業ではなく、質問したり、課題を出したりするなど、自分で考えさせる授業となるような工夫をしたい。

- (4) Cerezo で事前に課題を配布し、学生に自らの考えをまとめさせ、Cerezo 上で提出してもらうことを試みている。
- (5) 講義中にも学生との対話を増やすなど、アクティブラーニングに心掛け、授業への参加意識を高めるようにする。
- (6) Cerezo を通じて課題学習の割合を増やし積極的に勉学に取り組めるようにしたい。
- (7) 関連学習を進めるため、毎回、課題を出すなどして、予習や復習の機会を増やすようにする。
- (8) 関連事項の最新のニュースや研究の事例等を取り入れ、興味を持ってもらうように努力したい。
- (9) 担当教員間でも履修者の情報共有を心がけ、学生の授業への参加意識を高めるようにする。

【9】 総 括

本学科の授業に関するアンケート結果においては昨年度、今年度と継続して改善がみられているが、今後も各授業の方法・内容に一層の工夫を加えていく努力を継続したい。

⑭ 薬学部薬学科

令和2年3月20日

大学教育センター

大塚 豊 センター長 殿

薬学部薬学科

学科長 町支 臣成

平成30年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

【1】実施期間 前期：令和元年6月21日（金）～7月11日（木）

後期：令和元年12月16日（月）～令和2年1月11日（土）

【2】対象科目の選定

全ての授業科目（原則、実習、演習を除く）についてアンケートを実施する方針に従い、薬学科では前期42科目、後期31科目について調査を行った。

【3】アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する7項目、学生自身の学習点検に関する7項目、合計14項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢より選択することとした。

【4】調査結果の集計

アンケート調査および集計はCerezoを利用して行った。

【5】調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：前期授業評価では、教員の授業評価に関する7項目のうち全学平均を上回っているものは4項目（授業準備：全学4.62、薬学4.64、話し方：全学4.41、薬学4.40、計画性：全学4.61、薬学4.72、授業時間：全学4.68、薬学4.74、講義の工夫：全学4.40、薬学4.39、質問への誠意：全学4.55、薬学4.59、難易の適切性：全学4.25、薬学4.23）。また、後期授業評価では全学平均を7項目すべてが上回っていた（授業準備：全学4.64、薬学4.73、話し方：全学4.46、薬学4.55、計画性：全学4.62、薬学4.78、授業時間：全学4.70、薬学4.83、講義の工夫：全学4.45、薬学4.55、質問への誠意：全学4.55、薬学4.66、難易の適切性：全学4.32、薬学4.37）。全体的にはすべてが4点以上のため問題ないと考え、これらの情報を教員にフィードバックし、さらなる授業改善を促していく予定である。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：

分析結果を踏まえた改善方策：

点検結果の分析：分析結果を踏まえた改善方策：前期授業評価では、学生の自己点検に関する7項目のうち全学平均を上回っているものは5項目であった（関連学習：全学 1.97、薬学 2.03、集中力：全学 4.00、薬学 4.33、出席状況：全学 4.60、薬学 4.86、知識の深まり：全学 4.20、薬学 4.22、質問への積極性：全学 3.34、薬学 2.95、意欲の高まり：全学 4.00、薬学 4.03、学修の成果：全学 4.10、薬学 4.09）。また、後期授業評価では全学平均を上回る項目は5項目であった（関連学習：全学 1.99、薬学 1.91、集中力：全学 3.97、薬学 4.32、出席状況：全学 4.49、薬学 4.87、知識の深まり：全学 4.23、薬学 4.30、質問への積極性：全学 3.39、薬学 2.99、意欲の高まり：全学 4.05、薬学 4.12、学修の成果：全学 4.14、薬学 4.17）。前期、後期共に「質問への積極性」が低い傾向にある。これは学生に対してオフィスアワーの周知徹底を図るなどすることで改善していきたい。

【6】 教員へのフィードバックについて

アンケート集計結果は、学科教員全員に対してフィードバックしている。対象科目担当教員には、それをもとに授業アンケートの実施報告書の提出を求めた。

【7】 学生へのフィードバックについて

学生に対するフィードバックは、講義最終回、定期試験実施時、Cerezo のいずれかにおいて実施した。詳細は各教員が提出した報告書に記載している。

【8】 学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書（添付）より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

<意見・提案>

特にありません。

【9】 総括

薬学部では「質問への積極性」が低い傾向にあるものの、その他の項目は概ね全学平均よりも高い傾向にあった。これは学生に対してオフィスアワーの周知徹底を図るなどすることで質問への積極性を高め学習の成果をさらに伸ばす努力を続ける必要がある。

⑮ 大学教育センター

令和2年3月10日

大学教育センター

大塚 豊 センター長 殿

大学教育センター

センター長 大塚 豊

令和元年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本センターの授業とその成果について点検したので報告いたします。

【1】 実施期間 前期：令和元年6月21日（金）～7月11日（木）

後期：令和元年12月16日（月）～令和2年1月11日（土）

【2】 対象科目の選定

前期には、本学に勤務する大学教育センター関係の教員（非常勤講師を含む）が担当した全ての科目のうち、少人数のために回答者が特定される可能性のある科目、および原則として演習・実習科目を除いた90科目、後期には同様の原則に従って一部の科目を除いた86科目について、本学の学修支援システムであるCerezoを使って調査を行った。ちなみに、大学教育センター関係の調査実施授業科目に対する学生からの回答率は、前期70.5%（昨年度前期は66.4%）、後期55.0%（昨年度後期は61.8%）であり、全学の当該の数値である前期59.5%、後期50.1%より、それぞれ11.0、4.9ポイントずつ高かった。しかし、大学教育センター関係の回答率が昨年度に比べて、前期には4.1%上回ったものの、後期には6.8%下回るという結果になった。後期にはアンケート実施期間中に年末年始の休みが入り、学生への周知が行き届かないという問題点があることが原因の一端と思われるが、回答率が芳しくない。かつて紙媒体で1科目に限定してアンケートを実施していた時期に比べて、全体的に回答率が下がっていることが気がかりである。学内の学修支援システムであるCerezoを活用することの便利さの反面、匿名であることも手伝って、回答することに対する学生の意欲を引き出す上では弱い面があり、実施方法についての再検討を要する。

【3】 アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、前期・後期ともに教員の授業の進め方への評価に関する7項目、学生自身の学修点検に関する7項目、合計14項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢より選択することとした。なお、授業の計画性を見る質問3では「シラバスを読んでいない」、学生からの質問に対する誠意ある態度を見る質問6では「質問したことがない」という選択肢をそれぞれ設けて6つの選択肢としている。これら2つの設問については「シラバスを読んでいない」、「質問したことがない」という2選択肢には係数を付与せず、教員の授業そのものの質をより正確に評価しうるように配慮がなされた。

【4】 調査結果の集計

調査結果は情報管理者 2 名によって集計された。集計後、各回答に係数を乗し全回答数で除すことで、5 点満点で評価した。強く否定する回答にも係数 1 を与えているため、標準値は 3.5 となる。なお、調査結果は、大学教育センター教育開発部門から、大学教育センター長経由で配付されたものを受理した。

【5】調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：以下、前期と後期に適宜分けて記述する。教員の授業評価に関する 7 項目は、教員の授業技術的設問と講義内容の妥当性を問う設問で構成されている。大学教育センター関係教員のこれら 7 項目の前期の平均は 4.50（昨年度の同期は 4.44）であり、後期の平均は 4.56（昨年度の同期は 4.53）であった。昨年度も同じ 7 項目の設問であり、両者を比較すると、今年度は前期、後期ともに平均値がごく僅かずつながら上昇した。ちなみに、今年度の全学の平均値を見ると、前期 4.50 と大学教育センターとまったく同じであり、後期 4.53 であり、大学教育センター関係教員は後期のみ全学平均よりわずか 0.03 ポイントながら上回った。項目別では、総合的満足度を問う設問 7 の数値が前期 4.50（昨年度は 4.16）、後期 4.34（昨年度は 4.36）であり、前期は上昇、後期はわずか 0.02 ポイントながら低下という結果になった。しかしながら、総じて大学教育センターの常勤ならび非常勤教員は真摯に授業に取り組んでいることが窺える。

◇分析結果を踏まえた改善方策：授業技術と講義内容に関する各項目の平均得点は前後期ともすべて 4.5 ポイントを越え、とくに計画性、授業時間、質問への誠意に関しては 4.6 を超えている。大学教育センターが主として担当する全学共通教育関係の科目では、外国語科目や体育、芸術分野の科目に代表されるように、自らの上達や学修の成果が体感しやすい分野において、概ね高い評価を受けている。逆に、いわゆる教養科目に属する諸科目では、大学における教養教育の意義に対する学生の認識も関係していると言えるが、評価はいくぶん低くなっている。授業の工夫に関する設問への回答の平均値は前期 4.42（昨年度は 4.37）、後期 4.52（昨年度は 4.49）と、教員の授業技術的設問と講義内容の妥当性を問う 7 項目の平均に比べて若干低い。この結果から見ると、授業の内容に対して学生が理解をいっそう深め、授業に積極的に参加しようするような、より適切な授業方法の採用の点で、いっそう改善の余地があると言える。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：アンケート後半の 7 項目の全学の平均値である前期 3.74、後期 3.75 に対して、大学教育センター関係の授業では、前期 3.72（昨年度は 3.68）、後期 3.77（昨年度は 4.12）と、前期は全学平均よりわずかながら低く、後期は高い結果になった。ちなみに、前期は昨年度より向上し、後期は下回った。個別の項目について見ると、【質問 12】の「質問への積極性：授業内容について、質問したいと思うことはありますか？また、実際に質問しますか？」への回答が前期には全学の 3.34 に対して大学教育センターは 3.57、後期には全学の 3.39 に対して 3.62 と高い。しかし、【質問 8】の 1 回の授業あたりの予習・復習に費やした平均時間は、前期には全学の 1.97 に対して 1.83、後期には全学の 1.99 に対して 1.97 と、いずれも若干低い。【質問 14】の「学修の成果：この科目であなたが得た成果を 5 段階で自己評価してください」への回答が、前期には全学の 4.10 に対して大学教育センターは 4.07、後期には 4.14 で全

学とまったく同じ数値であった。これらの、いわば「学生の自己点検」に関する項目群に対する学生からの回答の解釈は容易ではない。学生の基礎学力や学修への姿勢が一定レベル以上（中位から上位）であれば、数値の信頼性は高いかもしれない。一方、下位レベルの学生が母集団に含まれ、知識、意欲・関心・態度の点でばらつきがあれば、少し分かっても「すごく学修した」となるケースも起こるし、既存の知識レベルが高ければ、「もっと知りたいことがある」と「学習した気があまりしない」といった回答になって、力のある学生の「学修成果」の評価はむしろ低くなる傾向も推測しうる。教材の設定の仕方についても、易しくすれば、学修成果の評価が高くなることもあろうし、逆に教材の難易度を少し高くすると、評価が低くなることもありうる。アンケート調査の結果分析に際して、予習・復習時間の長短、出席状況の善し悪しにより学生をグループ分けし、その「知識の深まり」「質問への積極性」「意欲の高まり」「学修の成果」との相関を見てもみる必要があるように思われる。

◇分析結果を踏まえた改善方策：比較的少人数で、学生がもともと希望して所属している専門学部・学科が提供し、担当教員との親密度も高い状況下で履修する専門教育科目に比べて、担当教員と受講学生の関係も一般的には希薄で、当該科目の授業時のみにほぼ限られる共通教育科目担当者はハンディを負っていると言っても決して過言ではない。従って、学生が積極的に授業に取り組むように指導することは容易ではないが、学生が単に授業時間に教室で受け身的に授業を聴くのではないように指導する必要がある。そのためには、事前・事後に適切な分量と内容の課題を与え、その点検を小テスト、リアクション・ペーパーなどを用いて、授業時間中に確実にを行うなどの工夫が効果的かもしれない。

【6】 教員へのフィードバックについて

アンケート集計結果は、非常勤講師を含む大学教育センター関係教員全員に対して全ての集計結果をフィードバックした。非常勤講師の場合、大学のメールシステムへのアクセスが常勤者のように容易ではないことや、そもそもインターネットを使用しない非常勤講師も含まれることから、集計結果を適時、適切に各人の手許に届けること自体に大変な労力を要する。しかし、最終的には全ての教員に各自の授業評価の結果を知らせることができた。

【7】 学生へのフィードバックについて

学生に対するフィードバックは講義最終回までに、あるいは定期試験実施時に当該授業科目担当教員が行うこととした。しかし、これについても非常勤講師に関しては連絡などに手間取ることもあり、授業中や定期試験実施の期間内に学生へのフィードバックが困難なケースも生じたようである。その場合には、少なくとも Cerezo 上に掲載することで学生へのフィードバックを行うことを要請した。この結果に基づき、対象科目担当教員には授業アンケート実施報告書の提出を求めた。非常勤講師については、授業がすでに終了していて連絡がつけにくいケースも多々あったが、最終的に全ての大学教育センター関係の共通教育担当教員からフィードバック報告書が提出された。

【8】 大学教育センター関係教員からの意見・提案

各教員より提出された授業アンケート結果の学生へのフィードバック報告書に沿って、主として授業改善に関わる有用な提案や提起された問題を以下に抜粋し要約する。

<意見・提案>

1. 学修への動機づけ、意欲・関心の喚起について

○報告者はいつでも質問にくるようにというスタンスであり、たとえ授業中であつたとしてもわからないところがあれば、積極的に質問するよう促しているが、今後も学生にとって、気兼ねなく質問できる環境をつくりたい。一方、係数1「学修に取り組んでいないため、質問すべきことがみつからない」と答えた学生が3名もいるが、このような学生には敢えて手を差し伸べるべきではないと考えるため、係数2以上をつける学生を優先的に考えた授業をデザインする。

○アクティブラーニングに類する学生参加型の授業に対する拒否反応を示す学生は一定数存在し、満足度の低下につながつたと考える。福山大学教育システムで掲げる「自立」を学習目標とし、自分と向き合うことを求めるワークを実施しているが、内省に伴う痛み・不快感は、授業の「満足度」に影響する可能性があるため、実施方法については引き続き検討を重ねていきたい。

○授業では、毎回ワークシートを用意し、復習と予習内容を含めた形で行い、授業の展開と同時に記述できるようにした。またそこには日英語の認知構造と言語構造の違いの事例を含め、彼らの気づきを発表させ、適時その内容補完した。それはCerezoで毎回提出させ、次の授業でフィードバックした。このルーティーンがマンネリ化した可能性がある。学生たちの興味関心にそつた授業構成として、セットテキストを補完するGoogle等を使った特に視覚的な情報、まさに今日的課題の英文記事、Youtubeでの話題性のあるニュース、あるいは英語の歌なども含めて、教材内容にヴァリエーションを持たせていきたい。

○学科が異なる学生間での対話やコミュニケーションが円滑に進むことができないと感じる学生もいるかもしれない。できる限り1人1人に講義前や講義後に声をかけを行いて、授業改善に努める。

○毎回の授業に、学生に出席カードに質問を書いてもらい、次回の授業にそれを解答するという方法を取っているが、後期になると、質問を書く学生は少なくなった。このことから自分で反省すべき点は、学生とのコミュニケーションをさらに取るべきだと考えられる。

○英語を学生の生活に結びつける方法を見つけ出したい。このレベルの学生のほとんどはなぜ英語を学ばないといけないのか分かっていない。従つて、彼らが英語を知ることの重要性を分かってくれるようにしたい。

○授業者自らが授業内容をさらに理解しようとする態度をもつことが、学生の学習成果を望ましい方向に進展させる最も重要な方策であると考え。また、机間巡視を積極的に行い、学生の理解度を頻繁にはかるとともに、質問しやすい雰囲気作りを心がける。さらに、授業が一方通行型にならないように積極的に演習を取り入れるとともに、適切な課題を与えることにより学生の自己学習時間確保に努める。

○質問については、指定討論者の方式をとり事前に示した授業内容について質問を集め、一人一人のコメントに対して、できるだけ対応するようにしてきたが、一般的にはそれほど難解でなくても、学生には初めて耳にする語彙の難しさがあるのかも知れない。さらに丁寧な説明に心がけたい。

○教養教育科目という位置付けの中で、学生諸君の科学一般に対する興味を喚起することが何よりも大切と考える。学力が多様化した学生を同時に満足させる授業を実現することには困難な面もあるが、身近な小道具を用いた演示実験のレポーターを増やしていく等、学生の興味を引けるような視覚的な授業を目指して、講義内容を不断に修正していきたい。

○概ね意欲的に授業に取り組み学修成果はあがったと考えるが、出席状況が今一步である。1限目というのもあるが、生涯スポーツとしてスポーツを楽しもうとする視点があり、授業を受けるという意識が低かったのかもしれない。

○教養科目として、大学卒社会人が身につけているべき基礎知識の修得を授業の目的にしてきた。獲得すべき知識の量を減らしても、確実に一定の知識を得ることを目指したい。

○フランス語と英語の比較を分かりやすく講義に取り入れることで、学生の語学への理解度を高め、質問への積極性を取り戻すと共に、関連学習（英語やヨーロッパの言語、西欧文化や文学、歴史、経済）に対する取り組みにもつながるよう、講義をより良いものにしていきたいと思います。

○学生の学力にあった学修内容の再検討をすべきか。とはいえ、大学共通教育科目としての到達目標（質保障）を引き下げることになりかねないので、名目か実質かという全体的かつ総合的な検討が必要だと考える。

○特に授業の本質に絡めて、知っていると思えるかも知れない蘊蓄（雑学）を示してやると、意外に食いついてくる学生が多いので、この本学学生の特質を活かして、知識偏重よりも本当の意味で「教養ある学生」を育成できる講義を展開していきたい。

○次年度は、授業準備、講義の工夫の2点に注力して改善に努めたい。具体的には、各回の講義の要点（テキストの要点）を明確に伝えることができるよう準備をすること。また、その要点をわかりやすく伝えることができるよう工夫すること、である。

○授業展開をパターン化せず、授業内容に中国語だけではない要素、例えば中国の歴史・文化なども盛り込みながら、継続して中国語への興味・関心を抱かせるよう心がけたい。

○学生は何をすることが期待されているかを明確にしたとき、課題を完成させる上での動機付けになることが分かった。今学期、質問時間を設けて、授業中に全ての学生の質問に答えられるようにした。

○韓国語中級クラス、そして韓国語能力試験に備えるための授業を希望した学生達がありました。学生が継続して韓国語を勉強できる方法が設けられればと思います。

○学生の講義への関心が深まったと思います。教科書以外に旅行計画の発表や自習用印刷物の活用の成果だと思えます。しかし、自由記述によると印刷物に対する指示が足りなかったとの指摘もあったので今後からは細かい指示も入れようと思えます。

○意欲の高まりに関しては、全体より低い傾向が見られます。一方で、この講義に対しての理解や満足度は比較的高いことを鑑みるならば、これは社会全体における歴史学への興味関心の低下と同様の傾向によるかと思われ、社会への興味関心の低さや、自らの進路を考える上での視野の狭さに起因するものと思われます。

○授業への積極的参加を促すために、ミニ・スピーチ・プロジェクトや課外での研究課題、ミニ・レポート・プロジェクトを採り入れようと思っている。この中では、学生同士がパートナーとなって、相互に助け合うような課題を与えることが含まれる。

2. きめ細かな丁寧な指導について

○大人数教室でのアクティブラーニング手法を研究し、大人数教室の講義においても学生が積極的に主体性を発揮して学ぶことができる学習環境作りを進めるとともに、本学の学生ニーズに合わせたストレスの少ない学習方法を模索したい。

○課題の出し方を含め、講義のやり方を工夫する必要があると感じています。これまで以上にきめ細かな講義を行なっていきます。

○授業はテキストの重要な箇所を読んだあと、授業の主題となる語句の解説や問題を学生に提示する形を取っている。だがこれが学生の理解度や授業内容への満足感を低くしているように思われる。そこで今後は発言のスピードを抑えるとともに、テキストを読む時間の比重を軽くした上で学生が授業に参加できる場面を設けたい。

○もう少し内容を精選して、できるだけシンプルに近づけていきたい。ただ授業の狙いとして、単に歴史を学ぶだけでなくそれ通じてものを考え、コメント・試験で「論理的な文章が書ける」ことを目標としているので、コメント返却も含めて“どうしたら論理的に考え表現できるようになるか”の意識化をより明確に伝えていけるように工夫してみたい。そのためにも、講義レジュメに毎時内容の論理構成を図化するようにしていく。

○みんなの前でなかなか質問できない学生がいたのかもしれない。・・・Cerezoを使ってレポートや課題発表をする方向性は継続しつつ、少人数であったとしても、授業以外の場所で質問に対応できるように掲示板やレポートで質問を受け付けるように工夫したい。

○学生が自発的に質問や発言しようとしにくい傾向があるので、質問用紙を配布することによって彼らもっている質問を引き出し、質問に対応することが望ましい策だと考える。

○今後は前回の授業の際に、予習ができる形で作成したハンドアウトを作成し、それを予め配布しておくことで、学生の予習時間を増やすことができると考えています。また、次回からは授業の内容を踏まえた小テストを毎時間の終わりに実施する形にすることで、より客観性の高い成績評価を行いたいと考えています。

○学生がより複雑な質問や課題に取り組む機会を増やすには、全ての学生とより直接的なコミュニケーションが必要です。それ故、今後の授業では、学生と（1対1のような）話したり議論したりする十分な時間をとりたい。

3. 施設・設備や教授陣について

○受講人数に対する体育施設や道具が十分な状況ではない。このような状況下では、一つの種目を教師主導で教えるスタイルでは展開が難しく、受講生の関心・意欲などにも留意しつつ、いくつかの種目を同時展開するなど、授業展開上の工夫がさらに求められる。

4. アンケートの内容・方法について

○積み上げている途中での学習成果についてのアンケートは、登山の感想を途中7合目、8合目で聞くことや、映画を最後まで見ずにその映画の感想を聞くのと同じであるので、アンケートは授業回数の最後近辺でとるのが適切だと考える。

○「計画性」については、シラバス自体を見たことがないという学生もいる。ただ、実際には、学生の理解状況、あるいは接続性を見直して、シラバス上の計画を変更して展開した部分がある。そのことを含め、この項目については改めて検討が必要であると思う。

【9】総括

全学共通教育を担当する大学教育センターは、専任教員の他、多数の非常勤講師による授業を提供しており、授業評価アンケートの実施では、とくに後者との連絡調整、フィードバック報告書の回収など手間暇のかかる課題が少なくない。にもかかわらず、今回のアンケート調査では、非常勤を含む対象となった全教員について、予め選定した担当科目の授業評価を滞りなく実施することができ、教員による授業の実態把握と学生の学修の進展状況に関して貴重な情報が得られた。総じて、各教員はそれぞれ担当科目の授業に真剣に取り組んでおり、例年どおり良好なレベルが保持されていることが分かった。全体として、大学教育センター関係者のアンケートへの回答率は前期 70.5%（昨年度は 66.4%）、後期 55.0%（昨年度は 61.8%）と、全学の回答率である前記 59.5%、後期 50.1%に比べて、いずれも高い数値であった。冒頭にも述べたとおり、後期の回答率の低さが気にかかる。また、スマホからのアクセスによる回答で紙媒体に比べて容易になったことが、却ってアンケートに取り組む真剣さを欠き、惰性に流れる授業評価になっていないかを見直してみる必要がある。全体として、学生の間アンケート疲れの傾向が表れているのではないかと心配である。如何にして学生が感じる負担感を軽減するかについて真剣に考えてみる必要があるように思われる。

⑩ 共同利用センター

令和2年3月3日

大学教育センター

大塚 豊 センター長 殿

共同利用センター

センター長 鶴崎 健一

令和元年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

【1】実施期間 前期：令和元年6月21日（金）～7月11日（木）

後期：令和元年12月16日（月）～令和2年1月11日（土）

【2】対象科目の選定

全ての授業科目（原則、実習、演習を除く）についてアンケートを実施する方針に従い、共同利用センターでは前期3科目（4時間分）、後期3科目（4時間分）について調査を行った。

【3】アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する7項目、学生自身の学習点検に関する7項目、合計14項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢より選択することとした。

【4】調査結果の集計

アンケート調査および集計は Cerezo を利用して行った。

【5】調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：前期は、「質問への誠意」、「講義の満足度」が全学平均よりも下回る評価であったが、後期は若干下回ったもののほぼ同程度の評価であった。しかしながら、昨年度と比較して特に低い評価ではなかった。教養科目が中心であるためクラスによって学部学科の偏りもあり、数値の振れの評価は難しいが、時代に応じた授業の改善を進める余地があると思う。また、授業中に受講生に回答を促したものの、回答率は5割程度に留まった。全学平均とほぼ同じではあるが、学生の意思を探るためにも回答率を高める必要がある。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：「関連学習」、「意欲の高まり」、「学修の成果」が全学平均よりも、若干下回り、また、昨年度よりも若干下回った。授業評価アンケートと同様、教養科目が中心であるため、クラス（学部学科による知識量など）による差も生じていると思うので、数値の振れの評価は難しいが、集団が変わっても

大きな差が生じないように時代に応じた改善を進める余地があると思われる。

分析結果を踏まえた改善方策：各教員からの報告書にもあるように、「意欲の高まり」、「学修の成果」を高めるために、時事的な要素を取り入れるなど興味関心を少しでも引き出す工夫を促したい。また、適切な課題の提示による「関連学習」の増加のための工夫を各教員に促したい。

【6】教員へのフィードバックについて

アンケート集計結果を各教員個別にフィードバックした。

【7】学生へのフィードバックについて

授業時間内（主に最終回）に Cerezo のグラフデータを利用して、各教員がフィードバックした。

【8】学科教員からの提案、意見

各教員より提出された授業アンケート実施報告書（添付）より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

＜意見・提案＞

- （1）科学にあまり馴染みのない学生でも分かるような内容になるようパワーポイントの更なる改善、Cerezo を活用した学生参加型の授業の工夫などを行なっていきたい。
- （2）最近の学生の傾向として、課題を提出しない、未完成の状態で提出する等、課題として評価できないものが多くなっている。厳しく課題提出の内容をチェックする必要がある。
- （3）教卓を離れてスライドを操作できるようにするなど、大人数でもできるだけ学生に目配りできる工夫をしているが、特に真面目に受講している学生が集中しやすくなるような工夫を検討したい。

【9】総括

共同利用センターは、センター独自の授業科目を開講しておらず共通教育科目や学科の専門科目の一部を担当している、また、授業内容が教員間で大きく異なるため、本センター全体としての評価は難しい。一方で、教員の勤めとして、学生のための効果的な授業展開は必要である。学生の興味関心の変化にも対応することも重要である。各教員が問題意識を持って授業を担当していることはそれぞれの報告書にも記載されているので、FD などを通じて教員としての資質を高める努力を続けたい。

⑰ 国際センター

令和2年2月27日

大学教育センター

大塚 豊 センター長 殿

国際センター

センター長 早川 達二

令和元年度「学生による授業評価アンケート」の集計結果を踏まえ、本学科の授業とその成果について点検したので報告いたします。

【1】実施期間 前期：令和元年6月21日（金）～7月11日（木）

後期：令和元年12月16日（月）～令和2年1月11日（土）

【2】対象科目の選定

全ての授業科目（原則、実習、演習を除く）についてアンケートを実施する方針に従い、国際センターでは前期2科目、後期2科目について調査を行った。

【3】アンケート調査内容

アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する7項目、学生自身の学習点検に関する7項目、合計14項目について調査した。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの5つの選択肢より選択することとした。

【4】調査結果の集計

アンケート調査および集計は Cerezo を利用して行った。

【5】調査結果に対する点検

◇「授業評価アンケート」について

評価結果の分析：教員の授業評価に関する7項目は、教員の授業技術的設問と講義内容の妥当性を問う設問で構成されている。国際センターの教員の板書、話し方、計画性等の授業技術は十分に高いレベルを有していると判断できる。

分析結果を踏まえた改善方策：国際センターの教員の授業技術について、学生は標準以上の高い評価をしているが、今後も常に改善努力を継続する予定がある。全般的に評価が高くても、常に改善の余地が存在する。

◇「学生の自己点検」について

点検結果の分析：多くの科目で「関連学習の準備」の自己評価が低くなっている。学生の自己点検の部分にはまだ改善の余地があると言える。

分析結果を踏まえた改善方策：準備学習の充実への努力を継続する必要がある。また、学生に対してアル

バイトの時間が過多にならないように指導して、準備学習のための時間とエネルギーを確保することが肝要である。

【6】 教員へのフィードバックについて

アンケート集計結果は、国際センター教員に対して集計結果をフィードバックしている。対象科目担当教員には、それを基に授業アンケート実施報告書の提出を求めた。

【7】 学生へのフィードバックについて

学生に対するフィードバックは講義最終回または定期試験実施時に当該授業科目担当教員が行った。その詳細を提出された報告書に記載している。

【8】 学科教員からの提案、意見

教員より提出された授業アンケート実施報告書（添付）より、有用な提案や提起された問題を以下に要約する。

＜意見・提案＞

- （1）放課後の宿題・課題をさらに工夫し、学生により考えさせ、調べさせるようにしていく。
- （2）授業中及び放課後の宿題として、1年間、時のニュースを聞かせ、文字起こしをさせることにより、予定通りの学習成果を収めた。

【9】 総括

今回のアンケート調査では、国際センターにおける授業の実施と学生の学修成果の実態を表す結果が得られたと考えている。上述のように、授業改善に向けた課題も明らかになった。一般に、とりわけ少人数の授業のアンケートの評点は非常に高いので、改善点を見つけにくい面もある。評点にもっとメリハリがあった方が、授業改善のためには効果的なアンケートとなる。

7. 令和元年度（前期）授業評価アンケート実施科目一覧

学部	学科	実施教員	職名	科目名	講義番号	曜日	時限	受講者数
経済学部	経済学科	石丸 敬二	准教授	情報処理基礎	G02INL110m	水	2時限	47
経済学部	経済学科	石丸 敬二	准教授	情報処理基礎	G02INL110n	水	3時限	46
経済学部	経済学科	北浦 孝	教授	保健体育科教育法Ⅲ	QC7TTC3750	月	2時限	14
経済学部	経済学科	北浦 孝	教授	スポーツ生理学	EE6SPM1300	木	2時限	67
経済学部	経済学科	高阪 勇毅	講師	金融システム	EE6GME2352	水	3時限	239
経済学部	経済学科	高阪 勇毅	講師	コーポレートファイナンス	EA6ABA2350	木	4時限	25
経済学部	経済学科	高羅 ひとみ	講師	租税論	EE6GME2251	水	2時限	78
経済学部	経済学科	高羅 ひとみ	講師	ミクロ経済学	E05MBS1101	火/木	1時限/4時限	68
経済学部	経済学科	佐藤 彰三	教授	地方財政論基礎	EE6GME2650	金	3時限	235
経済学部	経済学科	田中 征史	講師	経済統計学Ⅰ	EE6GME2101	月	3時限	250
経済学部	経済学科	田中 征史	講師	ミクロ経済政策	EE6GME3281	火	2時限	98
経済学部	経済学科	中村 和裕	助教	スポーツ理論Ⅰ	EE6SPM1201	木	4時限	78
経済学部	経済学科	中村 和裕	助教	現代スポーツ論Ⅰ	EE6SPM1101	火	4時限	112
経済学部	経済学科	野田 光太郎	講師	コーチ学Ⅰ	EE6SPM2401	水	3時限	37
経済学部	経済学科	野田 光太郎	講師	スポーツ産業論	EE6SPM3100	金	2時限	41
経済学部	経済学科	早川 達二	教授	日本経済論（昭和期）	EE6GME3201	火	1時限	234
経済学部	経済学科	早川 達二	教授	マクロ経済学	E05MBS1151	月/水	3時限/1時限	54
経済学部	経済学科	春名 章二	教授	経済入門	EE5MBS1100	水	2時限	78
経済学部	経済学科	春名 章二	教授	ミクロ経済学	E05MBS1102	火/金	4時限/3時限	144
経済学部	経済学科	藤本 倫史	講師	スポーツ経営学	EE6SPM3251	木	2時限	76
経済学部	経済学科	藤本 倫史	講師	スポーツ社会学	EE6SPM3352	水	1時限	60
経済学部	経済学科	三川 敦	教授	経済数学	E05MBS1451	火	2時限	15
経済学部	経済学科	三川 敦	教授	経済数学	E05MBS1453	木	2時限	24
経済学部	経済学科	吉田 卓史	准教授	スポーツマネジメント論	EE6SPM2201	木	3時限	45
経済学部	経済学科	吉田 卓史	准教授	体育（1）	G03AHS1446	水	1時限	14
経済学部	経済学科	李 森	教授	社会保障論	EE6GME3401	水	2時限	101
経済学部	経済学科	李 森	教授	労働経済論Ⅰ	EE6GME2550	月	2時限	281
経済学部	経済学科	勝矢 倫生	非常勤講師	日本経済史	EE6GME2301	金	2時限	188
経済学部	経済学科	新谷 士朗	非常勤講師	スポーツ心理学	EE6SPM3450	金	1時限	58
経済学部	経済学科	田邊 一洋	非常勤講師	スポーツとメディア	EE6SPM3400	金	1時限	9
経済学部	経済学科	大和証券	非常勤講師	証券市場論	EE6GME3842	水	4時限	25
経済学部	経済学科	畑本 佳恵	非常勤講師	情報処理基礎	G02INL110I	火	4時限	43
経済学部	経済学科	畑本 佳恵	非常勤講師	情報処理基礎	G02INL110o	水	4時限	47
経済学部	経済学科	玉置 知巳	客員教授	経済学特講Ⅲ（開発金融論）	E06CMS1250	他	その他	12
経済学部	国際経済学科	足立 浩一	教授	マーケティング論Ⅰ	EE6ACM2201	水	2時限	62
経済学部	国際経済学科	足立 浩一	教授	専門英語	G02ENG350e	木	5時限	18
経済学部	国際経済学科	尾田 温俊	教授	専門英語	G02ENG350a	月	3時限	47
経済学部	国際経済学科	尾田 温俊	教授	E U経済論Ⅰ	EE6IEC3252	水	2時限	100
経済学部	国際経済学科	中村 博	准教授	英語マスターⅠ	EI6IEC1301	月	2時限	21
経済学部	国際経済学科	中村 博	准教授	国際学	EI6IEC2630	月	3時限	6
経済学部	国際経済学科	鍋島 正次郎	准教授	地域経済論	EE6IEC2151	金	1時限	201
経済学部	国際経済学科	鍋島 正次郎	准教授	備後地場産業論	EA6ABA3962	火	3時限	23
経済学部	国際経済学科	萩野 覚	教授	専門英語	G02ENG350c	火	2時限	15
経済学部	国際経済学科	萩野 覚	教授	上級マクロ経済学	EE6GME2750	水	1時限	229
経済学部	国際経済学科	Bisset Ian James	准教授	英語ゼミナールⅠ	EI6IEC1101	木	1時限	35
経済学部	国際経済学科	Bisset Ian James	准教授	国際金融論	EE6IEC3202	月	2時限	63
経済学部	国際経済学科	富士 彰夫	教授	アメリカ経済論Ⅰ	EI6IEC2180	木	1時限	187
経済学部	国際経済学科	藤本 浩由	講師	オープンマクロ経済学	EE6IEC3150	月	4時限	173
経済学部	国際経済学科	藤本 浩由	講師	貿易概論	EE6IEC3102	木	1時限	132
経済学部	国際経済学科	劉 曙麗	講師	中国経済論Ⅰ	EE6IEC2301	木	4時限	124
経済学部	国際経済学科	劉 曙麗	講師	アジア経済論	EI6IEC3451	水	3時限	33
経済学部	国際経済学科	平山 亮	客員教授	アジア直接投資論Ⅰ	EI6IEC3601	木	3時限	29
経済学部	国際経済学科	平山 亮	客員教授	アジアビジネス事情Ⅰ	EE6IEC3350	金	3時限	42
経済学部	国際経済学科	向井 洋	客員教授	金融から見える世界Ⅰ	EE6IEC2401	水	5時限	84
経済学部	税務会計学科	泉 潤慈	教授	税法概論Ⅰ	EA6ABA2761	月	3時限	43

学部	学科	実施教員	職名	科目名	講義番号	曜日	時限	受講者数
経済学部	税務会計学科	泉 潤慈	教授	所得税法	EA6ABA3901	月	2時限	40
経済学部	税務会計学科	大上 麻海	助教	人的資源管理	EA6ABA3350	水	3時限	12
経済学部	税務会計学科	大上 麻海	助教	経営組織論Ⅰ	EE6ACM3201	木	3時限	34
経済学部	税務会計学科	大城 朝子	講師	経営戦略論Ⅰ	EE6ACM3103	水	3時限	16
経済学部	税務会計学科	大城 朝子	講師	経営学Ⅰ	EE6ACM2103	木	2時限	201
経済学部	税務会計学科	許 霽	教授	国際会計論Ⅰ	EA6ABA3601	火	1時限	19
経済学部	税務会計学科	許 霽	教授	基礎簿記Ⅰ	E05MBS1203	金	2時限	116
経済学部	税務会計学科	小林 正和	教授	プレゼンテーション	E06CMS2101	木	1時限	24
経済学部	税務会計学科	小林 正和	教授	販売管理論Ⅰ	EA6ABA2500	火	4時限	59
経済学部	税務会計学科	坂内 慧	助教	基礎簿記Ⅰ	E05MBS1205	月	3時限	103
経済学部	税務会計学科	坂内 慧	助教	会計学総論Ⅰ	EA6ABA1101	木	2時限	62
経済学部	税務会計学科	関下 弘樹	講師	基礎簿記Ⅰ	E05MBS1201	水	3時限	88
経済学部	税務会計学科	関下 弘樹	講師	原価計算論Ⅰ	EA6ABA2701	火	2時限	61
経済学部	税務会計学科	張 楓	准教授	経営史	EA6ABA2400	木	3時限	42
経済学部	税務会計学科	張 楓	准教授	地域調査Ⅱ	EA6ABA2972	月	4時限/5時限	28
経済学部	税務会計学科	池下 泰宏	非常勤講師	税務会計Ⅰ	EA6ABA3701	金	2時限	21
経済学部	税務会計学科	津守 貴之	非常勤講師	流通システム	EA6ABA2450	水	1時限	16
人間文化学部	心理学科	赤澤 淳子	教授	発達心理学	HP6CRS2350	木	2時限	119
人間文化学部	心理学科	大杉 朱美	講師	捜査心理学	HP6ADS3450	金	2時限	90
人間文化学部	心理学科	大杉 朱美	講師	専門英語	G02ENG350h	火	3時限	59
人間文化学部	心理学科	金平 希	助教	地域とボランティア	H05BFS1301	月	3時限	87
人間文化学部	心理学科	日下部 典子	教授	コミュニティ心理学	HP6ADS3500	金	3時限	48
人間文化学部	心理学科	平 伸二	教授	神経・生理心理学	HP6CRS2250	水	1時限	116
人間文化学部	心理学科	平 伸二	教授	心理学概論	H05BFS1101	木	1時限	99
人間文化学部	心理学科	福留 広大	助教	心理学統計法Ⅰ	HP5BDS1150	月	2時限	79
人間文化学部	心理学科	福留 広大	助教	心理調査概論	HP6CRS2100	火	2時限	55
人間文化学部	心理学科	松本 明生	准教授	心と健康	G03THC1200	火	1時限	161
人間文化学部	心理学科	宮崎 由樹	講師	認知心理学	HP6MAS3550	月	1時限	119
人間文化学部	心理学科	山崎 理央	准教授	臨床心理学概論	HP6CRS2150	水	3時限	59
人間文化学部	心理学科	谷口 敏淳	准教授	精神医学	HP6MAS3750	水	2時限/3時限	54
人間文化学部	人間文化学科	青木 美保	教授	基礎演習Ⅰ	HA6RPE2131	木	2時限	20
人間文化学部	人間文化学科	青木 美保	教授	日本近現代文学研究Ⅰ	HA6LIT2160	火	3時限	31
人間文化学部	人間文化学科	小原 友行	教授	人文地理(Ⅰ)	G03HIC1300	水	2時限	114
人間文化学部	人間文化学科	小原 友行	教授	自然地理(Ⅰ)	G03NAS1750	火	4時限	161
人間文化学部	人間文化学科	重迫 隆司	教授	日英比較文化Ⅰ	HA6ETH2400	水	3時限	49
人間文化学部	人間文化学科	重迫 隆司	教授	現代芸術とサブカルチャー論	HA6HIC2340	金	2時限	60
人間文化学部	人間文化学科	清水 洋子	准教授	中国古典文化研究Ⅰ	HA6LIT3220	月	3時限	22
人間文化学部	人間文化学科	清水 洋子	准教授	中国語(Ⅰ)	G02CHI110i	木	2時限	33
人間文化学部	人間文化学科	原 千史	教授	社会学概論	H05BFS1150	月	4時限	153
人間文化学部	人間文化学科	原 千史	教授	ドイツ語(Ⅰ)	G02GER1103	火	4時限	46
人間文化学部	人間文化学科	村上 亮	講師	生活文化史	H05BFS1250	金	1時限	146
人間文化学部	人間文化学科	村上 亮	講師	ヨーロッパの歴史と文化Ⅰ	HA6HIC2220	火	2時限	41
人間文化学部	人間文化学科	柳川 真由美	講師	日本史概論	HA5BDS1850	月	4時限	39
人間文化学部	人間文化学科	柳川 真由美	講師	日本近世の政治と文化Ⅰ	HA6HIC3220	水	2時限	9
人間文化学部	人間文化学科	脇 忠幸	准教授	日本語表現法Ⅰ	G02JNE1152	火	2時限	70
人間文化学部	人間文化学科	脇 忠幸	准教授	日本語表現法	G02JNE110o	金	3時限	37
人間文化学部	人間文化学科	市瀬 信子	併任教授	中国近世文化研究Ⅰ	HA6LIT3260	金	4時限	14
人間文化学部	人間文化学科	佐藤 昭嗣	非常勤講師	日本古代の社会と文化Ⅰ	HA6HIC3160	木	1時限	15
人間文化学部	人間文化学科	竹村 信治	非常勤講師	日本の中世文学Ⅰ	HA6LIT3420	月	2時限	23
人間文化学部	人間文化学科	田野 慎二	非常勤講師	日本王朝文学研究Ⅰ	HA6LIT2100	木	1時限	44
人間文化学部	人間文化学科	津口 在五	非常勤講師	ヨーロッパ美術史Ⅰ	HA6HIC2280	火	3時限	18
人間文化学部	人間文化学科	藤本 真理子	非常勤講師	日本語の歴史Ⅰ	HA6ETH3530	火	4時限/5時限	17
人間文化学部	人間文化学科	古川 瓊子	講師	民法Ⅰ	E06CMS2250	火	2時限	159
人間文化学部	人間文化学科	古川 瓊子	講師	法学概論(Ⅰ)	G03SSL1200	金	3時限	145
人間文化学部	メディア・映像学科	阿部 純	講師	メディア文化論	G03HIC1650	木	4時限	156
人間文化学部	メディア・映像学科	阿部 純	講師	メディアと調査	HM6FSU2100	木	3時限	37
人間文化学部	メディア・映像学科	内垣戸 貴之	准教授	メディア表現入門	HM5BDS1150	木	1時限	51
人間文化学部	メディア・映像学科	内垣戸 貴之	准教授	メディア応用実習	HM6EPR3350	火/木	3時限/4時限	30

学部	学科	実施教員	職名	科目名	講義番号	曜日	時限	受講者数
人間文化学部	メディア・映像学科	田中 始男	教授	メディアと調査	HM6FSU2100	木	3時限	37
人間文化学部	メディア・映像学科	田中 始男	教授	情報セキュリティ	HM6RAR3150	月	3時限	15
人間文化学部	メディア・映像学科	筒本 和広	教授	情報処理基礎	G02INL110k	金	4時限	41
人間文化学部	メディア・映像学科	筒本 和広	教授	情報処理基礎	G02INL110s	木	4時限	68
人間文化学部	メディア・映像学科	筒本 和広	教授	情報処理基礎	G02INL110b	月	2時限	62
人間文化学部	メディア・映像学科	中嶋 健明	教授	色彩論	H05BFS1200	月	2時限	49
人間文化学部	メディア・映像学科	渡辺 浩司	准教授	専門英語	G02ENG350i	月	4時限	24
人間文化学部	メディア・映像学科	渡辺 浩司	准教授	メディア表現入門	HM5BDS1150	木	1時限	51
人間文化学部	メディア・映像学科	井ノ上 美恵子	非常勤講師	マスメディア論	HM6FSU1100	火	2時限/3時限	45
人間文化学部	メディア・映像学科	大谷 治	非常勤講師	メディア応用実習	HM6EPR3350	火/木	3時限/4時限	30
人間文化学部	メディア・映像学科	大塚 勉	非常勤講師	グラフィックデザイン	HM6EPS2100	木	1時限/2時限	36
人間文化学部	メディア・映像学科	佐野 政美	非常勤講師	メディア応用実習	HM6EPR3350	火/木	3時限/4時限	30
人間文化学部	メディア・映像学科	田中 聡登	非常勤講師	広告制作	HM6EPR3100	水	3時限/4時限	26
人間文化学部	メディア・映像学科	山本 光秀	非常勤講師	サウンドデザイン	HM6EPR3150	水	3時限/4時限	30
人間文化学部	メディア・映像学科	渡辺 敏恵	非常勤講師	アナウンス	HM6EPS1100	金	3時限	36
工学部	スマートシステム学科	沖 俊任	准教授	C A E	TA6COM3100	月	2時限	14
工学部	スマートシステム学科	沖 俊任	准教授	ものづくり加工法	TA6COM2100	金	1時限	18
工学部	スマートシステム学科	香川 直己	教授	回路理論Ⅱ	TA6EEC2150	金	4時限	20
工学部	スマートシステム学科	香川 直己	教授	電子基礎	TA6EEC1100	火	1時限	10
工学部	スマートシステム学科	伍賀 正典	准教授	教養ゼミ(教養講座を含む)	G01FYE110m	月	3時限	10
工学部	スマートシステム学科	伍賀 正典	准教授	ロボット応用	TA6CSE4100	月	2時限	2
工学部	スマートシステム学科	菅原 聡	准教授	電気磁気学Ⅱ	TA6EEC2100	木	3時限	15
工学部	スマートシステム学科	菅原 聡	准教授	デジタルシステム	TA6EEC2250	木	4時限	17
工学部	スマートシステム学科	関田 隆一	准教授	みらい工学プロジェクト	T06PBL1107	月	5時限	10
工学部	スマートシステム学科	関田 隆一	准教授	技術者倫理	TA6COM2500	月	1時限	18
工学部	スマートシステム学科	田中 聡	准教授	通信工学	TA6EEC3100	木	1時限	11
工学部	スマートシステム学科	田中 聡	准教授	電波工学	TA6EEC3150	木	3時限	10
工学部	スマートシステム学科	仲嶋 一	教授	基礎電気工学	LM5PHS2100	木	3時限	55
工学部	スマートシステム学科	仲嶋 一	教授	電子物理	TA6EEC2200	木	1時限	18
工学部	スマートシステム学科	三谷 康夫	教授	計測工学	TA6CSE2150	水	2時限	18
工学部	スマートシステム学科	三谷 康夫	教授	工業数学Ⅰ	TA5FUS1200	火	2時限	14
工学部	スマートシステム学科	宮内 克之	教授	防災工学	T06SSE2100	火	1時限	85
工学部	スマートシステム学科	宮内 克之	教授	地域防災基礎	G03RST1250	水	4時限	285
工学部	スマートシステム学科	安保 悦朗	非常勤講師	職業指導	QC7TTC3601	木	5時限	10
工学部	スマートシステム学科	安保 悦朗	非常勤講師	工業科教育法	QC7TTC3330	木	4時限	9
工学部	スマートシステム学科	磯崎 紀夫	非常勤講師	キャリアデザインエンジニア入門	T15FUS3100	木	2時限	55
工学部	建築学科	伊澤 康一	講師	専門英語	G02ENG350k	木	3時限	73
工学部	建築学科	伊澤 康一	講師	建築環境工学Ⅰ	TK6FUA2400	木	4時限	89
工学部	建築学科	大島 秀明	教授	都市計画	TK6COM3200	水	1時限	97
工学部	建築学科	大島 秀明	教授	建築設計演習Ⅰ	TK6ARC3350	月	3時限/4時限	47
工学部	建築学科	酒井 要	助教	C G 演習	TK6COM3100	月	1時限/2時限	72
工学部	建築学科	酒井 要	助教	C A D 演習Ⅰ	TK6COM2151	火	3時限/4時限	38
工学部	建築学科	酒井 要	助教	C A D 演習Ⅰ	TK6COM2150	金	3時限/4時限	43
工学部	建築学科	佐々木 伸子	准教授	医療福祉施設概論	TK6LED3200	火	3時限	60
工学部	建築学科	佐々木 伸子	准教授	住宅計画	TK6FUA1250	水	2時限	89
工学部	建築学科	佐藤 圭一	教授	日本建築史	TK6COM2501	月	2時限	81
工学部	建築学科	佐藤 圭一	教授	近代建築史	TK6COM3300	水	2時限	13
工学部	建築学科	田辺 和康	教授	地学	LM5ERS1101	木	1時限	87
工学部	建築学科	田辺 和康	教授	測量学及び実習	TK6COM3750	金	1時限/2時限	30
工学部	建築学科	都祭 弘幸	教授	建築構造Ⅱ	TK6ARE3300	木	2時限	27
工学部	建築学科	都祭 弘幸	教授	静力学Ⅱ	TK6FUA2451	木	3時限	81
工学部	建築学科	藤原 美樹	准教授	建築計画Ⅰ	TK6FUA2300	月	1時限	102
工学部	建築学科	藤原 美樹	准教授	デザイン論	TK5FUS1250	月	2時限	81
工学部	建築学科	宮地 功	教授	建築設計演習Ⅰ	TK6FUA2110	火	3時限/4時限	69
工学部	建築学科	宮地 功	教授	建築積算	TK6COM4150	水	2時限	36
工学部	建築学科	山田 明	准教授	建築構造材料	T06SSE2200	金	2時限	107
工学部	建築学科	山田 明	准教授	構造・力学入門	TK6FUA1300	金	1時限	107
工学部	建築学科	秋岡 昌彦	非常勤講師	造形デザインⅠ	TK6FUA2200	木	1時限/2時限	19

学部	学科	実施教員	職名	科目名	講義番号	曜日	時限	受講者数
工学部	建築学科	島田 美和子	非常勤講師	生活デザイン演習Ⅳ	TK6LED3150	水	3時限/4時限	9
工学部	建築学科	藤本 純一	非常勤講師	建築材料実験	TK6COM3600	木	4時限/5時限	45
工学部	情報工学科	池岡 宏	講師	みらい工学プロジェクト	T06PBL1109	月	5時限	18
工学部	情報工学科	池岡 宏	講師	コンピュータグラフィックス	T16APP2200	木	2時限	39
工学部	情報工学科	占部 逸正	教授	基礎数学Ⅰ	T15FUS1100	木	4時限	29
工学部	情報工学科	占部 逸正	教授	論理回路	T16HAR2100	月	3時限	57
工学部	情報工学科	尾関 孝史	教授	情報工学入門(情報化社会と倫理)	T16COM1100	火	3時限	61
工学部	情報工学科	尾関 孝史	教授	オペレーションズリサーチ	T16APP3150	水	2時限	36
工学部	情報工学科	金子 邦彦	教授	人工知能	T16APP3100	金	3時限	41
工学部	情報工学科	金子 邦彦	教授	コンピュータサイエンス	T16COM1150	金	2時限	60
工学部	情報工学科	新谷 敏朗	准教授	ゲームプログラミング	T16SOF3150	木	4時限	33
工学部	情報工学科	新谷 敏朗	准教授	データ構造とアルゴリズム	T16SOF2150	金	4時限	56
工学部	情報工学科	中道 上	准教授	安全情報システム	T16SSE3150	火	1時限	79
工学部	情報工学科	中道 上	准教授	ヒューマンコンピュータインタラクション	T06SSE2150	月	2時限	54
工学部	情報工学科	宮崎 光二	准教授	プログラミング応用	T16SOF2100	水	3時限	52
工学部	情報工学科	宮崎 光二	准教授	コンピュータネットワーク	T16NET2100	木	2時限	50
工学部	情報工学科	森田 翔太	助教	情報処理技術Ⅱ	T16COM3100	月	3時限	22
工学部	情報工学科	森田 翔太	助教	Webプログラミング	T16NET3100	水	1時限	34
工学部	情報工学科	山之上 卓	教授	専門英語	G02ENG350I	金	2時限	38
工学部	機械システム工学科	内田 博志	教授	エンジンシステム	TG6MSA3300	月	3時限	29
工学部	機械システム工学科	内田 博志	教授	自動車構造Ⅰ	TG6AME1100	火	2時限	7
工学部	機械システム工学科	加藤 昌彦	教授	自動車力学	TG6AME3150	木	3時限	23
工学部	機械システム工学科	加藤 昌彦	教授	要素設計学	TG6MSA2200	木	2時限	34
工学部	機械システム工学科	木村 純壮	教授	工業数学Ⅱ	TG5FUS2100	金	4時限	21
工学部	機械システム工学科	木村 純壮	教授	制御システム設計	TG6MSA3250	金	2時限	33
工学部	機械システム工学科	小林 正明	講師	自動車整備工学	TG6CMT3150	火	2時限	12
工学部	機械システム工学科	小林 正明	講師	計測工学	TG6MSA2800	水	1時限	19
工学部	機械システム工学科	坂口 勝次	教授	熱力学	TG6MSA2500	月	3時限	32
工学部	機械システム工学科	坂口 勝次	教授	感性デザイン	TG6MSB4100	木	2時限	9
工学部	機械システム工学科	関根 康史	准教授	専門英語	G02ENG350m	木	4時限	42
工学部	機械システム工学科	関根 康史	准教授	機械設計製図基礎	TG6MSA1150	火	5時限	27
工学部	機械システム工学科	中東 潤	准教授	機能材料学	TG6MSA2400	火	4時限	18
工学部	機械システム工学科	中東 潤	准教授	デジタルデザイン	TG6MSB2100	月	4時限	23
工学部	機械システム工学科	真鍋 圭司	教授	材料力学Ⅰ	TG6MSA2300	金	1時限	28
工学部	機械システム工学科	真鍋 圭司	教授	数学Ⅰ	TG5FUS1100	金	2時限	31
工学部	機械システム工学科	霧崎 展	客員教授	流体工学	TG6MSA2450	金	3時限	36
生命工学部	生物工学科	岩本 博行	教授	化学Ⅰ	LB5CHE1600	月/金	1時限/2時限	32
生命工学部	生物工学科	岩本 博行	教授	食品化学	LB6BI2300	木	2時限	41
生命工学部	生物工学科	太田 雅也	教授	構造生化学	LB5BCH2700	月/金	1時限	43
生命工学部	生物工学科	太田 雅也	教授	環境分析学	LB6ABI3850	火/木	1時限/2時限	46
生命工学部	生物工学科	佐藤 淳	准教授	地球環境科学	LB6BI2800	木	1時限	40
生命工学部	生物工学科	佐藤 淳	准教授	環境ゲノム学	LB6ABI3800	金	1時限	42
生命工学部	生物工学科	秦野 琢之	教授	バイオマス・資源リサイクル	LB6ABI2800	火/金	2時限	39
生命工学部	生物工学科	秦野 琢之	教授	微生物培養工学	LB6ABI3200	月	1時限	41
生命工学部	生物工学科	原口 博行	教授	生化学Ⅰ	LN5BMD1100	火	1時限	48
生命工学部	生物工学科	原口 博行	教授	植物栄養生理学	LB6BI2500	水	2時限	46
生命工学部	生物工学科	久富 泰資	教授	多様性生物学	LB6BI4800	金	1時限	14
生命工学部	生物工学科	久富 泰資	教授	分子生物学	LB6BI2100	火/金	2時限	48
生命工学部	生物工学科	広岡 和丈	准教授	化学Ⅱ	LB5CHE1620	月/金	1時限/2時限	34
生命工学部	生物工学科	広岡 和丈	准教授	化学生態学	LB6ABI4700	火	1時限	8
生命工学部	生物工学科	松崎 浩明	教授	生物学Ⅱ	LB5BIO1100	水	1時限	33
生命工学部	生物工学科	山口 泰典	教授	動物機能利用学	LB6ABI3400	月	2時限	50
生命工学部	生物工学科	山口 泰典	教授	動物資源学	LB6BI2400	火	1時限	32
生命工学部	生物工学科	山本 覚	教授	代謝生化学	LB5BCH3700	火/木	1時限/2時限	42
生命工学部	生物工学科	山本 覚	教授	動物生理学	LB6BI2420	月/金	1時限/1時限	41
生命工学部	生物工学科	吉崎 隆之	講師	ワイン醸造学	LB6ABI3300	火	2時限	34
生命工学部	生物工学科	磯崎 哲夫	非常勤講師	理科教育法	QC7TTC3810	火	3時限	15
生命工学部	生物工学科	磯崎 哲夫	非常勤講師	理科教育法研究	QC7TTC3840	火	4時限	9

学部	学科	実施教員	職名	科目名	講義番号	曜日	時限	受講者数
生命工学部	生命栄養科学科	石井 香代子	教授	食と健康	G03AHS1561	火	3時限/4時限	6
生命工学部	生命栄養科学科	石井 香代子	教授	給食マネジメントⅡ	LN6FSM3101	金	2時限	39
生命工学部	生命栄養科学科	井ノ内 直良	教授	食品科学	LN5FOH1100	水	1時限	48
生命工学部	生命栄養科学科	井ノ内 直良	教授	専門英語	G02ENG350o	水	2時限	40
生命工学部	生命栄養科学科	菊田 安至	教授	生体機能学	LN5BMD3101	月	1時限	42
生命工学部	生命栄養科学科	菊田 安至	教授	分子生物学	LN5BMD2100	水	1時限	27
生命工学部	生命栄養科学科	久保田 みどり	准教授	臨床栄養学実習Ⅱ	LN6CLN3351	他	その他	41
生命工学部	生命栄養科学科	久保田 みどり	准教授	臨床栄養学Ⅱ	LN6CLN3251	木	2時限	40
生命工学部	生命栄養科学科	近藤 寛子	助教	調理学実習Ⅱ	LN5FOH2400	他	その他	48
生命工学部	生命栄養科学科	柴田 紗知	助教	応用栄養学実習	LN6APN2250	他	その他	24
生命工学部	生命栄養科学科	柴田 紗知	助教	応用栄養学Ⅰ	LN6APN2100	木	2時限	24
生命工学部	生命栄養科学科	田中 信一郎	教授	疾患学総論	LN5BMD2200	月	2時限	24
生命工学部	生命栄養科学科	田中 信一郎	教授	健康管理概論	LN5SHE1100	水	2時限	44
生命工学部	生命栄養科学科	中崎 千尋	助教	公衆栄養学実習	LN6PHN3151	他	その他	40
生命工学部	生命栄養科学科	中崎 千尋	助教	地域公衆栄養学	LN6PHN3101	月	2時限	40
生命工学部	生命栄養科学科	西 彰子	准教授	栄養教育論実習	LN6GNE3201	他	その他	41
生命工学部	生命栄養科学科	西 彰子	准教授	栄養教育論Ⅱ	LN6GNE3101	火	2時限	41
生命工学部	生命栄養科学科	村上 泰子	准教授	応用栄養学Ⅱ	LN6APN2150	金	1時限	25
生命工学部	生命栄養科学科	村上 泰子	准教授	卒業演習Ⅰ	LN6SPI4100	他	その他	42
生命工学部	生命栄養科学科	山本 英二	教授	食品の製造と保存	LN5FOH3101	木	1時限	40
生命工学部	生命栄養科学科	山本 英二	教授	基礎化学	LN5CHE1100	月	1時限	45
生命工学部	生命栄養科学科	岡部 真智子	併任教授	社会福祉概論	LN5SHE2200	水	2時限	26
生命工学部	生命栄養科学科	福田 伸治	非常勤講師	食品衛生学	LN5FOH2150	金	2時限	26
生命工学部	海洋生物科学科	有瀧 真人	教授	水産学概論	LM6MCS2450	火	2時限	112
生命工学部	海洋生物科学科	有瀧 真人	教授	増養殖学	LM6RUD3102	水	1時限	53
生命工学部	海洋生物科学科	伊丹 利明	教授	魚類生理学	LM6MCS2200	金	1時限	126
生命工学部	海洋生物科学科	伊丹 利明	教授	専門英語	G02ENG350r	木	1時限	50
生命工学部	海洋生物科学科	金子 健司	教授	遺伝資源の利用と管理	LM6RUD4103	火	1時限	13
生命工学部	海洋生物科学科	金子 健司	教授	沿岸域の水産業	LM6FIE3202	金	1時限	57
生命工学部	海洋生物科学科	北口 博隆	准教授	沿岸域の環境と生物	LM6FIE3102	水	2時限	103
生命工学部	海洋生物科学科	北口 博隆	准教授	暮らしと微生物	LM5BIO2150	火	1時限	115
生命工学部	海洋生物科学科	倉掛 昌裕	教授	食品衛生学	LM6MFS3202	金	2時限	128
生命工学部	海洋生物科学科	倉掛 昌裕	教授	微生物発酵と食品	LM6MFS3152	火	1時限	103
生命工学部	海洋生物科学科	阪本 憲司	准教授	魚学概論	LM6MCS1100	水	1時限	115
生命工学部	海洋生物科学科	阪本 憲司	准教授	水産養殖の生理学	LM6RUD3152	木	2時限	105
生命工学部	海洋生物科学科	真田 誠至	講師	水族館論	LM6AQ3252	月	3時限	62
生命工学部	海洋生物科学科	真田 誠至	講師	博物館実習	QC7CUC4102	土	1時限/2時限	18
生命工学部	海洋生物科学科	高村 克美	教授	生物学Ⅰ	LM5BIO1100	金	2時限	116
生命工学部	海洋生物科学科	高村 克美	教授	動物組織学	LM6MCS2300	水	1時限	112
生命工学部	海洋生物科学科	水上 雅晴	講師	観賞魚の飼育と繁殖	LM6AQ3102	月	1時限	59
生命工学部	海洋生物科学科	水上 雅晴	講師	水生観賞生物の分類と飼育	LM6AQ3151	火	1時限	34
生命工学部	海洋生物科学科	満谷 淳	教授	専門英語	G02ENG350p	木	1時限	17
生命工学部	海洋生物科学科	満谷 淳	教授	化学Ⅰ	LM5CHE1101	月	2時限	57
生命工学部	海洋生物科学科	三輪 泰彦	教授	バイオテクノロジー入門	LM5BIS3100	金	1時限	51
生命工学部	海洋生物科学科	三輪 泰彦	教授	生化学	LM5CHE2100	月	2時限	127
生命工学部	海洋生物科学科	山岸 幸正	准教授	化学Ⅰ	LM5CHE1102	月	2時限	59
生命工学部	海洋生物科学科	山岸 幸正	准教授	フィールド調査法	LM6FIE3151	火	2時限	56
生命工学部	海洋生物科学科	渡辺 伸一	准教授	生物統計学	LM5BIO2100	水	2時限	66
生命工学部	海洋生物科学科	渡辺 伸一	准教授	フィールド調査法	LM6FIE3151	火	2時限	56
薬学部		赤崎 健司	教授	社会・集団と健康	PP6HLS4151	木	1時限	116
薬学部		赤崎 健司	教授	実感する化学	G03NAS1550	木	3時限	72
薬学部		石津 隆	教授	薬学の基礎となる化学A	PP5MBS1340	木	2時限	107
薬学部		石津 隆	教授	医薬品管理	PP6LAS4101	金	1時限	150
薬学部		井上 敦子	教授	循環器系・腎疾患の薬・病態・治療	PP6CLP3100	火	2時限	138
薬学部		井上 敦子	教授	生体機能の調節Ⅱ	PP6CLP2140	金	3時限	127
薬学部		井上 裕文	教授	薬局方収載の試験法	PP6PHY3151	水	1時限	125
薬学部		井上 裕文	教授	基礎分析化学A	PP5MBS1260	月	2時限	107
薬学部		江藤 精二	教授	悪性腫瘍の薬・病態・治療	PP6CLP4180	火	2時限	133

学部	学科	実施教員	職名	科目名	講義番号	曜日	時限	受講者数
薬学部		大西 正俊	講師	循環器系・腎疾患の薬・病態・治療	PP6CLP3100	火	2時限	138
薬学部		大西 正俊	講師	消化器系疾患の薬・病態・治療	PP6CLP3140	木	1時限	128
薬学部		岡村 信幸	教授	漢方医学概説	PP6CLP1100	水	2時限	110
薬学部		岡村 信幸	教授	薬になる動植物	PP6CHE2351	火	2時限	129
薬学部		片山 博和	教授	実践薬学演習	PP6PET4150	金/土	3時限/4時限/5時限	139
薬学部		片山 博和	教授	実習Ⅴ	PP6PET3300	月/火/水	3時限/4時限/5時限	139
薬学部		上敷領 淳	准教授	生体エネルギー代謝	PP6BIO2100	木	2時限	130
薬学部		上敷領 淳	准教授	疾病の予防	PP6HLS4101	木	3時限	139
薬学部		坂根 洋	講師	社会・集団と健康	PP6HLS4151	木	1時限	116
薬学部		木平 孝高	講師	臨床推論演習	PP6CLP4260	月/火/水	3時限/4時限/5時限	135
薬学部		小嶋 英二郎	教授	基礎分析化学 A	PP5MBS1260	月	2時限	107
薬学部		小嶋 英二郎	教授	機器分析学	PP6PHY2200	木	1時限	132
薬学部		五郎丸 剛	准教授	医薬品の安定供給と社会保障制度	PP6LAS4150	月	2時限	138
薬学部		今 重之	教授	感染症の薬物治療	PP6CLP4300	木	2時限	140
薬学部		今 重之	教授	免疫のしくみ	PP6BIO3200	金	2時限	132
薬学部		坂根 洋	講師	化学物質の生体への影響	PP6HLS3100	月	1時限	134
薬学部		佐藤 英治	教授	臨床推論演習	PP6CLP4260	月/火/水	3時限/4時限/5時限	135
薬学部		猿橋 裕子	准教授	医薬品管理	PP6LAS4101	金	1時限	150
薬学部		白川 真	講師	物質の状態	PP6PHY2100	金	1時限	127
薬学部		白川 真	講師	薬学の基礎としての数学 A	PP5MBS1180	月	1時限	107
薬学部		杉原 成美	教授	化学物質の生体への影響	PP6HLS3100	月	1時限	134
薬学部		杉原 成美	教授	疾病の予防	PP6HLS4101	木	3時限	139
薬学部		瀬尾 誠	講師	実感する化学	G03NAS1550	木	3時限	72
薬学部		瀬尾 誠	講師	セルフメディケーション (1)	G03AHS1720	金	1時限	39
薬学部		高山 健人	助教	統計解析と臨床研究	PP6CLP4220	火	1時限	139
薬学部		高山 健人	助教	薬になる動植物	PP6CHE2351	火	2時限	129
薬学部		田中 哲郎	教授	医薬品をつくる特講	PP6CLP6100	火	1時限	270
薬学部		田村 豊	教授	人体の成り立ちと機能 I A	PP5MBS1420	木	1時限	108
薬学部		田村 豊	教授	薬の効くメカニズム	PP6CLP2100	水	1時限	131
薬学部		町支 臣成	教授	医薬品の化学構造と性質	PP6CHE4100	水	2時限	144
薬学部		町支 臣成	教授	基礎有機化学 I	PP6CHE1100	火	2時限	112
薬学部		鶴田 泰人	教授	薬局方収載の試験法	PP6PHY3151	水	1時限	125
薬学部		鶴田 泰人	教授	機器分析学	PP6PHY2200	木	1時限	132
薬学部		中村 徹也	助手	実習Ⅴ	PP6PET3300	月/火/水	3時限/4時限/5時限	139
薬学部		中村 徹也	助手	医薬品をつくる特講	PP6CLP6100	火	1時限	270
薬学部		長崎 信浩	教授	悪性腫瘍の薬・病態・治療	PP6CLP4180	火	2時限	133
薬学部		長崎 信浩	教授	病原微生物と感染症	PP6BIO3150	水	2時限	133
薬学部		長崎 信浩	教授	医薬品をつくる特講	PP6CLP6100	火	1時限	270
薬学部		西山 卓志	助手	医薬品の化学構造と性質	PP6CHE4100	水	2時限	144
薬学部		西山 卓志	助手	情報処理基礎	G02NL110w	金	4時限	35
薬学部		秦 季之	教授	物質の構造と相互作用	PP6PHY2150	火	1時限	123
薬学部		秦 季之	教授	化学反応速度	PP6PHY3100	木	3時限	132
薬学部		稗田 雄三	助手	実感する化学	G03NAS1550	木	3時限	72
薬学部		稗田 雄三	助手	物質の基本概念	G03NAS1600	水	1時限	108
薬学部		広瀬 雅一	講師	臨床推論演習	PP6CLP4260	月/火/水	3時限/4時限/5時限	139
薬学部		広瀬 雅一	講師	生命倫理	PP5MBS3101	金	4時限/5時限	131
薬学部		藤岡 晴人	教授	有機化学 I	PP6CHE2100	月	1時限	123
薬学部		藤岡 晴人	教授	ターゲット分子の合成	PP6CHE3102	木	4時限	141
薬学部		前田 頼伸	教授	統計解析と臨床研究	PP6CLP4220	火	1時限	139
薬学部		前田 頼伸	教授	病原微生物と感染症	PP6BIO3150	水	2時限	133
薬学部		前原 昭次	講師	物質の基本概念	G03NAS1600	水	1時限	108
薬学部		前原 昭次	講師	薬物の宝庫としての天然物	PP6CHE3151	金	1時限	129
薬学部		松岡 浩史	講師	ゲノム情報と創薬	PP6BIO2150	月	2時限	127
薬学部		松岡 浩史	講師	バイオ・細胞医薬品	PP6CLP4340	金	2時限	26
薬学部		道原 明宏	教授	ゲノム情報と創薬	PP6BIO2150	月	2時限	127
薬学部		道原 明宏	教授	バイオ・細胞医薬品	PP6CLP4340	金	2時限	26
薬学部		本屋敷 敏雄	准教授	生体エネルギー代謝	PP6BIO2100	木	2時限	130
薬学部		本屋敷 敏雄	准教授	生体調節分子	PP6BIO3100	月	2時限	129

学部	学科	実施教員	職名	科目名	講義番号	曜日	時限	受講者数
薬学部		森田 哲生	教授	生体調節分子	PP6BIO3100	月	2時限	129
薬学部		森田 哲生	教授	生物系薬学特講	PP6BIO6100	水	1時限	141
薬学部		山下 純	准教授	社会・集団と健康	PP6HLS4151	木	1時限	116
薬学部		山下 純	准教授	コミュニケーション交流学習	PP5MBS2100	木/土		117
薬学部		渡邊 正知	准教授	生体機能の調節Ⅱ	PP6CLP2140	金	3時限	127
薬学部		渡邊 正知	准教授	中枢神経系疾患の薬・病態・治療Ⅱ	PP6CLP4140	水	1時限	141
薬学部		岡田 昌浩	非常勤講師	ファーマシューティカルケア総合演習	PP6PET6300	他	その他	141
薬学部		尾上 洋	非常勤講師	ファーマシューティカルケア総合演習	PP6PET6300	他	その他	141
薬学部		数野 博	非常勤講師	ファーマシューティカルケア総合演習	PP6PET6300	他	その他	141
大学教育センター		大塚 豊	教授	教育課程論	QC7TTC2100	木	5時限	201
大学教育センター		小野 太幹	准教授	数理科学	G03NAS1101	火	3時限	72
大学教育センター		小野 太幹	准教授	数学Ⅰ	T15FUS1200	月	4時限	29
大学教育センター		地主 弘幸	教授	物理の世界	G03NAS1251	水	3時限	72
大学教育センター		地主 弘幸	教授	物理の世界	G03NAS1252	木	3時限	44
大学教育センター		竹盛 浩二	准教授	日本語表現法	G02JNE110n	金	3時限	39
大学教育センター		竹盛 浩二	准教授	日本語表現法	G02JNE110p	金	4時限	36
大学教育センター		Tang Warren	助教	英語Ⅰ	G02ENG110t	金	4時限	46
大学教育センター		Tang Warren	助教	英語Ⅰ	G02ENG110j	木	2時限	43
大学教育センター		津田 将行	講師	キャリアデザインⅡ	G04CAE2102	金	5時限	26
大学教育センター		津田 将行	講師	キャリアデザインⅠ	G04CAE1103	木	5時限	176
大学教育センター		中尾 佳行	教授	英語Ⅰ	G02ENG110b	火	4時限	42
大学教育センター		中尾 佳行	教授	英語Ⅲ	G02ENG210j	火	3時限	35
大学教育センター		前田 吉広	講師	インターネット・リテラシ入門	G03NAS1850	水	2時限	65
大学教育センター		前田 吉広	講師	キャリアデザインⅠ	G04CAE1102	月	5時限	169
大学教育センター		劉 国彬	准教授	中国語(Ⅰ)	G02CHI110b	火	4時限	43
大学教育センター		劉 国彬	准教授	中国語(Ⅰ)	G02CHI110f	木	3時限	58
大学教育センター		Lowes Jason	講師	英語Ⅲ	G02ENG210e	火	2時限	37
大学教育センター		Lowes Jason	講師	英語Ⅲ	G02ENG210q	金	2時限	28
大学教育センター		若松 正晃	講師	英語Ⅲ	G02ENG210d	月	3時限	32
大学教育センター		若松 正晃	講師	英語Ⅲ	G02ENG210t	金	2時限	32
大学教育センター		赤松 頌也	非常勤講師	フランス語(Ⅰ)	G02FRE1102	木	2時限	53
大学教育センター		赤松 頌也	非常勤講師	フランス語(Ⅰ)	G02FRE1103	火	4時限	68
大学教育センター		新井 純美	非常勤講師	英語Ⅲ	G02ENG210i	火	2時限	26
大学教育センター		新井 純美	非常勤講師	英語Ⅲ	G02ENG210l	火	3時限	40
大学教育センター		梅木 璃子	非常勤講師	英語Ⅰ	G02ENG110e	火	4時限	43
大学教育センター		梅木 璃子	非常勤講師	英語Ⅲ	G02ENG210b	月	3時限	44
大学教育センター		上村 崇	併任教授	ヨーロッパ思想入門1	HA6ETH2550	火	3時限	14
大学教育センター		上村 崇	併任教授	倫理学(Ⅰ)	G03THC1300	火	4時限	37
大学教育センター		遠藤 耕二	非常勤講師	哲学(Ⅰ)	G03THC1100	火	2時限	56
大学教育センター		大牛 英則	非常勤講師	英語Ⅲ	G02ENG210k	火	3時限	42
大学教育センター		大牛 英則	非常勤講師	英語Ⅰ	G02ENG110c	火	4時限	44
大学教育センター		岡本 昌規	非常勤講師	体育(Ⅰ)	G03AHS1444	金	1時限	36
大学教育センター		岡本 昌規	非常勤講師	体育(Ⅰ)	G03AHS1445	金	2時限	39
大学教育センター		崔 眞英	非常勤講師	韓国語(Ⅰ)	G02KOR1106	木	3時限	24
大学教育センター		崔 眞英	非常勤講師	韓国語(Ⅰ)	G02KOR1105	木	2時限	48
大学教育センター		崔 嶋汀	非常勤講師	韓国語(Ⅰ)	G02KOR1102	火	4時限	51
大学教育センター		崔 嶋汀	非常勤講師	韓国語(Ⅰ)	G02KOR1103	木	2時限	56
大学教育センター		神野 靖子	非常勤講師	音楽	G03AHS1241	火	2時限	23
大学教育センター		齋藤 一彦	非常勤講師	体育(Ⅰ)	G03AHS1441	火	2時限	40
大学教育センター		齋藤 一彦	非常勤講師	体育(Ⅰ)	G03AHS1442	火	3時限	39
大学教育センター		齋藤 拓海	非常勤講師	日本史(Ⅰ)	G03HIC1101	水	2時限	42
大学教育センター		齋藤 拓海	非常勤講師	日本史(Ⅰ)	G03HIC1102	水	3時限	223
大学教育センター		柴原 直樹	非常勤講師	日本史(Ⅰ)	G03HIC1103	金	3時限	202
大学教育センター		柴原 直樹	非常勤講師	日本史(Ⅰ)	G03HIC1104	金	4時限	102
大学教育センター		菅波 眞吾	非常勤講師	剣道(Ⅰ)	G03AHS1361	金	2時限	5
大学教育センター		末葎 敏久	非常勤講師	中国文化入門	HA5BDS1250	木	3時限	48
大学教育センター		末葎 敏久	非常勤講師	中国語(Ⅰ)	G02CHI110d	火	4時限	42
大学教育センター		菅波 眞吾	非常勤講師	剣道(Ⅰ)	G03AHS1361	金	2時限	5

学部	学科	実施教員	職名	科目名	講義番号	曜日	時限	受講者数
大学教育センター		鈴木 へざー	非常勤講師	英語Ⅲ	G02ENG210n	火	3時限	43
大学教育センター		鈴木 へざー	非常勤講師	英語Ⅰ	G02ENG110s	金	4時限	44
大学教育センター		外林 省二	非常勤講師	書道	G03AHS1122	火	4時限	6
大学教育センター		外林 省二	非常勤講師	書道	G03AHS1121	火	3時限	29
大学教育センター		高垣 裕子	非常勤講師	英語Ⅲ	G02ENG210g	火	2時限	39
大学教育センター		田中 宏和	併任教授	憲法	G03SSL1151	金	1時限	69
大学教育センター		田中 宏和	併任教授	市民生活と法	G03SSL1101	金	2時限	104
大学教育センター		谷川 充美	非常勤講師	日本語表現法	G02JNE110d	月	3時限	17
大学教育センター		谷川 充美	非常勤講師	日本語表現法1	G02JNE1151	月	4時限	40
大学教育センター		張 治清	非常勤講師	中国語(Ⅰ)	G02CHI110g	木	2時限	31
大学教育センター		張 治清	非常勤講師	中国語(Ⅰ)	G02CHI110h	木	3時限	51
大学教育センター		帖佐 幸樹	非常勤講師	日本語表現法	G02JNE110h	月	4時限	46
大学教育センター		帖佐 幸樹	非常勤講師	日本語表現法	G02JNE110e	月	3時限	16
大学教育センター		中越 信和	客員教授	自然と人間	G03NAS1453	木	2時限	29
大学教育センター		西村 正登	非常勤講師	教育原理	QC7TTC1100	火	5時限	42
大学教育センター		橋野 仁史	非常勤講師	絵画	G03AHS1161	金	2時限	21
大学教育センター		滕 艶	非常勤講師	中国語(Ⅰ)	G02CHI110k	火	4時限	38
大学教育センター		滕 艶	非常勤講師	中国語(Ⅰ)	G02CHI110j	火	3時限	18
大学教育センター		藤井 晶子	非常勤講師	日本語表現法	G02JNE110c	月	2時限	70
大学教育センター		藤井 晶子	非常勤講師	日本語表現法	G02JNE110g	月	4時限	43
大学教育センター		藤本 明成	非常勤講師	陶芸	G03AHS1202	水	4時限	30
大学教育センター		藤本 明成	非常勤講師	陶芸	G03AHS1204	木	4時限	30
大学教育センター		前村 晃子	非常勤講師	ドイツ語(Ⅰ)	G02GER1101	木	2時限	63
大学教育センター		前村 晃子	非常勤講師	ドイツ語(Ⅰ)	G02GER1102	木	3時限	31
大学教育センター		溝淵 裕	非常勤講師	憲法	G03SSL1152	金	1時限	39
大学教育センター		宮田 朋恵	非常勤講師	日本語表現法	G02JNE110f	月	4時限	67
大学教育センター		宮田 朋恵	非常勤講師	日本語表現法	G02JNE110b	月	2時限	56
大学教育センター		宮岡 弥生	非常勤講師	日本語表現法	G02JNE110m	金	4時限	11
大学教育センター		宮岡 弥生	非常勤講師	日本語表現法	G02JNE110k	金	3時限	59
大学教育センター		森岡 悦子	非常勤講師	英語Ⅰ	G02ENG110k	木	2時限	43
大学教育センター		森岡 悦子	非常勤講師	英語Ⅰ	G02ENG110u	金	4時限	44
大学教育センター		山本 賢太郎	非常勤講師	囲碁から学ぶ人間学(Ⅰ)	G03AHS1800	火	4時限	20
大学教育センター		Hurtsman Benjamin, Miller	非常勤講師	英語Ⅲ	G02ENG210o	火	3時限	42
大学教育センター		Hurtsman Benjamin, Miller	非常勤講師	英語Ⅰ	G02ENG110f	木	2時限	43
大学教育センター		Louis Ajazi Browne	非常勤講師	英語Ⅰ	G02ENG110l	木	2時限	43
大学教育センター		Louis Ajazi Browne	非常勤講師	英語Ⅰ	G02ENG110w	金	4時限	45
大学教育センター		Leriget de la Plante	非常勤講師	英語Ⅲ	G02ENG210m	火	3時限	37
大学教育センター		Leriget de la Plante	非常勤講師	英語Ⅰ	G02ENG110d	火	4時限	43
大学教育センター		Willems Grant	非常勤講師	英語Ⅲ	G02ENG210w	金	3時限	32
大学教育センター		Willems Grant	非常勤講師	英語Ⅰ	G02ENG110v	金	4時限	45
共同利用センター		瀬島 紀夫	講師	情報処理基礎	G02INL110g	木	4時限	37
共同利用センター		瀬島 紀夫	講師	情報処理基礎	G02INL110d	月	4時限	10
共同利用センター		瀬島 紀夫	講師	情報処理基礎	G02INL110j	金	3時限	38
共同利用センター		瀬島 紀夫	講師	情報処理基礎	G02INL110e	火	3時限	33
共同利用センター		瀬島 紀夫	講師	情報処理基礎	G02INL110a	月	2時限	44
共同利用センター		瀬島 紀夫	講師	情報処理基礎	G02INL110c	月	3時限	27
共同利用センター		瀬島 紀夫	講師	情報処理基礎	G02INL110f	木	3時限	40
共同利用センター		鶴崎 健一	教授	暮らしとバイオ	G03NAS1351	水	2時限	124
共同利用センター		鶴崎 健一	教授	自然と人間	G03NAS1452	火	2時限	229
国際センター		趙 建紅	准教授	日本語(Ⅱ)(留学生用科目)	G02JNI1150	水	2時限	16
国際センター		趙 建紅	准教授	日本語(Ⅰ)(留学生用科目)	G02JNI1100	火	3時限	12
IR室		片桐 重和	助教	情報処理基礎	G02INL110u	月	2時限	58

8. 令和元年度（後期）授業評価アンケート実施科目一覧

学部	学科	教員名	職名	授業科目名	講義番号	曜日	時限	受講者数
経済学部	経済学科	石丸 敬二	准教授	情報処理技法	E05MBS1303	水	3時限	43
経済学部	経済学科	石丸 敬二	准教授	情報処理技法	E05MBS1307	木	2時限	44
経済学部	経済学科	北浦 孝	教授	保健体育科教育法Ⅱ	QC7TTC2550	水	2時限	11
経済学部	経済学科	北浦 孝	教授	保健体育科教育法Ⅳ	QC7TTC3780	月	2時限	16
経済学部	経済学科	高阪 勇毅	講師	金融論	EE6GME2402	水	3時限	224
経済学部	経済学科	高阪 勇毅	講師	金融論特講	EE6GME3801	木	4時限	10
経済学部	経済学科	高羅 ひとみ	講師	上級ミクロ経済学	EE6GME2800	木	4時限	79
経済学部	経済学科	高羅 ひとみ	講師	財政学	EE6GME2201	水	2時限	102
経済学部	経済学科	高羅 ひとみ	講師	ミクロ経済学	E05MBS1103	火/木	2時限	34
経済学部	経済学科	佐藤 彰三	教授	地方財政論	EE6GME2700	金	3時限	188
経済学部	経済学科	田中 征史	講師	マクロ経済政策	EE6GME3321	月	5時限	189
経済学部	経済学科	田中 征史	講師	経済統計学Ⅱ	EE6GME2151	月	3時限	255
経済学部	経済学科	中村 和裕	助教	現代スポーツ論Ⅱ	EE6SPM1151	火	4時限	87
経済学部	経済学科	中村 和裕	助教	生涯スポーツ論	EE6SPM2250	木	1時限	57
経済学部	経済学科	野田 光太郎	講師	スポーツマーケティング論	EE6SPM3201	金	1時限	47
経済学部	経済学科	野田 光太郎	講師	スポーツ統計学	EE6SPM3151	火	1時限	67
経済学部	経済学科	早川 達二	教授	日本経済論（平成期）	EE6GME3251	水	1時限	185
経済学部	経済学科	早川 達二	教授	マクロ経済学	E05MBS1153	月/水	3時限/1時限	106
経済学部	経済学科	春名 章二	教授	産業組織論	EE6GME3641	水	2時限	108
経済学部	経済学科	春名 章二	教授	ミクロ経済学	E05MBS1104	火/金	4時限/3時限	94
経済学部	経済学科	平田 宏二	教授	現代社会と経済	G03SSL1300	水	1時限	239
経済学部	経済学科	藤本 倫史	講師	スポーツNPO論	EE6SPM3301	木	1時限	58
経済学部	経済学科	藤本 倫史	講師	スポーツ経済学Ⅱ	EE6SPM2151	木	4時限	64
経済学部	経済学科	三川 敦	教授	経済数学	E05MBS1454	木	3時限	58
経済学部	経済学科	吉田 卓史	准教授	コーチ学Ⅱ	EE6SPM2450	木	3時限	55
経済学部	経済学科	吉田 卓史	准教授	スポーツ理論Ⅱ	EE6SPM1202	火	3時限	108
経済学部	経済学科	李 森	教授	労働経済論Ⅱ	EE6GME2600	月	2時限	300
経済学部	経済学科	岡本 隼輔	非常勤講師	環境経済学	EE6GME3361	月	4時限	72
経済学部	経済学科	鳥谷部 茂	非常勤講師	市民生活と法	G03SSL1102	金	3時限	85
経済学部	経済学科	野村證券	非常勤講師	資本市場論	EE6GME2452	水	4時限	168
経済学部	経済学科	蓮尾 陽平	非常勤講師	社会・公民科教育法	QC7TTC3420	水	4時限	3
経済学部	経済学科	畑本 佳恵	非常勤講師	情報処理技法	E05MBS1304	水	4時限	40
経済学部	経済学科	畑本 佳恵	非常勤講師	情報処理技法	E05MBS1305	木	4時限	43
経済学部	経済学科	岡井 理香	非常勤講師	スポーツ救急技法	EE6SPM3550	他	その他	14
経済学部	国際経済学科	足立 浩一	教授	アジア・太平洋経済論	E16IEC3501	水	3時限	37
経済学部	国際経済学科	足立 浩一	教授	マーケティング論Ⅱ	EA6ABA2252	水	2時限	79
経済学部	国際経済学科	尾田 温俊	教授	E U経済論Ⅱ	EE6IEC3302	水	2時限	36
経済学部	国際経済学科	尾田 温俊	教授	経済学（2）	G03SSL1450	月	1時限	98
経済学部	国際経済学科	中村 博	准教授	英語マスターⅡ	E16IEC1352	月	2時限	27
経済学部	国際経済学科	中村 博	准教授	国際政治学	E16IEC3801	月	3時限	31
経済学部	国際経済学科	鍋島 正次郎	准教授	中南米経済論	E16IEC3551	火	3時限	28
経済学部	国際経済学科	萩野 覚	教授	マクロ経済学	E05MBS1154	火/水	2時限/1時限	87
経済学部	国際経済学科	萩野 覚	教授	英語で学ぶ国際経済Ⅱ	E16IEC2751	火	1時限	16
経済学部	国際経済学科	Bisset Ian James	准教授	国際機関論	E16IEC3151	月	2時限	43
経済学部	国際経済学科	Bisset Ian James	准教授	ビジネス英語Ⅱ	E16IEC2541	木	1時限	31
経済学部	国際経済学科	富士 彰夫	教授	アメリカ経済論Ⅱ	E16IEC2211	木	1時限	93
経済学部	国際経済学科	藤本 浩由	講師	国際貿易論	E16IEC3251	木	1時限	48
経済学部	国際経済学科	劉 曙麗	講師	中国経済論Ⅱ	EE6IEC2351	木	4時限	45
経済学部	国際経済学科	平山 亮	客員教授	アジアビジネス事情Ⅱ	E16IEC3751	金	3時限	32
経済学部	国際経済学科	平山 亮	客員教授	アジア直接投資論Ⅱ	E16IEC3651	木	3時限	29
経済学部	国際経済学科	向井 洋	客員教授	金融から見える世界Ⅱ	EE6IEC2451	水	5時限	54
経済学部	税務会計学科	泉 潤慈	教授	法人税法	EA6ABA3931	月	2時限	32
経済学部	税務会計学科	大上 麻海	助教	経営入門	EE5MBS1150	火	2時限	101
経済学部	税務会計学科	大上 麻海	助教	経営組織論Ⅱ	EA6ABA3301	木	3時限	42
経済学部	税務会計学科	大城 朝子	講師	経営戦略論Ⅱ	EE6ACM3153	水	3時限	26

学部	学科	教員名	職名	授業科目名	講義番号	曜日	時限	受講者数
経済学部	税務会計学科	大城 朝子	講師	経営学Ⅱ	EE6ACM2153	木	2時限	218
経済学部	税務会計学科	許 霽	教授	国際会計論Ⅱ	EA6ABA3651	火	1時限	19
経済学部	税務会計学科	許 霽	教授	基礎簿記Ⅱ	E05MBS1253	金	2時限	119
経済学部	税務会計学科	小林 正和	教授	中小企業論	EA6ABA3452	木	1時限	14
経済学部	税務会計学科	小林 正和	教授	販売管理論Ⅱ	EA6ABA2550	火	4時限	57
経済学部	税務会計学科	坂内 慧	助教	会計学総論Ⅱ	EA6ABA1151	木	2時限	65
経済学部	税務会計学科	坂内 慧	助教	基礎簿記Ⅱ	E05MBS1256	月	3時限	102
経済学部	税務会計学科	関下 弘樹	講師	基礎簿記Ⅱ	E05MBS1251	水	3時限	89
経済学部	税務会計学科	関下 弘樹	講師	原価計算論Ⅱ	EA6ABA2731	火	2時限	58
経済学部	税務会計学科	張 楓	准教授	備後経済論Ⅲ	EA6ABA2942	木	4時限	73
経済学部	税務会計学科	張 楓	准教授	地域調査Ⅰ	EA6ABA1201	月	4時限/5時限	37
経済学部	税務会計学科	白木 康晴	非常勤講師	税法概論Ⅱ	EA6ABA2791	他	その他	32
経済学部	税務会計学科	津守 貴之	非常勤講師	ロジスティックス	EA6ABA3100	水	1時限	11
人間文化学部	人間文化学科	青木 美保	教授	日本語表現法2	HA5BDS1100	火	2時限	64
人間文化学部	人間文化学科	青木 美保	教授	日本近現代文学研究2	HA6LIT2190	火	3時限	31
人間文化学部	人間文化学科	小原 友行	教授	地誌探求	HA5BDS1800	火	3時限	32
人間文化学部	人間文化学科	小原 友行	教授	人文地理(2)	G03HIC1350	水	2時限	204
人間文化学部	人間文化学科	重迫 隆司	教授	日英比較文化2	HA6ETH2430	水	3時限	59
人間文化学部	人間文化学科	重迫 隆司	教授	英語Ⅳ	G02ENG215a	月	3時限	36
人間文化学部	人間文化学科	清水 洋子	准教授	中国語(Ⅱ)	G02CHI115i	木	2時限	33
人間文化学部	人間文化学科	清水 洋子	准教授	中国古典文化研究2	HA6LIT3240	月	3時限	21
人間文化学部	人間文化学科	原 千史	教授	ヨーロッパの芸術と思想2	HA6ETH3400	火	3時限	20
人間文化学部	人間文化学科	原 千史	教授	ドイツ語(Ⅱ)	G02GER1153	火	4時限	47
人間文化学部	人間文化学科	村上 亮	講師	ヨーロッパの歴史と文化2	HA6HC2250	火	2時限	42
人間文化学部	人間文化学科	村上 亮	講師	ヨーロッパ史文献講読2	HA6HC3310	木	2時限	27
人間文化学部	人間文化学科	柳川 真由美	講師	日本近世の政治と文化2	HA6HC3250	水	2時限	12
人間文化学部	人間文化学科	柳川 真由美	講師	日本の歴史と文化2	HA6HC2130	月	2時限	36
人間文化学部	人間文化学科	脇 忠幸	准教授	日本語研究法2	HA6ETH3160	金	4時限	27
人間文化学部	人間文化学科	脇 忠幸	准教授	日本語学概論2	HA6ETH2130	火	4時限	31
人間文化学部	人間文化学科	新本 万里子	非常勤講師	文化人類学	HA5BDS1400	木	4時限	76
人間文化学部	人間文化学科	新本 万里子	非常勤講師	日本民俗論	G03HIC1700	木	5時限	73
人間文化学部	人間文化学科	市瀬 信子	併任教授	中国近世文化研究2	HA6LIT3280	金	4時限	15
人間文化学部	人間文化学科	佐藤 昭嗣	非常勤講師	日本古代の社会と文化2	HA6HC1390	木	1時限	11
人間文化学部	人間文化学科	佐藤 和博	非常勤講師	文化企画実習Ⅰ	HA6RPE1130	水	4時限	59
人間文化学部	人間文化学科	竹村 信治	非常勤講師	日本の中世文学2	HA6LIT3440	月	2時限	27
人間文化学部	人間文化学科	田野 慎二	非常勤講師	日本王朝文学研究2	HA6LIT2130	木	1時限	33
人間文化学部	人間文化学科	津口 在五	非常勤講師	ヨーロッパ美術史2	HA6HC2310	火	3時限	17
人間文化学部	人間文化学科	山崎 桂子	非常勤講師	日本文化入門	HA5BDS1200	金	3時限	53
人間文化学部	人間文化学科	山崎 桂子	非常勤講師	日本文学史2	HA6LIT2430	金	2時限	21
人間文化学部	人間文化学科	古川 環子	講師	法学概論(2)	G03SSL1250	金	3時限	56
人間文化学部	人間文化学科	古川 環子	講師	民法Ⅱ	E06CMS2300	火	2時限	146
人間文化学部	心理学科	赤澤 淳子	教授	発達心理学	QC7TTC1502	火	2時限	21
人間文化学部	心理学科	枝廣 和憲	准教授	教育心理学概論	HP6MAS3850	月	4時限	118
人間文化学部	心理学科	大杉 朱美	講師	交通心理学	HP6ADS3550	金	3時限	77
人間文化学部	心理学科	日下部 典子	教授	心理学的支援法	HP6CRS2400	金	2時限	56
人間文化学部	心理学科	武田 知也	講師	学習・言語心理学	HP6CRS2450	金	1時限	115
人間文化学部	心理学科	平 伸二	教授	司法・犯罪心理学	HP6ADS2150	月	2時限	60
人間文化学部	心理学科	福留 広大	助教	社会・集団・家族心理学	HP6CRS2300	火	2時限	85
人間文化学部	心理学科	福留 広大	助教	心理学統計法2	HP5BDS1200	水	2時限	68
人間文化学部	心理学科	宮崎 由樹	講師	心理学研究法	HP5BDS1250	月	1時限	74
人間文化学部	心理学科	宮崎 由樹	講師	産業心理学	HP6MAS3950	水	2時限	55
人間文化学部	心理学科	山崎 理央	准教授	感情・人格心理学	HP6CRS2500	水	1時限	60
人間文化学部	メディア・映像学科	阿部 純	講師	情報社会とコミュニケーション	HM5BDS1200	火	3時限	50
人間文化学部	メディア・映像学科	阿部 純	講師	映像文化入門	HM5BDS1250	月	4時限	52
人間文化学部	メディア・映像学科	内垣戸 貴之	准教授	映像文化入門	HM5BDS1250	月	4時限	71
人間文化学部	メディア・映像学科	田中 始男	教授	メディア実践(調査)	HM6EPS2400	火	5時限	72
人間文化学部	メディア・映像学科	田中 始男	教授	基礎演習	HM6PS1100	月/火	3時限/2時限	40
人間文化学部	メディア・映像学科	田中 始男	教授	基礎演習	HM6PS1105	月/他	3時限/その他	5

学部	学科	教員名	職名	授業科目名	講義番号	曜日	時限	受講者数
人間文化学部	メディア・映像学科	筒本 和広	教授	情報処理応用	H05BFS1351	月	2時限	62
人間文化学部	メディア・映像学科	筒本 和広	教授	情報処理応用	H05BFS1353	金	4時限	41
人間文化学部	メディア・映像学科	筒本 和広	教授	情報処理応用	H05BFS1352	木	4時限	68
人間文化学部	メディア・映像学科	中嶋 健明	教授	映画論	HM6FSU2200	木	1時限/2時限	48
人間文化学部	メディア・映像学科	中嶋 健明	教授	C G表現論	HM6RAR3200	火	4時限	23
人間文化学部	メディア・映像学科	安田 暁	教授	写真論	HM6EPR2300	金	2時限	91
人間文化学部	メディア・映像学科	安田 暁	教授	アニメ論	HM6EPS2250	木	1時限/2時限	53
人間文化学部	メディア・映像学科	渡辺 浩司	准教授	マルチメディア論	T16APP2150	火	4時限	64
人間文化学部	メディア・映像学科	渡辺 浩司	准教授	情報ネットワーク	T16NET1100	月	3時限	110
人間文化学部	メディア・映像学科	記谷 信彦	非常勤講師	メディア発展実習	HM6EPR3400	月/木	3時限/4時限	31
人間文化学部	メディア・映像学科	村上 博郁	非常勤講師	地域メディア論	HM6RAR3250	水	4時限	23
人間文化学部	メディア・映像学科	渡辺 敏恵	非常勤講師	メディア発展実習	HM6EPR3400	月/木	3時限/4時限	31
工学部	スマートシステム学科	沖 俊任	准教授	設計製図	TA6COM2400	月	1時限	18
工学部	スマートシステム学科	沖 俊任	准教授	メカトロニクス	TA6CSE3250	木	3時限	10
工学部	スマートシステム学科	香川 直己	教授	スマート防災システム	TA6COM3300	木	4時限	15
工学部	スマートシステム学科	香川 直己	教授	回路理論Ⅰ	TA6EEC1200	水	1時限	22
工学部	スマートシステム学科	伍賀 正典	准教授	プログラミング基礎	TA6COM1250	月	2時限	14
工学部	スマートシステム学科	伍賀 正典	准教授	M B D実習Ⅱ	TA6EXE3300	月	3時限/4時限	12
工学部	スマートシステム学科	伍賀 正典	准教授	スマート防災システム	TA6COM3300	木	4時限	15
工学部	スマートシステム学科	菅原 聡	准教授	アナログシステム	TA6EEC2450	水	3時限	25
工学部	スマートシステム学科	菅原 聡	准教授	電気磁気学Ⅰ	TA6EEC1150	水	2時限	34
工学部	スマートシステム学科	関田 隆一	准教授	プロジェクトマネジメント	T06SSE2300	木	1時限	76
工学部	スマートシステム学科	関田 隆一	准教授	安全工学	TG6SSE3250	金	2時限	37
工学部	スマートシステム学科	関田 隆一	准教授	スマート防災システム	TA6COM3300	木	4時限	15
工学部	スマートシステム学科	田中 聡	准教授	無線工学	TA6EEC3350	木	1時限	17
工学部	スマートシステム学科	田中 聡	准教授	電子機器学	TA6EEC3300	木	2時限	16
工学部	スマートシステム学科	田中 聡	准教授	スマート防災システム	TA6COM3300	木	4時限	15
工学部	スマートシステム学科	仲嶋 一	教授	電子材料	TA6EEC3250	月	2時限	17
工学部	スマートシステム学科	三谷 康夫	教授	電子制御Ⅰ	TA6CSE2200	木	2時限	19
工学部	スマートシステム学科	三谷 康夫	教授	確率統計	TA6EEC2350	木	4時限	18
工学部	スマートシステム学科	宮内 克之	教授	地域防災応用	G03RST1300	水	4時限	292
工学部	スマートシステム学科	宮内 克之	教授	スマート防災システム	TA6COM3300	木	4時限	15
工学部	建築学科	伊澤 康一	講師	建築環境工学Ⅱ	TK6COM2700	金	2時限	74
工学部	建築学科	伊澤 康一	講師	建築設備	TK6COM3450	金	1時限	70
工学部	建築学科	大島 秀明	教授	建築計画Ⅱ	TK6COM2300	火	4時限	74
工学部	建築学科	大島 秀明	教授	建築法規	TK6COM3700	水	1時限	74
工学部	建築学科	酒井 要	助教	建築デジタルデザインⅠ	TK5FUS1212	金	1時限	40
工学部	建築学科	酒井 要	助教	C G演習	TK6COM2250	金	3時限/4時限	52
工学部	建築学科	酒井 要	助教	建築デジタルデザインⅠ	TK5FUS1211	水	1時限	39
工学部	建築学科	佐々木 伸子	准教授	建築仕上げ材料	TK6FUA2650	火	3時限	77
工学部	建築学科	佐々木 伸子	准教授	医療福祉施設計画	TK6LED3250	火	2時限	23
工学部	建築学科	佐藤 圭一	教授	計画技術A	TK6QEC3250	月	2時限	73
工学部	建築学科	佐藤 圭一	教授	西洋・近代建築史	TK6COM2650	月	1時限	50
工学部	建築学科	田辺 和康	教授	環境工学	T06SSE2250	水	1時限	85
工学部	建築学科	田辺 和康	教授	建築防災工学	TK6COM3550	金	2時限	76
工学部	建築学科	都祭 弘幸	教授	不静定力学	TK6COM2750	金	1時限	70
工学部	建築学科	都祭 弘幸	教授	構造技術	TK6QEC3450	木	3時限	78
工学部	建築学科	藤原 美樹	准教授	ユニバーサルデザイン論	TK6LED3350	月	1時限	46
工学部	建築学科	藤原 美樹	准教授	福祉住環境	TK6QEC1101	月	3時限	81
工学部	建築学科	宮地 功	教授	建築デザイン論	TK6ARD3450	水	2時限	69
工学部	建築学科	宮地 功	教授	設計技術	TK6QEC3110	月	3時限/4時限	73
工学部	建築学科	山田 明	准教授	静定力学Ⅰ	TK6FUA1350	木	1時限	106
工学部	建築学科	山田 明	准教授	建築一般構造	TK6FUA1400	金	2時限	82
工学部	建築学科	秋岡 昌彦	非常勤講師	造形デザインⅡ	TK6COM2100	木	1時限/2時限	6
工学部	建築学科	金井 正幸	非常勤講師	建築施工	TK6COM3660	木	4時限	75
工学部	建築学科	後藤 亜貴	非常勤講師	生活デザイン演習Ⅲ	TK6LED3100	水	3時限/4時限	9
工学部	建築学科	寺井 雅和	非常勤講師	建築構法	TK6FUA2500	水	4時限	77
工学部	情報工学科	池岡 宏	講師	プログラミング入門	T16SOF1100	水	2時限	61

学部	学科	教員名	職名	授業科目名	講義番号	曜日	時限	受講者数
工学部	情報工学科	池岡 宏	講師	画像処理	T16APP2100	木	2時限	45
工学部	情報工学科	占部 逸正	教授	基礎数学Ⅱ	T15FUS1150	金	2時限	23
工学部	情報工学科	占部 逸正	教授	ヒューマンコンピュータインタラクション	T06SSE3600	金	3時限	41
工学部	情報工学科	尾関 孝史	教授	オペレーティングシステム	T16SOF2200	月	3時限	50
工学部	情報工学科	尾関 孝史	教授	応用数学	T15FUS2150	水	2時限	11
工学部	情報工学科	金子 邦彦	教授	情報工学応用演習Ⅰ	T16EXE2200	木	4時限	39
工学部	情報工学科	金子 邦彦	教授	データベースシステム	T16SOF2250	金	3時限	48
工学部	情報工学科	新谷 敏朗	准教授	情報化社会と職業	T16COM3150	水	3時限	52
工学部	情報工学科	新谷 敏朗	准教授	オートマトンとコンパイラ	T16SOF3200	木	3時限	28
工学部	情報工学科	中道 上	准教授	ソフトウェア工学	T16SOF2300	月	2時限	47
工学部	情報工学科	中道 上	准教授	情報工学演習Ⅲ	T16EXE3450	火	3時限	39
工学部	情報工学科	宮崎 光二	准教授	実用ネットワーク管理	T16NET3150	水	2時限	36
工学部	情報工学科	宮崎 光二	准教授	アプリデザイン演習	T16APP3200	木	2時限	39
工学部	情報工学科	森田 翔太	助教	情報処理技術Ⅰ	T16COM2100	金	2時限	62
工学部	情報工学科	森田 翔太	助教	コンピュータアーキテクチャ	T16HAR1100	木	3時限	73
工学部	情報工学科	山之上 卓	教授	情報理論	T16COM3200	金	2時限	20
工学部	情報工学科	山之上 卓	教授	暗号とセキュリティ	T16NET3200	木	4時限	37
工学部	機械システム工学科	内田 博志	教授	自動車の強度	TG6AME3200	木	2時限	11
工学部	機械システム工学科	内田 博志	教授	環境自動車工学	TG6AME2151	金	2時限	22
工学部	機械システム工学科	加藤 昌彦	教授	機械力学	TG6MSA2550	月	4時限	24
工学部	機械システム工学科	加藤 昌彦	教授	強度設計学	TG6MSA2600	月	2時限	32
工学部	機械システム工学科	木村 純壮	教授	メカトロニクス	TG6MSA3450	火	3時限	32
工学部	機械システム工学科	木村 純壮	教授	システム制御入門	TG6MSA2650	火	4時限	17
工学部	機械システム工学科	小林 正明	講師	交通マネジメント	T06SSE2350	火	1時限	68
工学部	機械システム工学科	小林 正明	講師	電気工学概論	TG6MSA3350	月	3時限	38
工学部	機械システム工学科	坂口 勝次	教授	熱エネルギー工学	TG6MSA2750	月	3時限	32
工学部	機械システム工学科	坂口 勝次	教授	メカニカルCAE	TG6MSB3200	木	4時限	16
工学部	機械システム工学科	関根 康史	准教授	ターボデジタルデザイン	TG6MSB3300	火	4時限	23
工学部	機械システム工学科	関根 康史	准教授	物理学Ⅱ	TG5FUS1251	火	1時限	43
工学部	機械システム工学科	中東 潤	准教授	機械材料学	TG6MSA1250	水	1時限	37
工学部	機械システム工学科	中東 潤	准教授	機械設計技術者試験対策講座	TG6MSA3400	水/金	3時限/4時限	15
工学部	機械システム工学科	真鍋 圭司	教授	生産加工システム	TG6MSA1200	火	2時限	24
工学部	機械システム工学科	真鍋 圭司	教授	機械数値工学	TG6MSB2200	木	2時限	25
工学部	機械システム工学科	霧崎 展	客員教授	流体機械システム	TG6MSA2700	金	4時限	13
生命工学部	生物工学科	岩本 博行	教授	食品の消費と流通	LM6MFS3252	金	2時限	71
生命工学部	生物工学科	岩本 博行	教授	バイオ機器分析学	LB6BI2600	月	1時限	46
生命工学部	生物工学科	太田 雅也	教授	分析化学	LM5CHE2150	木	1時限	80
生命工学部	生物工学科	太田 雅也	教授	生物有機化学	LB5BCH1700	月/水	1時限	36
生命工学部	生物工学科	佐藤 淳	准教授	保全生物学	LB6BI2850	火	1時限	40
生命工学部	生物工学科	秦野 琢之	教授	微生物育種学	LB6BI2200	火	2時限	40
生命工学部	生物工学科	秦野 琢之	教授	微生物学	LN5BMD1200	金	2時限	44
生命工学部	生物工学科	原口 博行	教授	植物分子育種学	LB6ABI3550	火/木	1時限/2時限	26
生命工学部	生物工学科	原口 博行	教授	植物機能利用学	LB6ABI3500	火/木	1時限/2時限	46
生命工学部	生物工学科	久富 泰資	教授	基礎微生物学	LB6BI1200	金	2時限	34
生命工学部	生物工学科	久富 泰資	教授	環境微生物学	LB6ABI2200	水	1時限	34
生命工学部	生物工学科	広岡 和丈	准教授	バイオ英語Ⅰ	LB5ELS3950	月	2時限	46
生命工学部	生物工学科	広岡 和丈	准教授	代謝制御学	LB5BCH3740	水	2時限	37
生命工学部	生物工学科	松崎 浩明	教授	細胞生物学	LB6BI1100	月/水	1時限	33
生命工学部	生物工学科	松崎 浩明	教授	遺伝子工学	LB6BI2150	金	2時限	41
生命工学部	生物工学科	山口 泰典	教授	発生物学	LB6BI2440	月	2時限	40
生命工学部	生物工学科	山口 泰典	教授	医療とバイオ	LB6BI3400	水	1時限	31
生命工学部	生物工学科	山本 覚	教授	植物栽培技術	LB6ABI2500	木	1時限	35
生命工学部	生物工学科	山本 覚	教授	酵素利用工学	LB6ABI3700	金	1時限	48
生命工学部	生物工学科	吉崎 隆之	講師	ワイン品質評価学	LB6ABI3350	月	3時限	21
生命工学部	生物工学科	吉崎 隆之	講師	醗酵生産・醸造学	LB6ABI2300	水	2時限	50
生命工学部	生物工学科	磯崎 哲夫	非常勤講師	理科教育法	QC7TC3810	火	3時限	15
生命工学部	生命栄養科学科	石井 香代子	教授	管理栄養士特別演習	LN6IPR4100	他	その他	39
生命工学部	生命栄養科学科	石井 香代子	教授	給食マネジメントⅠ	LN6FSM2100	木	2時限	25

学部	学科	教員名	職名	授業科目名	講義番号	曜日	時限	受講者数
生命工学部	生命栄養科学科	井ノ内 直良	教授	食品材料学	LN5FOH1150	月	2時限	47
生命工学部	生命栄養科学科	井ノ内 直良	教授	基礎栄養学実験	LN6BANI1150	他	その他	45
生命工学部	生命栄養科学科	菊田 安至	教授	公衆衛生学	LN5LIS2300	金	1時限	27
生命工学部	生命栄養科学科	菊田 安至	教授	生化学Ⅱ	LN5BMD1150	木	1時限	45
生命工学部	生命栄養科学科	久保田 みどり	准教授	栄養カウンセリング論	LN6NUE3150	水	2時限	38
生命工学部	生命栄養科学科	久保田 みどり	准教授	食料経済学	LN6FPS3500	月	2時限	6
生命工学部	生命栄養科学科	近藤 寛子	助教	調理学実習Ⅰ	LN5FOH1250	他	その他	21
生命工学部	生命栄養科学科	近藤 寛子	助教	調理学	LN5FOH1200	火	2時限	45
生命工学部	生命栄養科学科	柴田 紗知	助教	環境・スポーツ栄養学	LN6APN2200	水	2時限	24
生命工学部	生命栄養科学科	田中 信一郎	教授	解剖生理学Ⅰ	LN5BMD1250	水	2時限	44
生命工学部	生命栄養科学科	田中 信一郎	教授	病態栄養学	LN6CLN2350	月	2時限	24
生命工学部	生命栄養科学科	中崎 千尋	助教	公衆栄養学	LN6PHN2100	火	1時限	24
生命工学部	生命栄養科学科	中崎 千尋	助教	卒業演習ⅡB	LN6SPT4250	他	その他	39
生命工学部	生命栄養科学科	西 彰子	准教授	栄養教育論Ⅰ	LN6NUE2300	水	1時限	24
生命工学部	生命栄養科学科	西 彰子	准教授	栄養教諭論	QC7TTC4100	他	その他	12
生命工学部	生命栄養科学科	村上 泰子	准教授	臨床栄養学Ⅲ	LN6CLN3301	木	1時限	37
生命工学部	生命栄養科学科	村上 泰子	准教授	臨床栄養学Ⅰ	LN6CLN2400	金	2時限	25
生命工学部	生命栄養科学科	山本 英二	教授	生物物理学	LB5MAP2950	金	1時限	58
生命工学部	生命栄養科学科	山本 英二	教授	化学Ⅱ	LM5CHE1152	水	1時限	55
生命工学部	海洋生物科学科	有瀧 真人	教授	魚類の飼料と栄養	LM6RUD3202	月	2時限	70
生命工学部	海洋生物科学科	有瀧 真人	教授	栽培漁業と魚介類の養殖	LM6RUD4153	火	1時限	7
生命工学部	海洋生物科学科	伊丹 利明	教授	魚介類の疾病と予防	LM6RUD3301	金	1時限	71
生命工学部	海洋生物科学科	伊丹 利明	教授	魚病学概論	LM6MCS2550	金	2時限	110
生命工学部	海洋生物科学科	金子 健司	教授	水産資源の生態	LM6RUD3252	月	1時限	83
生命工学部	海洋生物科学科	金子 健司	教授	魚類の行動と生理	LM6MCS2500	水	1時限	111
生命工学部	海洋生物科学科	北口 博隆	准教授	海洋環境科学	LM6MCS2600	火	1時限	109
生命工学部	海洋生物科学科	北口 博隆	准教授	化学Ⅱ	LM5CHE1151	水	1時限	59
生命工学部	海洋生物科学科	倉掛 昌裕	教授	食品の安全管理	LM6MFS3302	木	2時限	130
生命工学部	海洋生物科学科	倉掛 昌裕	教授	食品機能科学	LM6MFS3352	火	2時限	68
生命工学部	海洋生物科学科	阪本 憲司	准教授	魚介類の育種	LM6RUD3352	火	1時限	80
生命工学部	海洋生物科学科	阪本 憲司	准教授	遺伝学	LM6MCS2100	木	2時限	116
生命工学部	海洋生物科学科	真田 誠至	講師	博物館情報・メディア論	QC7CUC3350	月	4時限	34
生命工学部	海洋生物科学科	真田 誠至	講師	博物館資料論	QC7CUC3300	水	4時限	26
生命工学部	海洋生物科学科	高村 克美	教授	海洋動物分類学	LM6MCS1200	月	2時限	114
生命工学部	海洋生物科学科	高村 克美	教授	海洋動物発生学	LM6MCS2150	火	2時限	118
生命工学部	海洋生物科学科	水上 雅晴	講師	生理学	LM5BIO1200	火	1時限	108
生命工学部	海洋生物科学科	水上 雅晴	講師	水生生物の生態と環境	LM6AQ3352	水	1時限	57
生命工学部	海洋生物科学科	満谷 淳	教授	沿岸環境の保全と再生	LM6FIE3351	火	2時限	46
生命工学部	海洋生物科学科	満谷 淳	教授	海洋生態学	LM6MCS1150	木	1時限	124
生命工学部	海洋生物科学科	三輪 泰彦	教授	基礎分子生物学	LM5BIS2100	水	2時限	111
生命工学部	海洋生物科学科	三輪 泰彦	教授	水産食品の科学	LM6MCS2650	月	2時限	138
生命工学部	海洋生物科学科	山岸 幸正	准教授	生物多様性とその保全	LM6FIE3302	水	2時限	69
生命工学部	海洋生物科学科	山岸 幸正	准教授	海洋植物分類学	LM6MCS1250	金	2時限	119
生命工学部	海洋生物科学科	渡辺 伸一	准教授	絶滅危惧種と環境保護	LM6FIE4202	木	2時限	9
生命工学部	海洋生物科学科	渡辺 伸一	准教授	海洋動物の行動と生態	LM6FIE3251	木	1時限	22
薬学部		赤崎 健司	教授	生命体の基本単位としての細胞	PP6BIO1200	水	1時限	114
薬学部		赤崎 健司	教授	生活環境と健康	PP6HLS3200	木	2時限	119
薬学部		石津 隆	教授	有機化学Ⅱ	PP6CHE2200	水	2時限	123
薬学部		石津 隆	教授	生体分子の構造と化学的性質	PP6CHE3200	木	1時限	132
薬学部		井上 敦子	教授	血液・造血器系疾患の薬・病態・治療	PP6CLP2260	木	3時限	124
薬学部		井上 裕文	教授	基礎薬学演習	PP6PET3150	金/土	131	
薬学部		井上 裕文	教授	応用分析科学	PP6PHY3200	木	3時限	130
薬学部		大西 正俊	講師	血液・造血器系疾患の薬・病態・治療	PP6CLP2260	木	3時限	124
薬学部		岡村 信幸	教授	漢方薬物治療	PP6CLP1140	水	2時限	112
薬学部		片山 博和	教授	製剤とDDS	PP6CLP3425	他	その他	3
薬学部		片山 博和	教授	製剤とDDS	PP6CLP3420	水	1時限	132
薬学部		小嶋 英二郎	教授	臨床検査	PP6CLP2300	金	2時限	122
薬学部		小嶋 英二郎	教授	分析技術の臨床応用	PP6PHY2300	月	2時限	127

学部	学科	教員名	職名	授業科目名	講義番号	曜日	時限	受講者数
薬学部		上敷領 淳	准教授	薬学入門Ⅱ	PP5MBS1140	金/土		107
薬学部		上敷領 淳	准教授	セルフメディケーション(2)	G03AHS1760	金	1時限	39
薬学部		今 重之	教授	免疫と疾患	PP6BIO3250	金	1時限	128
薬学部		佐藤 英治	教授	薬剤師を取り巻く法規	PP6LAS3100	木	2時限	132
薬学部		佐藤 英治	教授	調剤	PP6CLP3340	火	1時限	131
薬学部		佐藤 雄己	教授	製剤の性質	PP6CLP3380	月	3時限	132
薬学部		坂根 洋	講師	生命体の基本単位としての細胞	PP6BIO1200	水	1時限	114
薬学部		猿橋 裕子	准教授	地域薬局	PP6CLP4380	他	その他	139
薬学部		白川 真	講師	製剤の性質	PP6CLP3380	月	3時限	132
薬学部		杉原 成美	教授	セルフメディケーション(2)	G03AHS1760	金	1時限	39
薬学部		杉原 成美	教授	食品衛生	PP6HLS3151	火	2時限	129
薬学部		瀬尾 誠	講師	食品衛生	PP6HLS3151	火	2時限	129
薬学部		高山 健人	助教	病原体としての微生物	PP6BIO1250	火	1時限	107
薬学部		田中 哲郎	教授	薬物動態解析	PP6CLP3300	水	2時限	130
薬学部		田中 哲郎	教授	製剤とDDS	PP6CLP3420	水	1時限	132
薬学部		田村 豊	教授	末梢神経系に作用する薬	PP6CLP2180	金	1時限	128
薬学部		田村 豊	教授	代謝系・呼吸器系疾患の薬・病態・治療	PP6CLP3220	月	4時限	133
薬学部		町支 臣成	教授	基礎有機化学Ⅱ	PP6CHE1150	月	1時限	114
薬学部		鶴田 泰人	教授	応用分析科学	PP6PHY3200	木	3時限	130
薬学部		鶴田 泰人	教授	分析技術の臨床応用	PP6PHY2300	月	2時限	127
薬学部		長崎 信浩	教授	調剤	PP6CLP3340	火	1時限	131
薬学部		長崎 信浩	教授	薬学入門Ⅱ	PP5MBS1140	金/土		107
薬学部		中村 徹也	助手	薬学の基礎としての数学B	PP5MBS1220	他	その他	41
薬学部		中村 徹也	助手	薬物動態解析	PP6CLP3300	水	2時限	130
薬学部		西山 卓志	助手	化学の基礎	G03NAS1700	木	2時限	6
薬学部		西山 卓志	助手	生体分子の構造と化学的性質	PP6CHE3200	木	1時限	132
薬学部		秦 季之	教授	物質のエネルギー	PP6PHY1100	金	2時限	110
薬学部		広瀬 雅一	講師	薬剤師を取り巻く法規	PP6LAS3100	木	2時限	132
薬学部		広瀬 雅一	講師	調剤	PP6CLP3340	火	1時限	131
薬学部		稗田 雄三	助手	化学の基礎	G03NAS1700	木	2時限	6
薬学部		藤岡 晴人	教授	基礎有機化学Ⅱ	PP6CHE1150	月	1時限	114
薬学部		藤岡 晴人	教授	有機化学Ⅱ	PP6CHE2200	水	2時限	123
薬学部		前原 昭次	講師	天然物化学	PP6CHE2250	木	4時限	122
薬学部		松岡 浩史	講師	生命情報を担う遺伝子	PP6BIO1300	月	2時限	114
薬学部		松岡 浩史	講師	実習Ⅲ	PP6PET2250	月/火/水	2時限/4時限/5時限	122
薬学部		道原 明宏	教授	生命情報を担う遺伝子	PP6BIO1300	月	2時限	114
薬学部		道原 明宏	教授	実習Ⅲ	PP6PET2250	月/火/水	2時限/4時限/5時限	122
薬学部		本屋敷 敏雄	准教授	物質の構造と放射線	PP6PHY2250	火	2時限	126
薬学部		本屋敷 敏雄	准教授	分析技術の臨床応用	PP6PHY2300	月	2時限	127
薬学部		森田 哲生	教授	生殖系・内分泌系疾患の薬・病態・治療	PP6CLP2220	火	1時限	125
薬学部		森田 哲生	教授	代謝系・呼吸器系疾患の薬・病態・治療	PP6CLP3220	月	4時限	133
薬学部		渡邊 正知	准教授	人体の成り立ちと機能Ⅱ	PP6BIO1100	木	2時限	117
薬学部		渡邊 正知	准教授	中枢神経系疾患の薬・病態・治療Ⅰ	PP6CLP3260	金	2時限	132
薬学部		山下 純	准教授	薬学入門Ⅱ	PP5MBS1140	金/土		107
薬学部		山下 純	准教授	患者の視点に立った行動	PP6CLP4420	他	その他	139
大学教育センター		大塚 豊	教授	教育制度論	QC7TTC1150	木	5時限	64
大学教育センター		小野 太幹	准教授	基礎数学	G03NAS1151	火	3時限	61
大学教育センター		小野 太幹	准教授	基礎数学	G03NAS1154	水	3時限	19
大学教育センター		地主 弘幸	教授	物理学	LM5PHS1100	木	3時限	37
大学教育センター		地主 弘幸	教授	物理現象の基礎	G03NAS1300	水	3時限	36
大学教育センター		竹盛 浩二	准教授	国語科教育法Ⅰ	QC7TTC3360	火	2時限	6
大学教育センター		Tang Warren	助教	英語Ⅱ	G02ENG115t	金	4時限	38
大学教育センター		Tang Warren	助教	英語Ⅳ	G02ENG215u	金	3時限	28
大学教育センター		津田 将行	講師	キャリアデザインⅡ	G04CAE2103	木	3時限	42
大学教育センター		津田 将行	講師	キャリアデザインⅡ	G04CAE2104	金	5時限	9
大学教育センター		中尾 佳行	教授	英語Ⅳ	G02ENG215j	火	3時限	32
大学教育センター		中尾 佳行	教授	英語Ⅱ	G02ENG115b	火	4時限	43
大学教育センター		前田 吉広	講師	キャリアデザインⅠ	G04CAE1106	火	5時限	193

学部	学科	教員名	職名	授業科目名	講義番号	曜日	時限	受講者数
大学教育センター		前田 吉広	講師	Webデザイン入門	G03NAS1900	水	2時限	64
大学教育センター		劉 国彬	准教授	中国語(Ⅱ)	G02CHI115f	木	3時限	51
大学教育センター		劉 国彬	准教授	中国語(Ⅱ)	G02CHI115b	火	4時限	46
大学教育センター		Lowes Jason	講師	英語Ⅳ	G02ENG215e	火	2時限	35
大学教育センター		Lowes Jason	講師	英語Ⅱ	G02ENG115n	木	2時限	23
大学教育センター		若松 正晃	講師	英語Ⅳ	G02ENG215d	月	3時限	27
大学教育センター		若松 正晃	講師	英語Ⅱ	G02ENG115x	金	4時限	27
大学教育センター		赤松 頌也	非常勤講師	フランス語(Ⅱ)	G02FRE1152	木	2時限	47
大学教育センター		赤松 頌也	非常勤講師	フランス語(Ⅱ)	G02FRE1153	火	4時限	54
大学教育センター		新井 純美	非常勤講師	英語Ⅳ	G02ENG215f	火	3時限	33
大学教育センター		新井 純美	非常勤講師	英語Ⅳ	G02ENG215i	火	2時限	25
大学教育センター		宇野 昌樹	非常勤講師	イスラム文化	G03HIC1550	水	3時限	92
大学教育センター		宇野 昌樹	非常勤講師	エスニシティ論	G03HIC1600	水	4時限	35
大学教育センター		梅木 璃子	非常勤講師	英語Ⅱ	G02ENG115e	火	4時限	42
大学教育センター		梅木 璃子	非常勤講師	英語Ⅳ	G02ENG215b	月	3時限	45
大学教育センター		上村 崇	併任教授	ヨーロッパ思想入門2	HA6ETH2580	火	3時限	8
大学教育センター		上村 崇	併任教授	倫理学(2)	G03THC1350	火	4時限	7
大学教育センター		遠藤 耕二	非常勤講師	哲学(2)	G03THC1150	火	2時限	51
大学教育センター		大牛 英則	非常勤講師	英語Ⅱ	G02ENG115c	火	4時限	43
大学教育センター		大牛 英則	非常勤講師	英語Ⅳ	G02ENG215k	火	3時限	39
大学教育センター		岡本 昌規	非常勤講師	体育(2)	G03AHS1485	金	2時限	24
大学教育センター		岡本 昌規	非常勤講師	体育(2)	G03AHS1484	金	1時限	39
大学教育センター		崔 眞英	非常勤講師	韓国語(Ⅱ)	G02KOR1156	木	3時限	26
大学教育センター		崔 眞英	非常勤講師	韓国語(Ⅱ)	G02KOR1155	木	2時限	46
大学教育センター		崔 嶋汀	非常勤講師	韓国語(Ⅱ)	G02KOR1153	木	2時限	55
大学教育センター		崔 嶋汀	非常勤講師	韓国語(Ⅱ)	G02KOR1152	火	4時限	56
大学教育センター		勝部 眞人	非常勤講師	日本史(2)	G03HIC1151	水	2時限	35
大学教育センター		勝部 眞人	非常勤講師	日本史(2)	G03HIC1152	水	3時限	113
大学教育センター		神野 靖子	非常勤講師	音楽	G03AHS1242	火	2時限	6
大学教育センター		木村 真弓	非常勤講師	ダンス	G03AHS1680	木	4時限	29
大学教育センター		齋藤 一彦	非常勤講師	体育(2)	G03AHS1481	火	2時限	32
大学教育センター		齋藤 一彦	非常勤講師	体育(2)	G03AHS1482	火	3時限	38
大学教育センター		柴原 直樹	非常勤講師	日本史(2)	G03HIC1153	金	3時限	170
大学教育センター		柴原 直樹	非常勤講師	日本史(2)	G03HIC1154	金	4時限	85
大学教育センター		末葭 敏久	非常勤講師	中国語(Ⅱ)	G02CHI115d	火	4時限	39
大学教育センター		末葭 敏久	非常勤講師	中国語(Ⅱ)	G02CHI115c	火	3時限	29
大学教育センター		鈴木 ヘザー	非常勤講師	英語Ⅳ	G02ENG215n	火	3時限	41
大学教育センター		鈴木 ヘザー	非常勤講師	英語Ⅱ	G02ENG115s	金	4時限	44
大学教育センター		外林 省二	非常勤講師	書道	G03AHS1123	火	3時限	29
大学教育センター		外林 省二	非常勤講師	書道	G03AHS1124	火	4時限	2
大学教育センター		高垣 裕子	非常勤講師	英語Ⅳ	G02ENG215g	火	2時限	37
大学教育センター		田中 宏和	併任教授	憲法	G03SSL1154	金	2時限	66
大学教育センター		谷川 充美	非常勤講師	日本語表現法	G02JNE110s	月	4時限	27
大学教育センター		谷川 充美	非常勤講師	日本語表現法	G02JNE110q	月	3時限	13
大学教育センター		張 治清	非常勤講師	中国語(Ⅱ)	G02CHI115g	木	2時限	31
大学教育センター		張 治清	非常勤講師	中国語(Ⅱ)	G02CHI115h	木	3時限	38
大学教育センター		帖佐 幸樹	非常勤講師	日本語表現法	G02JNE110t	月	4時限	27
大学教育センター		帖佐 幸樹	非常勤講師	日本語表現法	G02JNE110r	月	3時限	14
大学教育センター		中越 信和	客員教授	里山概論	LB6BI1800	月	2時限	33
大学教育センター		中越 信和	客員教授	暮らしとバイオ	G03NAS1354	金	3時限	97
大学教育センター		西村 正登	非常勤講師	教育方法論	QC7TTC2150	火	4時限	80
大学教育センター		橋野 仁史	非常勤講師	絵画	G03AHS1161	金	2時限	21
大学教育センター		滕 艶	非常勤講師	中国語(Ⅱ)	G02CHI115k	火	4時限	41
大学教育センター		滕 艶	非常勤講師	中国語(Ⅱ)	G02CHI115j	火	3時限	13
大学教育センター		藤井 晶子	非常勤講師	日本語表現法	G02JNE110u	月	4時限	27
大学教育センター		藤井 晶子	非常勤講師	日本語表現法2	H05BDS1300	水	2時限	44
大学教育センター		藤本 明成	非常勤講師	陶芸	G03AHS1205	水	3時限	30
大学教育センター		藤本 明成	非常勤講師	陶芸	G03AHS1206	水	4時限	30

学部	学科	教員名	職名	授業科目名	講義番号	曜日	時限	受講者数
大学教育センター		前村 晃子	非常勤講師	ドイツ語 (II)	G02GER1151	木	2時限	55
大学教育センター		前村 晃子	非常勤講師	ドイツ語 (II)	G02GER1152	木	3時限	23
大学教育センター		牧 貴愛	非常勤講師	教職概論	QC7TTC1200	水	4時限	77
大学教育センター		牧 貴愛	非常勤講師	道德教育の指導法	QC7TTC2400	水	5時限	45
大学教育センター		溝淵 裕	非常勤講師	憲法	G03SSL1153	金	1時限	92
大学教育センター		森岡 悦子	非常勤講師	英語 II	G02ENG115k	木	2時限	43
大学教育センター		森岡 悦子	非常勤講師	英語 II	G02ENG115u	金	4時限	44
大学教育センター		山本 賢太郎	非常勤講師	囲碁から学ぶ人間学 (2)	G03AHS1840	火	4時限	7
大学教育センター		吉崎 一	非常勤講師	社会学	G03SSL1350	金	5時限	56
大学教育センター		Huntsman Benjamin, Miller	非常勤講師	英語 IV	G02ENG215f	火	2時限	43
大学教育センター		Huntsman Benjamin, Miller	非常勤講師	英語 II	G02ENG115f	木	2時限	43
大学教育センター		Leriget de la Plante	非常勤講師	英語 II	G02ENG115d	火	4時限	42
大学教育センター		Leriget de la Plante	非常勤講師	英語 IV	G02ENG215m	火	3時限	29
大学教育センター		Krzysztof Medrzycki	非常勤講師	英語 II	G02ENG115w	金	4時限	44
大学教育センター		Willems Grant	非常勤講師	英語 II	G02ENG115v	金	4時限	44
共同利用センター		瀬島 紀夫	講師	情報処理応用	G02INL1151	火	3時限	24
共同利用センター		鶴崎 健一	教授	暮らしとバイオ	G03NAS1353	木	1時限	244
共同利用センター		鶴崎 健一	教授	人体のしくみ	G03NAS1502	火	2時限	207
国際センター		趙 建紅	准教授	日本語 (5) (留学生用科目)	G02JNI1300	水	3時限	7
国際センター		趙 建紅	准教授	日本語 (4) (留学生用科目)	G02JNI1250	火	3時限	11
IR室		片桐 重和	助教	実用情報処理演習	T16EXE1150	月	2時限	57
社会連携センター		中村 雅樹	助教	暮らしと物づくり	G03NAS1200	木	5時限	287